# 第6節 うるおい豊かな快適環境づくり



# 6 うるおい豊かな快適環境づくり











公園・緑地の整備や歴史文化の保全と活用および良好な景観の創出を目指し、 市民・事業者と協働でまちに"うるおい"をつくっていきます。

#### 1. 景観形成

#### (1) 景観を守り育てる

平成16年度に景観法が施行され、「良好な景観は国民共通の資産である」と基本理念に示されています。また、住民および事業者、国や地方公共団体が、それぞれ責務を果たしながら、良好な景観を保全するとともに、新たに創出していくことが求められています。

豊かな自然景観や趣のある歴史景観を保全・活用するとともに、うるおいのある、快適で質の高い都市景観の創出に向けて、みんなが協力し合って景観形成に取組むことが大切です。

#### (2) 草津市景観計画

草津市は、琵琶湖や丘陵部に広がる豊かな自然景観や、旧街道沿いのまちなみを中心とした歴史景観、そしてJR草津駅や南草津駅の周辺を中心とした都市景観といった、多様な景観資源に恵まれています。

これらの景観を活かしたまちづくりの方向性を定めるために、平成22年度に草津市景観 計画基本方針を策定し、地域特性に応じたゾーニングや軸の位置付けを行うとともに、各ゾ ーンや各軸に関する景観形成の方針を決定しました。

平成23年度には、この方針をもとに、各地域で市民の方々からの意見をいただきながら 議論を重ね、平成24年10月に草津市独自の「草津市景観計画」を施行しました。平成2 8年4月1日からは、市内での太陽光発電設備(集熱利用のものも含む)の設置についても 届出の制度を設けるとともに、当該設備の設置にかかる景観形成基準を定めています。

草津市景観計画では、次の各ゾーンや軸、景観形成重点地区ごとに、建築物や工作物の届 出対象行為や景観形成基準を定めています。

表2-6-1 草津市景観計画で定めるゾーン、軸、景観形成重点地区

- ・琵琶湖ゾーン ・丘陵部ゾーン ・緑軸
- ・田園ゾーン ・歴史街道軸
- 琵琶湖岸景観形成重点地区

- ・住宅地ゾーン
- 幹線道路軸
- 伝統的沿道景観重点地区
- ・まちなかゾーン ・河川軸
- ・東海道草津宿本陣通り景観形成重点地区



図2-6-1 草津市景観計画の景観ゾーンおよび景観形成重点地区

#### (3) 近隣景観形成協定

近隣景観形成協定とは、自治会や町内会単位で、建物の意匠や色彩、緑化など、地域の風景を守り育てていくうえで必要な事柄についてお互いにルールを結び、協力して美しいまちづくりを進めていこうとする制度です。

「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例」により定められている制度で、市長が推薦し、 知事が認定するものです。草津市内では、次の3つの協定が知事の認定を受けています。

○桜ヶ丘美しい風景を育てる協定

協定者数 草津市桜ヶ丘町の710世帯

協定締結日 昭和61年8月3日

協定認定日 昭和61年9月22日

○花と緑と「わ」のあるまちづくり協定

協定者数 草津市大宮町の81世帯

協定締結日 平成10年6月1日

協定認定日 平成11年2月1日

○志那町吉田の藤を守り育てる協定

協定者数 草津市志那町吉田地区の97世帯

協定締結日 平成13年12月18日

協定認定日 平成14年1月9日

#### 2. 環境美化の推進

市民・地域等との協働のもとで、不法投棄と散在性ごみの防止と対策を進め環境美化を図っています。

#### (1) 散乱ごみ対策

平成4年7月「滋賀県ごみの散乱防止に関する条例」が施行され、その後、平成12年4月に施行した「草津市ポイ捨て防止に関する条例」の中で「市民行動の日」を設定し、ごみ問題を考える草津市民会議とともに、清掃および啓発活動を行うなど、散在性ごみの発生防止に向けた取り組みを推進しています。

○草津市美化推進地域

琵琶湖岸、主要道路(国道1号、近江大橋)

観光地等(草津駅周辺、文化ゾーン)

○美化推進対策事業

(清掃作業) 市内一斉清掃(11月下旬)

(啓 発) 啓発看板交付、ポイ捨て防止市民行動の日(街頭啓発・5月下旬)

#### (2) 不法投棄ごみ対策

一部地域では、依然として不法投棄が目立ち、地域の美観を損なうなど環境への悪化を もたらしていることから、町内会等と行政が協力し、対策にあたっています。

平成10年からは不法投棄粗大ごみ回収業務を業者委託し、平成21年からは、専従のパトロール員が、不法投棄多発箇所を中心に市内パトロールを実施し、不法投棄の防止に取り組んでいます。また、悪質性が高い箇所については、地域との連携や、警察への通報等、不法投棄の解消に努めています。

#### ○不法投棄防止対策事業

( 啓 発 ) 不法投棄防止看板交付 不法投棄パトロール

(その他) 不法投棄物回収の実施 監視カメラの設置



図2-6-2 不法投棄防止看板設置の様子

# 第7節 第3次草津市環境基本計画 重点事業

#### 1. 重点事業とは

くさつ環境文化をより根付かせるための取組として、第3次草津市環境基本計画の各基本 方針をけん引し、かつ、横断的に進めていくものです。

第3次計画では、第2次計画の内容を踏まえ、さらに環境・経済・社会とのつながりの観点を加え、環境に関心のある一部の方が関わる取組だけではなく、誰もが楽しく、また関心のもてるものとし、以下の3つの重点事業を設定しました。

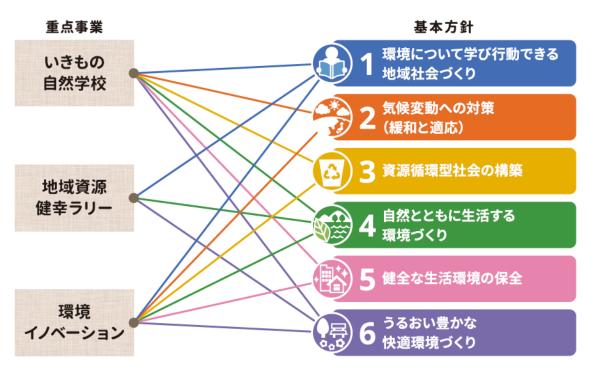


図2-7-1 重点事業と基本方針

#### (1) いきもの自然学校

#### ○事業概要

自然と人のふれあいや自然観察等、総合的な環境が学べるモデル地域を設定し、環境の保護や保全について多様な主体で推進に関わる人材の育成を図ります。また、自然を題材として、心と体の健康を育むとともに、生きがいを感じられる取組を推進する事業です。

計画スケジュール	R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 準備 展開 モデル地域 A 準備 展開 モデル地域 B
R3年度 実績と成果	【実績】 市内の小学校区の中から2学区(志津学区、笠縫東学区)をモデル地域として設定。 【成果】  〇「いきもの自然学校」がめざす環境学習の理念や「生物多様性を体系的に理解する学習活動の流れ」、「プロジェクト企画・運営上のポイント」をまとめた。 〇プログラムを開発する前段階として、各プログラムのマッチング資料を作成。 ※マッチング資料:プログラムの活動概要に、「いきもの自然学校」が目指す生物多様性の学びを位置づけたもの 〇「いきもの自然学校」全体に関わるアドバイザーと各プログラムの活動内容に合う講師を選定し依頼した。
R4年度 実績と成果	<ul> <li>【実績】モデル地域2学区(志津、笠縫東)</li> <li>応津学区         <ul> <li>○志津里山自然学校プログラム</li> <li>①「森に小道をつくろう」実施(5月)</li> <li>②「ホタルと友だちになろう」実施(6月)</li> <li>③「みんなで伐採にチャレンジ!」実施(10月)</li> <li>④「学んで料理して楽しもう」実施(11月)</li> <li>⑤「みんなで薪作りにチャレンジ!」実施(12月)</li> <li>⑥「マイツリーを植えてみよう」実施(3月)</li> <li>○外部講習:木と学ぼう(プロジェクト・ラーニング・ツリー講習会)(大阪市)</li> </ul> </li> <li> <ul></ul></li></ul>

### (2) 地域資源健幸ラリー

#### ○事業概要

地域資源(自然、歴史文化、食、産業等)を巡り歩きながら、自然と人との関わりについて学び体感し、環境保全の意識の向上および地域資源の維持管理や継承の行動につなげるとともに、誰もが生きがいをもち健やかで幸せに暮らせる「健幸都市くさつ」を推進する事業です。

計画 スケジュール	R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 準備 展開 準備 展開 準備 展開 準備 展開 準備 展開 準備 展開 ※2 年毎におおよそ 2 箇所、計 1 4 箇所のモデルコースを設定・展開を行う。
R3年度 実績と成果	【実績】 市内の小学校区の中から4学区(玉川学区、山田学区、笠縫東学区、常盤学区)をモデルコースとして設定。 【成果】 〇山田学区はコース設定に携わり、学区の地域資源について説明を行った。 〇玉川学区、常盤学区はウォーキングイベントに参加した。 〇笠縫東学区には地域資源の掘り起こしを行ってもらった。
R 4年度 実績と成果	【実績】 モデルコース設定学区(玉川学区、山田学区、笠縫東学区、常盤学区) 〇やまだウォーク「急がば回れ再発見!!」を実施(6月) 〇玉川地域資源健幸ラリーを実施(10月) 〇笠縫東地域資源健幸ラリーを実施(11月) 〇歴史の町 ときわ みんなで歩こう会を実施(11月) 【成果】 〇地域において、地域資源の掘り起こしを行い、自然環境保全地区等をめぐるコースを設定し、ウォーキングイベントを実施いただいた。 〇コース設定や、自然環境保全地区の説明等の支援を行った。





### (3) 環境イノベーション

#### ○事業概要

環境配慮型製品やサービス等を導入しようとする市内中小企業者等がその研究や開発に当たって不足する知恵・技術の習得や、実証実験場所を確保するため、それらを有する事業者等を募集し、連携・協力を行いながら、環境イノベーションの創造を図り、その内容について周知を行う事業です。

R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 準備 展開
【実績】 環境セミナーにて講師による情報提供を実施、アンケートによるニーズ調査を実施。 【成果】 の草津市環境セミナーにて、講師を招き、草津イノベーションコーディネータの役割と国の事業者向け施策について、情報提供を行った。 OR3 産業振興計画アンケートにて、カーボンニュートラルへの取組実績お
よびニーズ調査を行った。
【実績】  エコフォーラムにて掲示物による事業周知を実施、アンケートによるニーズ調査を実施。また、先進地における事例等の情報収集を行った。 【成果】  ○令和5年度のセミナー開催に向け、情報収集を行うことができた。



# 1. 草津市内の主な環境関連施設

施設名	所在地	連絡先
草津市立水生植物公園みずの森	下物町1091	568-2332
財団法人国際湖沼環境委員会(ILEC)	下物町1091	568-4567
滋賀県立琵琶湖博物館	下物町1091	568-4811
公益財団法人淡海環境保全財団	矢橋町帰帆2108	569-5301
淡海環境プラザ	矢橋町帰帆2108	569-5301
独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所	下物町1091-58	568-4102
財団法人滋賀県水産振興協会栽培漁業センター	志那町1393-2	568-3451
湖南中部浄化センター	矢橋町帰帆2108	564-1900
草津市立ロクハ浄水場	追分南四丁目8番7号	563-3741
草津市立北山田浄水場	北山田町1321-1	562-1050
草津市立クリーンセンター	馬場町1200番地25	562-6361
ロクハ公園	追分七丁目11番2号	564-3838
湖南環境衛生センター	集町404-1	568-0251

# 2. 定期河川水質調査結果

### 【令和2年度】

							催	母川									
	採水年月日	_	4/16	5/13	6/1	7/17	8/4	9/1	10/6	11/10	12/8	1/5	2/8	3/1	平均	最大	最小
	天候		晴れ	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	曇り	曇り	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	_		_
	気温	$^{\circ}$ C	15.6	26.5	23.2	26.0	35.2	35.0	18.7	16.8	13.0	6.6	8.0	12	_	_	_
	水温	$^{\circ}$ C	14.5	22.6	20.9	23.0	29.9	29.4	18.5	14.8	10.5	7.0	9.4	10.1	_	_	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.237	0.140	0.094	0.277	0.187	0.116	0.111	0.067	0.076	0.061	0.073	0.052	0.124	0.277	0.052
	透視度	度	>100	62	>100	>100	76	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	95	>100	62
	水素イオン濃度(pH)		8.3	8.2	7.7	7.8	8.1	8.0	7.9	7.7	7.7	7.4	7.5	7.3	7.8	8.3	7.3
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	12	12	9	8	10.0	8.6	9.2	11.1	12	12	12	11.9	11	12	8.2
活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	1.3	1.6	2.2	2.0	1.5	0.6	1.6	1.4	0.8	1.5	1.3	0.9	1.4	2.2	0.6
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.3	4.9	5.0	2.5	2.7	2.2	1.8	1.7	1.5	1.8	1.6	1.7	2.5	5.0	1.5
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	1	8	2	7	6	4	2	1	1	<1	1	<1	3	8	<1
項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	240	1,100	1,100	15,000	24,000	1,500	16,000	930	750	4,300	930	750	5,600	24,000	240
目	全窒素(T-N)	mg/L	1.0	0.9	1.2	0.8	0.5	1.2	1.5	0.7	0.9	0.7	0.6	0.7	0.9	1.5	0.5
	全リン(T-P)	mg/L	0.07	0.11	0.09	0.05	0.06	0.08	0.04	0.04	0.04	0.03	0.02	0.02	0.05	0.11	0.02
	有機体炭素(TOC)	mg/L	1.3	2.4	2.9	1.8	1.7	1.4	1.2	1.2	1.3	1.0	1.2	1	1.5	2.9	1.0
	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満												
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満												
	六価クロム(Cr6+)	mg/L			0.01未満								_				
	砒素(As)	mg/L			0.005未満							<u> </u>					
	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満								_				
	アルキル水銀	mg/L			不検出												
	PCB	mg/L			不検出												
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満												
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満												
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満												
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン 1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満						<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>		<u> </u>	
目	1.1.2-トリクロロエタン トリクロロエチレン	mg/L			0.0006未満	ļ						-				$\vdash \equiv \vdash$	
-   -	テトラクロロエテレン	mg/L mg/L		<del></del>	0.001未満												
-   -	1.3-ジクロロエテレン	mg/L		<del></del>	0.000未満	<del></del>					<del></del>					H-=-	
	チウラム			=		=						<del></del>		<del></del>			
	シマジン	mg/L mg/L			0.0006未満 0.0003未満							<u> </u>		<u> </u>			
-   -	チオベンカルブ	mg/L		<del></del>	0.0003未満	<del></del>			<del></del>					<del>                                     </del>			
	ベンゼン	mg/L mg/L			0.002未満							<u> </u>		-			
	セレン(Se)	mg/L		<del></del>	0.001未満	-=								<del>                                     </del>			
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L		<del></del>	0.002末個	$\vdash \equiv \vdash$						<del></del>		$\vdash \equiv -$			
	明版性至素及び型明版性至 ふっ素(F)	mg/L			0.43	<del></del>								<del>                                     </del>			
	ふう糸(F) ほう素(B)	mg/L			0.17	<del></del>						<del></del>		<del></del>			
	1.4-ジオキサン	mg/L		<del></del>	0.005未満	<del></del>					<u> </u>	<del></del>	<u> </u>	<del></del>			
ш	1.1 7 4 7 7 7	IIIg/ L			0.000不個							1		1			

							郡上	:山寺川									
	採水年月日	_	4/16	5/13	6/1	7/17	8/4	9/1	10/6	11/10	12/8	1/5	2/8	3/1	平均	最大	最小
	天候	_	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	曇り	晴れ	晴れ			
	気温	°C	19.0	28.1	25.5	25.0	31.7	35.9	20.3	15.5	14.1	8.0	7.0	15.5		_	
	水温	°C	15.0	22.6	22.4	23.8	31.3	30.1	20.9	13.8	10.0	5.8	11.1	10.3	_		_
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.028	0.237	0.030	0.109	0.061	0.022	0.023	0.008	0.024	0.014	0.013	0.014	0.049	0.237	0.008
	透視度	度	>100	40	70	>100	>100	>100	>100	>100	>100	>100	88	>100	92	>100	40
	水素イオン濃度(pH)		7.6	7.9	7.5	7.6	8.8	7.5	8.4	8.5	8.7	7.5	7.8	- 8	8.0	8.8	7.5
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	11	10	10	8.8	9.8	9.7	11.3	12.3	14	13	14	14.4	11.6	14.4	8.8
活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	1.6	2.1	1.9	2.6	1.8	2.0	1.1	1.3	1.2	1.5	1.9	1.9	1.7	2.6	1.1
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	3.8	4.8	5.4	3.3	3.3	4.7	2.9	2.8	2.2	2.2	2.8	3.6	3.5	5.4	2.2
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	3	12	7	4	2	4	1	1	<1	1	2	1	3	12	<1
	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	2,400	46,000	11,000	110,000	46,000	2,900	4,900	2,100	380	2,400	2,400	430	19,000	110,000	380
項	全窒素(T-N)	mg/L	1.2	0.8	0.8	1.3	0.6	0.9	0.9	0.8	1.2	0.8	0.9	0.9	0.9	1.3	0.6
目目	全リン(T-P)	mg/L	0.09	0.09	0.11	0.08	0.07	0.13	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04	0.02	0.07	0.13	0.02
	有機体炭素(TOC)	mg/L	1.9	2.3	3.2	2.3	2.2	2.6	1.8	2.0	1.4	1.3	1.9	2.1	2.1	3.2	1.3
	カドミウム(Cd)	mg/L	_	_	0.0003未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	全シアン(CN)	mg/L	_	_	不検出	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	鉛(Pb)	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
1 [	六価クロム(Cr6+)	mg/L	_	_	0.01未満	_	_		_	_	_	_	_		_		
1 1	砒素(As)	mg/L			0.005未満												
1 1	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満										_		
1 1	アルキル水銀	mg/L		<u> </u>	不検出		_					<u> </u>			_		
1 1	PCB	mg/L			不検出												
1 1	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満				_			<u> </u>			_		
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満												
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満												
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸.	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満												
le l	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満	_											
	トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満				_								
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L		<u> </u>	0.0002未満												
	チウラム	mg/L		<u> </u>	0.0006未満												
	シマジン	mg/L			0.0003未満												
	チオベンカルブ	mg/L			0.002未満												
	ベンゼン	mg/L			0.001未満												
	セレン(Se)	mg/L			0.002未満												
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L			0.18	_	_	_	_					_	_		
	ふっ素(F)	mg/L			0.08未満												
	ほう素(B)	mg/L		<u> </u>	0.1未満							<u> </u>	<u> </u>				
1 1	1.4-ジオキサン	mg/L	_	I —	0.005未満	-	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	l —	_	—	_	. – 1	_

							伊	佐々川									
	採水年月日	_	4/16	5/13	6/1	7/17	8/4	9/1	10/6	11/10	12/8	1/5	2/8	3/1	平均	最大	最小
	天候	_	晴れ	晴れ	量り	小雨	晴れ	量り	昼り	曇り	晴れ	量り	晴れ	晴れ	— <u>'</u>	- 1000	
	気温	°C	18.3	28.1	24.2	25.1	36.0	34.2	19.8	15.3	13.3	8.3	7.0	14.3	_	_	_
	水温	°C	15.1	22.2	22.1	24.0	31.5	29.6	19.2	15.2	10.3	5.4	10.1	9.5	_	_	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.133	0.420	0.514	0.506	0.192	0.205	0.269	0.184	0.153	0.096	0.085	0.090	0.237	0.514	0.085
	透視度	度	>100	47	>100	>100	81	>100	>100	>100	>100	>100	87	98	93	>100	47
	水素イオン濃度(pH)	_	7.4	7.5	7.6	7.4	7.7	7.5	7.6	7.5	7.6	7.3	7.0	7.4	7.5	7.7	7.0
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	10	11	8.2	7.5	9.0	7.7	9.1	11.4	12	11	12	11.4	10.0	12	7.5
生活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	1.1	1.6	1.4	1.9	1.5	0.8	1.8	1.1	1.2	1.9	1.6	1.4	1.4	1.9	0.8
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.2	4.4	3.1	3.0	3.2	3.3	3.1	2.1	2.0	1.9	2.3	2.5	2.8	4.4	1.9
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	4	9	5	5	5	5	6	3	1	2	2	4	4	9	1
項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	930	11,000	2,400	15,000	110,000	1,500	2,900	2,400	430	2,400	430	930	13,000	110,000	430
目	全窒素(T-N)	mg/L	0.7	0.9	0.5	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	1.0	0.9	0.8	1.0	0.5
	全リン(T-P)	mg/L	0.06	0.10	0.04	0.08	0.08	0.10	0.06	0.04	0.02	0.03	0.05	0.04	0.06	0.10	0.02
	有機体炭素(TOC)	mg/L	1.6	2.4	1.9	1.9	1.8	1.9	1.7	1.6	1.4	1.1	1.5	1.4	1.7	2.4	1.1
	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満												
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満												
	六価クロム(Cr6+)	mg/L			0.01未満												
	砒素(As)	mg/L			0.005未満												
	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満												
	アルキル水銀	mg/L		<u> </u>	不検出												
	PCB	mg/L			不検出												
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満												
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満												
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満												
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満												
Ê	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満												
"	トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満									<u> </u>			
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L			0.0002未満												
	チウラム	mg/L			0.0006未満												
	シマジン	mg/L			0.0003未満												
	チオベンカルブ	mg/L			0.002未満												
	ベンゼン	mg/L			0.001未満												
	セレン(Se)	mg/L			0.002未満									<u> </u>			
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L			0.14										_		
	ふっ素(F)	mg/L			0.08未満									<u></u>			
	ほう素(B)	mg/L			0.1未満									<u> </u>			
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_

								狼川									
	採水年月日	_	4/16	5/13	6/1	7/17	8/4	9/1	10/6	11/10	12/8	1/5	2/8	3/1	平均	最大	最小
	天候	_	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	_	_	_
	気温	°C	19.4	28.9	25.7	26.0	37.1	38.9	21.8	13.6	14.5	8.0	8.0	14.8	_	<u> </u>	_
	水温	°C	14.7	23.5	21.8	23.0	31.3	29.3	19.0	14.4	11.0	5.6	9.1	10.9	_	<u> </u>	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.116	0.077	0.066	0.277	0.074	0.102	0.075	0.063	0.045	0.028	0.064	0.021	0.084	0.277	0.021
	透視度	度	>100	>100	>100	>100	96	>100	90	>100	94	83	32	>100	91	>100	32
	水素イオン濃度(pH)		7.7	7.7	7.5	7.8	7.9	7.6	7.4	7.4	7.3	7.1	7.3	7.4	7.5	7.9	7.1
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	10	9	9	8.2	7.8	6.9	8.6	9.6	11	12	13	10.6	10	13	6.9
活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	2.1	5.1	2.1	2.0	6.1	4.4	2.5	5.2	5.6	2.0	3.8	1.5	3.5	6.1	1.5
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	3.6	7.0	4.7	2.5	7.5	5.1	3.9	6.1	6.5	3.2	5.0	3.2	4.9	7.5	2.5
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	<1	3	6	7	4	4	3	2	7	4	9	2	4	9	<1
項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	430	2,100	2,900	15,000	9,300	24,000	24,000	24,000	750	240	2,400	150	8,800	24,000	150
目	全窒素(T-N)	mg/L	0.8	1.1	1.6	0.8	0.9	0.5	0.9	0.9	1.4	1.6	1.5	1.4	1.1	1.6	0.5
H	全リン(T-P)	mg/L	0.07	0.09	0.08	0.05	0.03	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.02	0.05	0.09	0.02
	有機体炭素(TOC)	mg/L	2.0	3.5	2.8	1.8	3.4	2.6	2.3	4.9	3.9	1.5	2.2	1.7	2.7	4.9	1.5
	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満												
	全シアン(CN)	mg/L			不検出			_		_			_		_	_	
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満												
	六価クロム(Cr6+)	mg/L			0.01未満										_		
	砒素(As)	mg/L			0.005未満												
	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満												
	アルキル水銀	mg/L			不検出								_				
	PCB	mg/L			不検出												
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満								_				
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満												
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満												
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満								_		_		
E	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満												
	トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L			0.0002未満												
	チウラム	mg/L			0.0006未満												
	シマジン	mg/L			0.0003未満												
	チオベンカルプ	mg/L			0.002未満								_				
	ベンゼン	mg/L			0.001未満												
	セレン(Se)	mg/L			0.002未満												
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L		_	0.77			_		_	_	_	_	_			
	ふっ素(F)	mg/L			0.08未満												
	ほう素(B)	mg/L	_	_	0.1未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_

							単	津川									
	採水年月日	_	4/16	5/13	6/1	7/17	8/4	9/1	10/6	11/10	12/8	1/5	2/8	3/1	平均	最大	最小
	天候	l —	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	曇り	曇り	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	_	_	_
	気温	°C	20.1	24.4	25.3	24.4	37.7	34.2	20.7	14.5	15.9	6.9	8.0	13.9	_	_	_
	水温	°C	15.1	23.6	21.4	23.2	32.3	31.2	19.0	15.2	11.2	5.9	9.2	10.7	_	_	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	1.44	1.446	0.930	1.368	1.007	0.797	0.231	0.808	0.478	0.516	1.724	1.491	1.020	1.724	0.231
	透視度	度	>100	43	>100	10	69	>100	>100	>100	>100	>100	23	80	77	>100	10
	水素イオン濃度(pH)		7.4	7.6	7.4	7.5	8.4	7.6	7.6	7.8	7.5	7.2	7.3	7.4	7.6	8.4	7.2
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	9.9	11	8.8	8.2	9.5	8.8	11.0	13.4	12	12	12	11	10.6	13	8.2
活	生物化学的酸素要求量(BOI	mg/L	1.0	1.9	1.5	1.7	1.6	0.7	1.7	0.6	1.3	1.6	1.6	1.2	1.4	1.9	0.6
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.4	5.2	3.7	3.4	2.6	2.4	2.2	2.0	2.1	1.7	2.2	2.1	2.7	5.2	1.7
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	2	14	4	54	9	3	3	3	5	3	24	5	11	54	2
項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	240	2,100	720	110,000	15,000	2,400	930	4,300	430	430	930	240	11,000	110,000	240
月日	全窒素(T-N)	mg/L	0.6	1.2	0.8	1.0	0.6	0.7	0.9	0.6	1.0	0.8	1.1	0.8	0.8	1.2	0.6
н	全リン(T-P)	mg/L	0.03	0.10	0.06	0.07	0.05	0.05	0.04	0.02	0.02	0.02	0.04	0.01	0.04	0.10	0.01
	有機体炭素(TOC)	mg/L	1.3	2.1	2.2	1.9	1.6	1.5	1.4	1.2	1.1	1.0	1.4	1.2	1.5	2.2	1.0
	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満		_				_						
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満		_	_			_					_	
	六価クロム(Cr6+)	mg/L			0.01未満										_		
	砒素(As)	mg/L			0.005未満												
	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満												
	アルキル水銀	mg/L			不検出												
	PCB	mg/L			不検出	_	_	_		_	_			_	_	_	
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満						0.002未満						
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満						0.0002未満						
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満						0.0004未満						
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満						0.002未満						
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満		_	_			0.004未満						
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満						0.002未満						
l e	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満						0.0006未満					_	
н	トリクロロエチレン	mg/L			0.006						0.004						
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満						0.001未満						
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L			0.0002未満						0.0002未満						
	チウラム	mg/L			0.0006未満												
	シマジン	mg/L			0.0003未満		_	_		_	_			_	_	_	
	チオベンカルブ	mg/L			0.002未満												
	ベンゼン	mg/L			0.001未満												
	セレン(Se)	mg/L			0.002未満												
1	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L			0.41												
	ふっ素(F)	mg/L	_		0.08未満					_			_	_			
1	ほう素(B)	mg/L			0.1未満												
Ш	1.4-ジオキサン	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_

# 【令和3年度】

							作	母川									
	採水年月日	_	_	I —	6/9	_	l —	_	_	_	l –	_	_	_	平均	最大	最小
	天候	_	_	_	晴れ	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	I –	_
	気温	°C	_	<u> </u>	23.4	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_	l —	_
	水温	°C	_	_	21.3	_		_	_	_	_	_	_	_	_	I —	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	_	<u> </u>	0.144	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	Ī —	_
	诱視度	度	_	<u> </u>	87	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	T —	_
	水素イオン濃度(pH)		_	<u> </u>	7.5	_	l —	_	_	_	_	_	_	_	_	_	l —
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	_	l —	7.6	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	l —	T —
生活	生物化学的酸素要求量(BOL	mg/L	_	_	1.4	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_	T —	_
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	_	_	3.7	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	l —	_
	浮遊物質量(SS)	mg/L	_	_	5	_	_	_	_	_	l —	—	_	_	_	l —	_
境項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	_	_	2400		I —	_	_	_	_	_	_		_	I —	
月日	全窒素(T-N)	mg/L	_	_	0.8	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	l —	_
H	全リン(T-P)	mg/L	_	_	0.06	_	I –	_	_	_	_	_	_	_	_	I —	_
	有機体炭素(TOC)	mg/L		_	1.9	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		I —
	カドミウム(Cd)	mg/L	_	l –	0.0003未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_
	全シアン(CN)	mg/L	_	<u> </u>	不検出	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	I —
	鉛(Pb)	mg/L	_	<u> </u>	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	六価クロム(Cr6+)	mg/L	_	_	0.01未満	_	_	_	_		_	_	_	_	_		I —
	砒素(As)	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	I –
	総水銀(T-Hg)	mg/L	_	_	0.0005未満	_	l –	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	アルキル水銀	mg/L	_	_	不検出	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	I –
	PCB	mg/L	_	l –	不検出	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	ジクロロメタン	mg/L		L —	0.002未満	_		_				_			_		l —
	四塩化炭素	mg/L	_	<u> </u>	0.0002未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	1.2-ジクロロエタン	mg/L	_	_	0.0004未満	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_		_
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L	_	<u> </u>	0.002未満	_	<u> </u>	_	_	_		_	_	_	_		1 —
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	_	_	0.004未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L		L —	0.002未満	_		_				_			_		
目	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満		<u> </u>	_				_					
	トリクロロエチレン	mg/L		_	0.001未満	_	_	_	_		_	_	_	_	_		
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満			_				_					
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L	_	_	0.0002未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_
	チウラム	mg/L	_	<u> </u>	0.0006未満	_	<u> </u>	_	_	_		_	_	_	_		1 —
	シマジン	mg/L	_	_	0.0003未満		_	_	_		_	_		_		_	_
	チオベンカルプ	mg/L		_	0.002未満			_	_	_	_	_	_	_			
	ベンゼン	mg/L		_	0.001未満		_	_	_	<u> </u>	_	_	_	_			
	セレン(Se)	mg/L	_	_	0.002未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L			0.37			_				_					
	ふっ素(F)	mg/L	_	_	0.21	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		
	ほう素(B)	mg/L		_	0.1未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	I —	0.005未満		l –	_	_	_	_	_	_	_	_	T —	I —

							郡」	:山寺川:									
	採水年月日	_	_	_	6/9	_		_	l —	_	_	_	_	_	平均	最大	最小
	天候	_	_	_	晴れ	_	I —	_		<u> </u>	_	_	_	_	_	_	T —
	気温	$^{\circ}\! \mathbb{C}$	_	_	29.5	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	水温	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	_	_	25.1	_	I —	_	l —	_	_	_	_	_	_	_	T —
	流量	m <sup>3</sup> /s	_	_	0.078	_		_	l –	_	_	_	_	_	_	_	_
	透視度	度	_	_	80	_	T —	_		<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	_	_
	水素イオン濃度(pH)	_	_	_	7.4	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	_		9.3	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	
生活	生物化学的酸素要求量(BOI	mg/L	_	_	1.7		_	_		_	_	_	_	_	_	_	
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	_	_	4.6		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	_	_	5	_		_	l —	_	_	_	_	_	_	_	I —
現項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	_	_	930			_		_	_	_	_	_	_	_	
目目	全窒素(T-N)	mg/L	_	_	0.8	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
H	全リン(T-P)	mg/L	_	_	0.08		_	_		_	_	_	_	_	_	_	
	有機体炭素(TOC)	mg/L	_	_	2.5	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	カドミウム(Cd)	mg/L		_	0.0003未満			_			_	_			_	_	_
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満			_			_		_	_	_		
	六価クロム(Cr6+)	mg/L	_		0.01未満							_			_		
	砒素(As)	mg/L			0.005未満			_									
	総水銀(T-Hg)	mg/L		_	0.0005未満			_			_	_			_		_
	アルキル水銀	mg/L			不検出												
	PCB	mg/L			不検出												
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満												
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満			_			_		_	_	_		
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満										_		
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満			_				_					
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満					_	_		_	_	_		
E E	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満			_			_			_	_		
	トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満			_									
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L			0.0002未満							_			_		
	チウラム	mg/L			0.0006未満			_				_					
	シマジン	mg/L			0.0003未満												
	チオベンカルプ	mg/L	_	_	0.002未満			_	_		_	_		_			
	ベンゼン	mg/L	_	_	0.001未満			_	_		_	_	_	_	_	_	_
	セレン(Se)	mg/L	_		0.002未満			_	_		_	_					_
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L		_	0.16			_	_		_	_	_	_	_	_	_
	ふっ素(F)	mg/L		_	0.16			_	_		_	_		_	_		_
	ほう素(B)	mg/L		_	0.1未満			_	_		_	_	_	_		_	
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	_	0.005未満	_		_	_		—	_	_	_	_	_	_

							伊	佐々川									
	採水年月日	_	4/12	5/10	6/9	7/19	8/27	9/8	10/6	11/2	12/13	1/18	2/1	3/1	平均	最大	最小
	天候	_	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	— <u> </u>		_
	気温	°C	17.6	19.3	28.2	29.0	33.9	24.0	22.5	17.0	13.0	2.0	4.0	6.5	_	_	_
	水温	°C	16.5	19.0	25.1	26.9	31.5	24.4	22.2	15.1	11.2	3.6	5.3	8.6	_	_	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.098	0.131	0.234	0.152	0.130	0.130	0.180	0.174	0.282	0.095	0.074	0.04	0.143	0.282	0.040
	透視度	度	>100	62	80	75	>100	66	>100	83	>100	81	63	78	82	>100	62
	水素イオン濃度(pH)		6.9	6.9	7.4	7.4	7.4	7.5	7.4	7.4	7.3	7.6	7.1	7.1	7.3	7.6	6.9
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	9.1	9.9	8.4	7.9	7.9	8.2	8.4	6.9	10.3	11.3	11.4	11.3	9.3	11.4	6.9
五活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	1.2	1.6	1.6	1.2	0.8	1.0	1.4	2.0	1.4	1.4	0.8	2	1.4	2.0	0.8
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	3.2	2.9	4.0	3.2	2.9	2.4	2.8	2.9	2.2	2.2	2.4	2.4	2.8	4.0	2.2
環境	浮遊物質量(SS)	mg/L	3	7	6	5	2	5	3	4	3	2	4	4	4.0	7	2
項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	11,000	2,400	2,400	46,000	2,400	24,000	46,000	9,300	9,300	930	2,400	93	13,000	46,000	93
目目	全窒素(T-N)	mg/L	0.8	1.0	1.0	0.8	0.6	0.5未満	0.5未満	0.9	0.8	0.6	0.6	0.5未満	0.7	1.0	<0.5
	全リン(T-P)	mg/L	0.04	0.05	0.08	0.05	0.04	0.02	0.04	0.09	0.06	0.02	0.05	0.04	0.05	0.09	0.02
	有機体炭素(TOC)	mg/L	1.6	1.7	2.3	1.8	1.3	1.3	1.4	1.6	1.2	1.0	1.2	2.3	1.6	2.3	1.0
	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満												
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満												
	六価クロム(Cr6+)	mg/L			0.01未満												
	砒素(As)	mg/L			0.005未満												
	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満												
	アルキル水銀	mg/L			不検出												
	PCB	mg/L			不検出												
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満												
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満												
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満												
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満												
ΙÊ	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満									<u> </u>			
П	トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満									<u> </u>			
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L		<u> </u>	0.0002未満												
	チウラム	mg/L		<u> </u>	0.0006未満												
	シマジン	mg/L		<u> </u>	0.0003未満												
	チオベンカルブ	mg/L			0.002未満									<u> </u>			
	ベンゼン	mg/L			0.001未満									<u> </u>			
	セレン(Se)	mg/L		<u> </u>	0.002未満												
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L			0.15									<u> </u>			
	ふっ素(F)	mg/L			0.15												
	ほう素(B)	mg/L			0.1未満												
	1.4-ジオキサン	mg/L	_		0.005未満	_		_	_	_					_	_	_

								狼川									
	採水年月日	_	4/12	5/10	6/9	7/19	8/27	9/8	10/6	11/2	12/13	1/18	2/1	3/1	平均	最大	最小
	天候	_	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り		_	_
	気温	$^{\circ}$ C	18.7	21.4	30.2	29.0	33.4	24.0	23.0	17.0	11.2	3.0	5.0	7.7	_	_	_
	水温	$^{\circ}$ C	14.6	17.3	25.0	26.5	31.5	23.5	21.9	16.7	11.3	4.7	6.1	7.4	_	_	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.025	0.047	0.191	0.204	0.254	0.150	0.135	0.100	0.027	0.052	0.034	0.014	0.103	0.254	0.014
	透視度	度	>100	83	75	77	>100	83	85	78	>100	>100	>100	>100	90	>100	75
	水素イオン濃度(pH)		7.5	7.3	7.4	7.7	7.8	7.5	7.6	7.3	7.4	7.5	7.2	6.9	7.4	7.8	6.9
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	9.5	10.4	8.2	8.2	7.4	7.4	8.6	7.1	10.8	12.0	12.3	10.2	9.3	12.3	7.1
生活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	1.2	2.3	3.7	1.7	2.0	1.6	2.1	2.9	1.5	5.9	6.3	6.2	3.1	6.3	1.2
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	3.9	4.1	4.8	3.7	4.3	3.1	4.3	3.8	3.0	5.9	6.3	6.5	4.5	6.5	3.0
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	3	4	5	3	2	3	3	2	2	2	2	3	2.8	5	2
現項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	4,300	930	1,500	24,000	7,500	110,000	9,300	46,000	4,300	24,000	2,400	290	20,000	110,000	290
目	全窒素(T-N)	mg/L	1.4	1.2	1.1	1.2	1.1	0.7	0.5	1.0	1.6	1.5	1.2	0.9	1.1	1.6	0.5
н	全リン(T-P)	mg/L	0.03	0.04	0.06	0.04	0.06	0.03	0.03	0.03	0.05	0.03	0.04	0.04	0.04	0.06	0.03
	有機体炭素(TOC)	mg/L	1.8	2.3	3.2	2.1	2.3	1.6	2.1	2.5	1.7	3.7	4.1	6.8	2.9	6.8	1.6
	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満												
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満	_		_				_			_	_	
	六価クロム(Cr6+)	mg/L			0.01未満												
	砒素(As)	mg/L			0.005未満												
	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満												
	アルキル水銀	mg/L			不検出												
	PCB	mg/L			不検出												
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満												
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満						_						
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満												
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満												
E	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満	_		_				_			_	_	
н	トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L			0.0002未満												
	チウラム	mg/L			0.0006未満												
	シマジン	mg/L			0.0003未満			_			_						
	チオベンカルプ	mg/L			0.002未満												
	ベンゼン	mg/L			0.001未満							_		_			
	セレン(Se)	mg/L			0.002未満								_				
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L			0.41												
	ふっ素(F)	mg/L		_	0.22			_			_	_	_	_		_	
	ほう素(B)	mg/L			0.1未満												
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	_	0.005未満	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_

							茸	準川									
	採水年月日	_	_	_	6/9	_	l –	_	l –	<u> </u>	_	_	_	_	平均	最大	最小
	天候	_	_	_	晴れ	_	l —	_	l –	_	l –	_	_	_	_	_	_
	気温	$^{\circ}$ C	_	_	30.0	_	I —	_	I —	_	_	_	_	_	_	_	_
	水温	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	_	_	27.4	_	_	_	l —	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	_	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	_	_	0.767	_	_	_	l —	_	_	_	_	_	_	_	_
	透視度	度	_	_	>100	_	<u> </u>	_	<u> </u>	<u> </u>	l –	_	_	_	_	_	
	水素イオン濃度(pH)		_	_	7.5	_	l –	_	_	_	_	_	_	_	_	_	-
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	_	_	9.4	_	<u> </u>	_	<u> </u>	<u> </u>	l –	_	_	_	_	_	
活	生物化学的酸素要求量(BOL	mg/L	_	_	1.3	_	l —	_	_	T —	l –	_	_	_	_	l –	T —
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	_	_	3.7	_		_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	_	_	5	_	_	_	_	_	I —	_	_	_	_	_	_
項	大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	_	_	1,500	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	T —
目目	全窒素(T-N)	mg/L	_	_	1.0	_	<u> </u>	_	<u> </u>	<u> </u>	l –	_	_	_	_	_	
	全リン(T-P)	mg/L	_	_	0.06	_		_	_		_	_	_	_	_	_	_
	有機体炭素(TOC)	mg/L	_		1.9	_		_		Ī —	l —	_	_	_	_		_
	カドミウム(Cd)	mg/L	_	_	0.0003未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
li	全シアン(CN)	mg/L	_		不検出	_	<u> </u>	_		<u> </u>	l —	_	_	_	_		_
	鉛(Pb)	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
1	六価クロム(Cr6+)	mg/L	_	_	0.01未満	_	<u> </u>	_	_	_	l —	_	_	_	_	l —	_
li	砒素(As)	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
1	総水銀(T-Hg)	mg/L	_		0.0005未満	_	<u> </u>	—	_	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	
li	アルキル水銀	mg/L	_		不検出	_	T —	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	_
li	PCB	mg/L	_	_	不検出		<u> </u>	_		<u> </u>	<u> </u>	—	_	_		<u> </u>	
li	ジクロロメタン	mg/L	_		0.002未満	_	<u> </u>	_		<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	_
	四塩化炭素	mg/L	_	_	0.0002未満	_	_	_	_	_	I —	_	_	_	_	_	
li	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満		<u> </u>	_		<u> </u>	<u> </u>	_	_	_		_	
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L	_		0.002未満			_		<u> </u>	T	_	_	_	_	l —	
	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	_	_	0.004未満		<u> </u>	—		<u> </u>	l —	—	_	—			_
幸項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	_		0.002未満	_	T —	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	_
	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	_	_	0.0006未満	_	_	_	_	_	l –	_	_	_	_	_	_
目	トリクロロエチレン	mg/L	_		0.003	_	T —	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	T —
li	テトラクロロエチレン	mg/L	_	_	0.001未満	_	T —	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	_
1	1.3-ジクロロプロペン	mg/L	_	_	0.0002未満	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>		_	_	_	_	<u> </u>	T —
li	チウラム	mg/L	_	_	0.0006未満	_	T —	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	_
Ιİ	シマジン	mg/L	_	_	0.0003未満	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	_	_
	チオベンカルブ	mg/L	_	_	0.002未満	_	T —	_	T —	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	_
	ベンゼン	mg/L	_	_	0.001未満	_	_	_	l –	_	_	_	_	_	_	_	_
Ιİ	セレン(Se)	mg/L	_	_	0.002未満	_	T —	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_		_	_	<u> </u>	T —
1 1	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L	_		0.37		<u> </u>	_	_	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_		l —	_
	ふっ素(F)	mg/L	_		0.18	_	<u> </u>	_		<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	_		T —
1 1	ほう素(B)	mg/L	_		0.1未満		<u> </u>	_	_	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_		l —	<u> </u>
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	_	0.005未満	_		_	_	_		_	_	_	_	_	

# 【令和4年度】

							作	母川									
	採水年月日	_	_	I –	6/10	_	I –	_	_	_	_	I —	_	_	平均	最大	最小
	天候				曇り			_	_	_	_	_	<u> </u>	<del> </del>		-	
	気温	°C			27.0	_	_	_	_		_	_	_		_	_	
	水温	°C			24.6		<u> </u>							<del> </del>		<u> </u>	
	流量	m <sup>3</sup> /s	_	_	0.097	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	
	透視度	度			90		<del>                                     </del>					<u> </u>	<del></del>	<del> </del>		<del>                                     </del>	
	水素イオン濃度(pH)		_		7.6	_		_	_	_	_		_		_	_	
	溶存酸素量(DO)	mg/L			9.7		<u> </u>	_	_	_	_	_	_	<u> </u>			_
生	生物化学的酸素要求量(BOL	mg/L		<u> </u>	2.1		<u> </u>	_		_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	_	<u> </u>	
活	化学的酸素要求量(COD)	mg/L			4.3			_		_				<u> </u>			
環	浮遊物質量(SS)	mg/L		l —	3		<u> </u>			_	_		<u> </u>	<u> </u>	—	<u> </u>	
境		CFU/100ml			51			_		_	_		—	<u> </u>		<u> </u>	
項	全窒素(T-N)	mg/L			0.9	_	l –	_		_	_	_		_	_	_	
目	全リン(T-P)	mg/L			0.08			_		_	_		—	<u> </u>			_
	有機体炭素(TOC)	mg/L		l —	2.2			_								_	
	カドミウム(Cd)	mg/L	_	_	0.0003未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	全シアン(CN)	mg/L		T —	不検出		l —	_		_	_	<u> </u>		<u> </u>	_	<u> </u>	
1 1	鉛(Pb)	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	_
1 1	六価クロム(Cr6+)	mg/L		_	0.01未満	_		_	_	_	_	_					_
	砒素(As)	mg/L		<u> </u>	0.005未満	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	_	<u> </u>	_
	総水銀(T-Hg)	mg/L	_	_	0.0005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	_
	アルキル水銀	mg/L	_	_	不検出	_	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_
1 1	PCB	mg/L	_	_	不検出	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	T —	_	_	_
	ジクロロメタン	mg/L		_	0.002未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_
	四塩化炭素	mg/L		l —	0.0002未満	_	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	<u> </u>	
	1.2-ジクロロエタン	mg/L	_	_	0.0004未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L	_	_	0.002未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	_	_	0.004未満	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	T —	_	_	_
平項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	_	_	0.002未満	_	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_
	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L		l —	0.0006未満	_	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	<u> </u>	<u> </u>
目	トリクロロエチレン	mg/L	_	_	0.001未満	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	_	_	_
	テトラクロロエチレン	mg/L	_	_	0.001未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L	_	_	0.0002未満	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	_	_	_
	チウラム	mg/L	_	_	0.0006未満	_	I –	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	シマジン	mg/L	_		0.0003未満	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	_		_
	チオベンカルブ	mg/L		_	0.002未満			_	_	_	_	_	_	_	_		_
	ベンゼン	mg/L	_	<u> </u>	0.001未満	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_
	セレン(Se)	mg/L	_	_	0.002未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L	_	<u> </u>	0.49	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	ふっ素(F)	mg/L	_	_	0.23	_	<u> </u>	_	_	_	_	<u> </u>	_	<u> </u>	_	<u> </u>	_
	ほう素(B)	mg/L	_	_	0.1未満	_	l —	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	_	_	_	l –	_
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	<u> </u>	T —	_	_	_

							郡」	:山寺川									
	採水年月日	_	_	l –	6/10	_	l –	_	_	_	_	_	_	_	平均	最大	最小
	天候	_		l –	晴れ	_	_	_	_		_	_	_	_	— <u> </u>	-	
	気温	°C	_	<u> </u>	28.0	_	_	_	_	<u> </u>		_	_	_	_	_	_
	水温	°C		<u> </u>	28.2	_	_	_	_			_					T —
	流量	m <sup>3</sup> /s	_	l —	0.020	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	_	_	<u> </u>	l —
	透視度	度		<u> </u>	66	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	<u> </u>	_		<u> </u>	
	水素イオン濃度(pH)			_	8.5	_	l –	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	_	I —	10.1	_	l –	_	_	_	_	_	_	_	_	_	I —
活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	_	_	2.5	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	_	I —	6.4	_	I —	_	_	_	_	_	_	_	_	_	I —
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	_	I —	3	_	l –	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
項	大腸菌群数(MF法)	CFU/100ml	_	_	34	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
月目	全窒素(T-N)	mg/L			0.9		_	_		_	_				_	_	
	全リン(T-P)	mg/L			0.10												
Ш	有機体炭素(TOC)	mg/L		_	3.3	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満												
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満												
	六価クロム(Cr6+)	mg/L			0.01未満												
	砒素(As)	mg/L			0.005未満												
	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満												
	アルキル水銀	mg/L			不検出												
	PCB	mg/L			不検出												
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満												
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満												
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満												
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満												
l e	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満												
"	トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L			0.0002未満												
	チウラム	mg/L			0.0006未満												
	シマジン	mg/L			0.0003未満												
	チオベンカルブ	mg/L	_		0.002未満	_	_	_		_	_			_	_	_	
	ベンゼン	mg/L			0.001未満												
	セレン(Se)	mg/L			0.002未満												
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒				0.23												
	ふっ素(F)	mg/L			0.14						_						
	ほう素(B)	mg/L			0.1未満			_									
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	I —	0.005未満	_	I —	_ ·	_	— ·	I —	_	_	_	I —	I —	-

							伊	佐々川									
	採水年月日	_	4/12	5/10	6/10	7/8	8/2	9/6	10/20	11/10	12/8	1/17	2/28	3/17	平均	最大	最小
	天候	_	晴れ	晴れ	晴れ	量り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	昼り		-	
	気温	°C	26.0	19.4	28.0	27.0	30.0	32.0	15.0	13.0	8.0	4.0	6.0	10	_	_	_
	水温	°C	26.2	18.5	26.7	27.5	30.4	29.3	16.4	13.4	8.8	8.5	5.4	13	_	<u> </u>	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.117	0.270	0.192	0.271	0.018	0.140	0.369	0.072	0.095	0.126	0.140	0.094	0.159	0.369	0.018
	诱視度	度	67	38	74	67	36	93	84	47	>100	70	55	68	58	93	36
	水素イオン濃度(pH)		6.9	7.3	7.4	7.4	7.1	7.4	7.4	7.4	7.1	6.9	6.9	7.1	7.2	7.4	6.9
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	10.5	8.9	9.5	7.4	6.3	7.9	9.9	9.6	11.7	10.7	11.0	9.4	9.4	11.7	6.3
生活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	3.8	2.0	2.0	1.2	1.3	1.0	1.2	0.7	<0.5	1.4	1.4	1.8	1.5	3.8	0.7
境	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	4.7	3.9	5.5	3.6	4.3	3.1	3.1	1.6	1.9	3.1	2.6	2.8	3.4	5.5	1.6
現境	浮遊物質量(SS)	mg/L	3	12	3	3	6	3	8	8	1	4	5	3	5	12	1
現項	大腸菌群数(MF法)	CFU/100ml	26	58	30	62	80	150	69	100	56	200	39	16	74	200	16
月目	全窒素(T-N)	mg/L	0.9	1.0	0.8	1.2	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	0.8	0.8	0.7	0.8	1.2	0.6
	全リン(T-P)	mg/L	0.08	0.07	0.09	0.09	0.09	0.04	0.06	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05	0.06	0.09	0.04
	有機体炭素(TOC)	mg/L	1.8	2.3	3.1	2.1	2.0	1.6	1.3	1.0	1.0	1.5	1.4	1.8	1.7	3.1	1.0
	カドミウム(Cd)	mg/L		_	0.0003未満		<u> </u>	_				_		_	_	_	
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L	_	_	0.005未満	_	l —	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	六価クロム(Cr6+)	mg/L	_		0.01未満	_	<u> </u>	_	_				_		_		_
	砒素(As)	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	総水銀(T-Hg)	mg/L		_	0.0005未満		<u> </u>	_				_			_		
	アルキル水銀	mg/L			不検出												
	PCB	mg/L	_	_	不検出	_	l —	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満												
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満			_							_		
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満		<u> </u>										
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L			0.004未満		<u> </u>										
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満												
目	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満			_							_		
"	トリクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満		<u> </u>										
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L			0.0002未満												
	チウラム	mg/L			0.0006未満		<u> </u>										
	シマジン	mg/L			0.0003未満		<u> </u>	_	_			_		_			
	チオベンカルブ	mg/L			0.002未満												
	ベンゼン	mg/L			0.001未満							_					
	セレン(Se)	mg/L			0.002未満								_				
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L			0.30		<u> </u>										
	ふっ素(F)	mg/L			0.16												
	ほう素(B)	mg/L			0.1未満												
	1.4-ジオキサン	mg/L	_		0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		_

								狼川									
	採水年月日	_	4/12	5/10	6/10	7/8	8/2	9/6	10/20	11/10	12/8	1/17	2/28	3/17	平均	最大	最小
	天候	_	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	曇り	_	_	
	気温	$^{\circ}$ C	26.0	20.4	28.4	27.4	31.0	32.8	16.0	13.0	10.0	4.0	7.0	11.0	_	_	_
	水温	$^{\circ}$ C	24.8	17.5	27.7	25.0	29.5	27.9	16.3	13.9	9.2	8.6	6.9	12.9	_	_	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	0.062	0.111	0.084	0.241	0.342	0.133	0.077	0.038	0.166	0.103	0.132	0.079	0.131	0.342	0.038
	透視度	度	90	75	84	65	>100	>100	80	>100	>100	73	>100	>100	89	>100	65
	水素イオン濃度(pH)	_	7.4	7.6	7.9	7.7	7.5	7.5	7.9	7.3	7.6	7.1	7.3	7.2	7.5	7.9	7.1
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	9.5	9.2	8.0	7.9	8.2	8.0	8.8	11.9	10.8	11.5	12.1	10.9	9.7	12.1	7.9
活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	7.5	4.8	5.3	2.1	2.0	2.3	2.0	1.1	1.4	5.5	4.8	3.1	3.5	7.5	1.1
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	9.5	5.9	6.8	5.0	4.8	3.8	3.9	2.3	2.5	4.4	6.2	3.7	4.9	9.5	2.3
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	3	5	3	1	4	2	<1	1	4	3	2	2	3	5	<1
項	大腸菌群数(MF法)	CFU/100ml	84	98	120	98	150	30	28	92	28	86	44	38	75	150	28
目目	全窒素(T-N)	mg/L	1.1	1.2	0.8	1.1	1.5	0.8	1.1	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	1.1	1.5	0.8
□ [	全リン(T-P)	mg/L	0.04	0.06	0.08	0.10	0.09	0.04	0.06	0.04	0.09	0.04	0.04	0.05	0.06	0.10	0.04
	有機体炭素(TOC)	mg/L	4.7	4.2	3.7	2.3	2.4	2.1	1.8	1.5	1.4	5.0	3.3	2.8	2.9	5.0	1.4
1 [	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満							_					
	全シアン(CN)	mg/L	_		不検出	_			_	_			_				_
1 1	鉛(Pb)	mg/L		<u> </u>	0.005未満				<u> </u>						_		<u> </u>
	六価クロム(Cr6+)	mg/L	_		0.01未満	_		<u> </u>					_	<u> </u>	_	<u> </u>	_
	砒素(As)	mg/L	_	—	0.005未満	_	l –	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	総水銀(T-Hg)	mg/L	_	<u> </u>	0.0005未満	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	アルキル水銀	mg/L	_	—	不検出	_	I —	_		_	_	_	_	_	_	_	_
	PCB	mg/L	_		不検出	_		<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	_		<u> </u>	_		_
	ジクロロメタン	mg/L	_	<u> </u>	0.002未満	_	l —	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	四塩化炭素	mg/L	_	<u> </u>	0.0002未満	_	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	1.2-ジクロロエタン	mg/L	_	_	0.0004未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L		_	0.002未満			_	_		_	_		_	_	_	
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L	_	_	0.004未満	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L	_	I —	0.002未満	_	l –	I —	l –	_	_	_	_	I —	_	_	_
目	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L	_	<u> </u>	0.0006未満	_	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	_	_	_	_
□ [	トリクロロエチレン	mg/L	_	_	0.001未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	テトラクロロエチレン	mg/L		_	0.001未満			_	_		_	_		_	_	_	
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L	_	<u> </u>	0.0002未満	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	チウラム	mg/L	_	_	0.0006未満	_	l —	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	シマジン	mg/L			0.0003未満			_				_		_		_	
	チオベンカルブ	mg/L	_	_	0.002未満	_		_	_	_	_	_	_	_	_	_	I —
	ベンゼン	mg/L	_	_	0.001未満	_	_	<u> </u>	_	_	_	_	_	<u> </u>		_	
	セレン(Se)	mg/L	_	I —	0.002未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	I –
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L	_	_	0.18		I —	_	_	_		_	_	_	_		_
	ふっ素(F)	mg/L	_	_	0.51	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	ほう素(B)	mg/L	_	T —	0.1未満	_	l –	<u> </u>	_	<u> </u>	l –	_	_	<u> </u>	_		_
	1.4-ジオキサン	mg/L	_	_	0.005未満	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_

							茸	準川									
	採水年月日	_	_	l –	6/10	_	_		_	_	_	_	_	_	平均	最大	最小
	天候	_	_	_	晴れ	_	I —	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	
	気温	$^{\circ}$ C	_	<u> </u>	28.2	_	I —	_	_	_	_	_	_	<u> </u>	_	_	T —
	水温	$^{\circ}$ C	_	_	27.6	_	_	I —	_	_	_	_	_	_	_	_	_
	流量	m <sup>3</sup> /s	_	I —	0.832		I —		_		_	_			_	_	I —
	透視度	度	_	l –	63	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	T —
	水素イオン濃度(pH)	_	_	_	7.5	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
生	溶存酸素量(DO)	mg/L	_	_	9.9			_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
活	生物化学的酸素要求量(BOD	mg/L	_	_	1.5	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
環	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	_	_	3.7	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
境	浮遊物質量(SS)	mg/L	_		4	_	_	_		_	_	_	_	_	_	_	
項	大腸菌群数(MF法)	CFU/100ml	_	_	31	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
目	全窒素(T-N)	mg/L	_	_	0.8	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
ш	全リン(T-P)	mg/L			0.05					_		_					
	有機体炭素(TOC)	mg/L	_		1.9				_	_	_	_	_	_	_		_
	カドミウム(Cd)	mg/L			0.0003未満												
	全シアン(CN)	mg/L			不検出												
	鉛(Pb)	mg/L			0.005未満												
	六価クロム(Cr6+)	mg/L			0.01未満												
	砒素(As)	mg/L			0.005未満								_				
	総水銀(T-Hg)	mg/L			0.0005未満												
	アルキル水銀	mg/L			不検出												
	PCB	mg/L			不検出												<u> </u>
	ジクロロメタン	mg/L			0.002未満												
	四塩化炭素	mg/L			0.0002未満												
	1.2-ジクロロエタン	mg/L			0.0004未満												<u> </u>
健	1.1-ジクロロエチレン	mg/L			0.002未満												
幸	シス-1.2-ジクロロエチレン	mg/L		<u> </u>	0.004未満												
項	1.1.1-トリクロロエタン	mg/L			0.002未満												
B	1.1.2-トリクロロエタン	mg/L			0.0006未満												
1	トリクロロエチレン	mg/L			0.003		<u> </u>										
	テトラクロロエチレン	mg/L			0.001未満												
	1.3-ジクロロプロペン	mg/L		<u> </u>	0.0002未満		<u> </u>										
	チウラム	mg/L			0.0006未満									<u> </u>			
	シマジン	mg/L			0.0003未満												
	チオベンカルブ	mg/L			0.002未満												
1	ベンゼン	mg/L			0.001未満												
	セレン(Se)	mg/L			0.002未満												
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒	mg/L			0.3		<u> </u>	<u> </u>						<u> </u>			
	ふっ素(F)	mg/L			0.14												
	ほう素(B)	mg/L			0.1未満		<u> </u>	<u> </u>						<u> </u>			
	1.4-ジオキサン	mg/L		<u> </u>	0.005未満												

### 3. 自動車騒音調査結果

### 【令和2年度】

測	定路線					一般国	道1号							一般国	道1号							一般国	道1号	,		
獲	定場所				草	津市草	津1丁日	∄4					草	津市矢	倉3丁	∄4					草	津市矢	倉2丁	∄6		
環境	基準類型					C類	型							Βặ	頁型							C#	質型			
381 de 11	m±.	開始				12月	17日							12月	15日							12月	15日			
測定日	PGT	終了				12月	18日							12月	16日							12月	16日			
	車線数					4車	<b>正線</b>							4耳	<b>三線</b>							21	巨線			
要前	限度区分					(	3							1	b								С			
車道如	<b>端からの距離</b>				4.7m	背後地	1:50m	程度)					7.3m	背後地	1:50m	程度)					3.6m	(背後地	₫:50m	程度)		
道路敷地	境界からの距	雕			0.0m(	背後地	!:50m₹	呈度)					0.0m	背後地	1:50m	程度)					0.0m	(背後地	₫:50m	怪度)		
會	接種別					低騒音	許舗装						低縣	音舗装	·密粒	舗装					低騎	音舗装	·密粒	舗装		
	動特性					Fa	ıst							Fa	ast							F	ast			
New calculation	<b>昼間</b> 69(背後							)						70(背後	後地:43	)					7	70(背後	後地:49	)		
測定程	<b>測定結果</b>												(	65(背後	後地:37	)					7	70(背後	後地:39	)		
		昼間				7	0							7	0							7	70			
環境基	準	夜間				6	5							6	i5							(	55			
		昼間				7	5							7	5							7	75			
要請陈	度	夜間		**********		7	0			**********				7	0							7	70	*************		
				昼	間			夜	間			昼	間			夜	間			昼	:間			夜	間	
	開始日時 10:00 13:10					:10	22	:00	1:	00	9:	30	14	:00	22	:50	1:	50	10	:30	14	:40	23	:30	2:	30
	上り 下り 上り 下!					下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り
<b>办</b> 潘暑期杏	交通量調査 大型 I			27	15	16	10	6	7	3	9	12	4	8	3	3	7	5	8	4	8	2	2	4	4	3
(10分間)	(10分間)	大型Ⅱ	19	20	21	15	1	2	3	4	9	14	8	20	0	1	0	2	9	11	7	6	0	1	1	4
	交通量(台)	小型	183	205	201	213	97	125	29	24	136	149	153	152	28	35	7	21	98	75	98	79	40	22	10	10
	二輪			0	3	6	4	24	1	1	2	1	1	7	2	3	0	1	5	4	5	2	1	0	0	1
	平均走行速	麦(km/h)	45.0	12.9	44.4	45.3	48.8	46.3	50.1	52.1	50.7	46.3	55.5	55.0	57.5	55.1	54.8	53.3	41.9	45.0	47.4	49.8	48.9	48.2	54.3	50.5

		昼夜とも基	準値以下	昼のみ基	準値以下	夜のみ基	準値以下	昼夜とも基	準値超過
		戸数	割合(%)	戸数	割合(%)	戸数	割合(%)	戸数	割合(%)
面的評価結果	全戸数	4,359	94.0	188	4.1	0	0.0	92	2.0
	近接空間	1,389	88.9	111	7.1	0	0.0	62	4.0
	非近接空間	2,970	96.5	77	2.5	0	0.0	30	1.0

<備考> 環境基準は、幹線交通を担う道路に近接する空間における特例の基準値 背後地:評価範囲において、道路に直接面していない2列目以降の住居地の位置する場所

# 【令和3年度】

浿	定路線				県	道平興	<b>予草津</b>	線					県道大	津能	登川	長浜紡	Į				県	道石音	『草津	線		
狽	定場所			į	1津市	5笠山	5丁目	目付近	Ĩ				草津	市青	地町	付近					草津	市岡ス	忲町2	付近		
環境	基準類型					C類	型							B類	型							B類	[型			
測定	n meta	開始				12月	1日							12月	1日							12月	1日			
例是	D M	終了				12月	2日							12月	2日							12月	2日			
	車線数					2車	線							2車	線							2車	.線			
要請	限度区分					(								ŀ	)							ŀ	)			
車道雄	<b>帯からの距</b>	惟		4.	1m(ī	皆後 牡	ዟ:70r	n程度	ŧ)			4.	.1m(같	宇後地	!:50r	n程度	()			0.	5m(킽	宇後地	1:30n	n程度	)	
道路敷地	境界からの	距離		0.	0m(컅	旨後地	1:70n	n程度	()			0	.0m(컅	宇後 地	½:50n	ı程度	)			0.	.0m(킽	宇後地	1:30n	n程度	)	
龠	接種別				1	氏騒音	<b>計舗装</b>	ê				4	密粒部	談・	低騒音	音舗装	Ê					密粒	舗装			
!	動特性					Fa								Fa	ıst							Fa	.st			
測定	結里	昼間					送地:4								と地:4							(背後				
8	ли ЛС	夜間			61	(背後	地:4	3)					63	(背後	€地:3	3)					67	(背後	地:4	7)		
環境	其淮	昼間				7								7								7				
90.90	<b>—</b>	夜間				6	5							6	5							6	5			
要請	阳底	昼間				7	5							7	5							7	5			
NH X	MADE	夜間				7	0							7	0							7	0			
	開始日	胜		昼	間			夜	間			昼	:間			夜	間			昼	間			夜	間	
	<u>даун</u> н	"V	10:	:50	15	:00	22:	50	0:	10	10	:00	13	30	22	:00	23:	20	10:	20	14	:10	22	:20	23:	:40
	L mi				上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り
交通量調査			0	7	3	0	0	0	0	0	15	6	9	12	2	0	0	1	24	16	8	12	2	0	0	0
(10分間)	☆通量(会) 八三		2	4	6	3	0	0	0	0	9	7	11	6	0	1	1	0	9	5	12	6	0	0	1	0
	/-W=\H/	小型	27 5	22	32	27	4	6	3	3	33	58	62	47	21	9	6	5	50	77	59	58	19	10	10	6
]	二輪			4	3	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	4	1	1	0	0	0	0
	平均走行速度	(km/h)	45.3	46.2	41.4	45.3	47.2	46.6	43.5	56.2	35.7	37.1	40.7	42.3	42.1	45.5	43.4	47.4	39.3	39.7	38.0	34.9	44.4	42.1	36.6	38.9

		昼夜とも基	準値以下	昼のみ基	準値以下	夜のみ基	準値以下	昼夜とも基	準値超過
		戸数	割合(%)	戸数	割合(%)	戸数	割合(%)	戸数	割合(%)
面的評価結果	全戸数	1,892	86.0	65	3.0	19	0.9	224	10.2
	近接空間	711	88.0	0	0.0	3	0.4	94	11.6
	非近接空間	1,181	84.8	65	4.7	16	1.1	130	9.3

<備考> 環境基準は、幹線交通を担う道路に近接する空間における特例の基準値 背後地:評価範囲において、道路に直接面していない2列目以降の住居地の位置する場所

# 【令和4年度】

非近接空間

測	定路線				県	道山田	日草津	線					県追	草津	停車場	易線		
測	定場所				草淖	申市片	岡町	185					草津ī	<b></b>	可町59	5付近	-	
環境	基準類型					B類	型							C類	型			
測定	- et	開始				11月	8日							11月	8日			
例足	口吨	終了				11月	9日							11月	9日			
I	車線数					2車	線							2車	[線			
要請	限度区分					ŀ	)							ŀ	)			
車道端	からの距	離		4.	4m(†	<b>皆後</b> 地	₫:50r	n程度	Ę)			3.	0m(킽	旨後地	1:40n	n程度	Ē)	
道路敷地	境界からσ	距離		0.	0m(킽	与後地	1:50r	n程度	Ē)			0.	.0m(킽	∮後地	1:40n	ı程度	()	
舗	i装種別					密粒	舗装							密粒	舗装			
1	動特性					Fa	ıst							Fa	ıst			
測定網	<b>注</b> ■	昼間			66	(背後	地:4	3)					66	(背後	地:4	5)		
(A) YEX	阳木	夜間			57	(背後	地:3	6)					60	(背後	:地:3	9)		
環境	甘油	昼間				7	0							7	0			
<b>垛</b> 児2	安华	夜間				6	5							6	5			
要請認	但唯	昼間			~~~~	7	5		~~~~			~~~~		7	5	~~~~		
女明	<b>以及</b>	夜間				7	0							7	0			
	開始日	电		昼	間			夜	間			昼	間			夜	間	
	777.74	1 11/1	10	30	14:	:10	22	30	23:	:00	15:	:00	22:	:00	23:	30	10	:00
			上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り	上り	下り
交通量調査		大型 I	2	11	10	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	1	0	0
(10分間)	交通量(台)	大型Ⅱ		3	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	~~ <u>~</u>	小型	34	25	29	31	4	3	6	9	35	34	36	43	17	23	5	18
		二輪	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	1	0	0
	平均走行速度	雙(km/h)	49.5	49.6	49.0	50.4	55.0	49.7	52.7	50.5	42.8	42.5	41.9	41.5	42.3	42.8	41.6	42.1
			昼夜	とも基	準値	以下	<b>昼</b> σ.	み基	準値り	以下	夜の	み基	準値り	以下	昼夜	とも基	準値	超過
			戸	数	割合	(%)	戸	数	割合	(%)	戸	数	割合	(%)	戸	数	割合	(%)
面的評価結果	全戸	数	82	27	98	3.9	Ç	3	0.	.4	(	)	0.	.0	(	5	0	.7
	近接的	空間	32	29	99	.4	]	1	0.	.3	(	)	0.	.0	]		0	.3

<備考> 環境基準は、幹線交通を担う道路に近接する空間における特例の基準値 背後地:評価範囲において、道路に直接面していない2列目以降の住居地の位置する場所

0.0

98.6

498

# 4. 環境基本計画進捗状況(令和2年度~令和4年度)

方針	2年度】	取り組み内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要	R2年度 <b>突續</b>	R2年度 <b>成果</b>	状態	今後の事業の展望、改善点
			1	くさつエコスタイル プラザ	市	年間	【エコミュージアム推進事業】既存の施設 やプログラム等の資源を活用しながら、 琵琶湖湖岸を中心に実践された体験学 習プログラムの情報発信。	市内5施設で開催された体験学習・講座について広報誌および市ホームページで情報発信。 地域で取り組む環境学習の情報収集を行った。	体験を伴う環境学習について広報くさつや市 ホームページ等により情報発信を行った。 地域資源を生かした環境学習の情報収集を 行うことができた。	接続	引き続き、環境学習に関する情報を収集し、 広報誌や市ホームページ等で情報を広く発信 し、環境について学び行動できる地域社会づく 切に取り組んでいく。
		環境学習活動の場づくり	2	北山田浄水場	市	7月頃	【親子浄水体験講座】浄水工程の見学、 手作り沈殿・5過装置による浄水実験、 利き水体験等。	開催実績なし	開催実績なし	廃止	-
	協		3	北山田・ロクハ浄水場	市	6月頃	【浄水場施設見学】小学校4年生の社会 科授業の一環として浄水場の見学があり、水源の保全、水資源の有効利用等を 説明。	開催実績なし	開催実績なし	<b>総統</b>	小学校と連携し、今後も浄水場見学を継続していく。令和2年はコロナウイルスにより開催できなかったため、見学以外にもパンフレットや貴面等の客を資材を活用していただけるよう、PRしていく必要がある。
	働 に よ		4	くさつエコスタイル プラザ	市	年間	【環境学習推進員の配置】平成23年より 地域の資源を活かした環境学習の充実 を図るため、専門的な知識を持った環境 学習技術員「輝計職員」を配着	貸出教材数:35件 講師派遣数:10件	コロナ禍ではあったが、多数の教材貸出や講師の派遣を行い、着実に市内にある各活動 団体の学習機会に対し充実を図ることができ	經統	継続的に、各団体に対し学習機会の充実を 図っていく。
	る環境学習	環境学習のステップアップ	5	くさつエコスタイル プラザ	市	随時	学習推進員(嘱託職員)を配置。 【環境学習ネットワークの充実】こども環 境会議や地球冷やしたい推進協議会、 選賞ゲリーン購入ネットワーク、エコスクー ル支援委員会を通じて、多様な主体の ネットワークづく切に貢献。	新型コロナウイルス感染症の影響により、こども 環境会議は延期となったが、地球冷やしたい推 進協議会を開催。また、滋賀グリーン活動ネット ワークやエコスクール支援委員会に参加した。	コロナ禍で事業開催の減少があったが、多様 な環境情報の収集や、環境学習を推進する 方とのネットワークづくりを支援することができ た。	經統	草津市こども環境会議や地球冷やしたい推進 協議会の開催。滋賀グリーン活動ネットワー ク、エコスクール支援委員会の参加を通じて、 多様な主体のネットワークづくりを推進し、情報 収集を図りながら、環境学習のステップアップ に取り組んでいく、
	の 推 進		6	環境政策課	市、国、県	年間	【環境調査事業】河川水質、騒音等に係る各種環境調査を継続的に実施。	河川水質、水生生物、アオコ、自動車騒音調査 を実施。 アオコは県、水生生物は国からの依頼に基づ き、結果報告。	河川水質、水生生物、アオコ、自動車騒音 調査において特に大きな問題はなく総続的 な監視ができている。	拒続	・ 成の組みない。 今後も駆動的に調査を行い、傾向を分析しな がら取り組んでいく。
環境学		環境に係る調査研究の充実	7	環境政策課	市	3年に1回	【くさつの環境】市内環境調査の状況および保全施策等を、昭和53年度から3年に 1回、環境白書「くさつの環境」に取りまと めて公表。	平成29、30年度、令和元年度の3か年の市内 環境調査の状況および保全施策等を取りまと め、令和2年度版「くさつの環境」として発行。	環境保全活動に対する市民の関心と理解を 深める一助となる冊子を作ることができた。	接続	令和5年度に「くさつの環境」を発行予定。
習社会づ		地域からの国際協力	8	まちづくり 協働課	市、 草津市国際 交流協会	随時	【くさつハロウィン】パワフル交流・市民の 日における廃材を利用した木工教室、エ コキャンドル作りイベントの実施。	くさつハロウィンでの出店は行えなかったが、 10/18 線活(エンカツ)nKUSATSU〜秋キャン ブをテーマに楽しもう〜に「エコキャンドルづくりで 出店にた。 参加者25名(定員20名)	環境学習を通じて、地域住民の国際理解・ 国際交流の楽しさを伝えられた。	接続	コロナ禍においても実施できるイベントにて、環 境学習をきっかけに国際理解・国際交流を 図っていく。
4			9	まちづくり 協働課	市、 草津市国際 交流協会	随時	【国際理解講座の開催】	新型=ロナウイルス感染症拡大防止のため、未 実施。	_	怒続	コロナ禍においても実施できるイベントで出店で きるよう計画していく。
			10	人権政策課 (西一会館)	市、 NPO	10	【隣保館での啓発】研修にて環境について学ぶ機会を提供。	環境学習講座 「ごみの減量と風呂敷の活用・Tシャツでエコ バックづくり」 対象・市内在住大人 参加者12人	レジ袋が有料になったタイミングであったため、参加者の関心が高く、環境問題について 理解を深めることができた。	拒続	講座のひとつとして、毎年テーマを変えながら 継続的に実施していく予定である。
	環境学		11	人権政策課(新田 会館)	市、 NPO	1@	て学ぶ機会を提供。	新型 コンナウイルス感染症の影響もあり、実績なし。		接続	不定期ではあるが、講座の一環として環境問題についての学びを取り入れたり、館外学習を 実施することを計画している。
	習内容の		12	学校政策推進課	学校(全小中 学校)	年間3回	【環境美化の日】滋賀県が制定する「ご みゼロの日」「ぴわ湖の日」「県下一斉清 掃の日」に関連して、各校で清掃活動等 を実施。	市内の3小学校では、【環境美化の日】の3回す べてで、6小学校と3中学校では、それぞれの実 態に合わせた回数で清揚活動や環境保全活動 を行った。その他の小中学校は、新型コロナウイ ルス感染防止のため中止とした。	識を高めることができた。	接続	休校期間の延長に伴い、授業時数の確保や 行事の精選等で年3回の実施が難しい状況で あるが、清掃、除草以外の内容を工夫し、啓発 活動に注力したい。
	充 実 機	環境教育・学習の内容の充実 と機会の拡大	13	学校政策推進課	学校	年間	【エコスクール実践校】滋賀県琵琶湖環 境部環境政策課が指定し環境教育の取 り組みを推進。	法川小学校、笠鏈東小学校、老上小学校がエコスケールに認定され、環境学習に積極的に取り組んだ。	配信等を活用して地域環境から多くのことを 学び、発表の場を持ったり、紙面にまとめたり することができた。	極続	新型コンナウイルス感染対策を実施したうえ で、体験的な活動を取り入れながら、継続を図 りたい。
	会の拡大		14	学校政策推進課	学校	年間	【びわ湖フローティングスクール「うみの こ」】県内の全小学5年生が、びわ湖フ ローティングスクールという琵琶湖上で1 泊2日の宿泊体験を中心とした教育活動 を行うもの。	「うみのこ」新船で、新型コロナウイルス感染拡大 防止のため、日帰りで全14小学校が無事航海 することができた。	昨年度に引き続き、栗東市の小学校や、淀 川流域交流校との交流を深めながら、滋賀 県や琵琶湖に関する環境学習に取り組ん だ。	<b>拒続</b>	新型コンナウィルスの影響で、県内すべての航 海が、日帰りでの実施となったが、市内全小学 校がうみのこで環境学習に取り組む。
			15	学校政策推進課	学校	年間	【森林環境学習「やまのこ」】県内の全小学4年生が、森林への理解と関心を深め をともに、人と豊にかかわる力を育める よう、県内森林環境学習施設で体験型 の環境学習を行うもの。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7校が 「出張やまのこ」を選択し、学校で実施した。他 の7校は、現地で森林での環境学習を実施した。 た。	「やまのこ」に取り組むことで、森林での環境 学習を行い、自然環境の大切さや森林の機能について学ぶことができた。	継続	新型コンナウィルス感染拡大防止を図りながら、現地での森林環境学習を継続する。
			16	学校政策推進課	学校	年間	【農業体験学習「たんぽのこ」】子どもたち が農業体験学習を通して、農業への関 心を高め、生命や食べ物の大切さを学ぶ 「農からの食育」を推進するもの。	地域の方やサポーターの方とともに、児童自ら が「育て」「収穫する」という一貫した体験学習を 実施した。	子どもたちが農業への関心を高めたり、生命 や食べ物の大切さを学ぶことができた。	拒続	農業体験学習「たんぽのこ」を通して、農業や 食べ物について体験的に学ぶ学習を継続す る。
			17	くさつエコスタイル プラザ	市、学校、団体	年間	【小学校における環境学習への支援事業】地域の資源を活用して小学校が行う体験型授業を支援。	Lt.	新型コロナウイルス感染症の影響により、環 境学習会の数は減少したが、二学期以降に 開催した小学校に対して、環境や自然の大 切さについて体験し、学ぶことができる授業 を支援できた。	継続	小学校における環境学習の充実が図られるよ 3に、エコミュージアム推進員や環境学習推進 員を活用し、先生方が参加される会議等で情 報発信を行いながら、利用機会の増加を図っ でいく。
			18	くさつエコスタイル ブラザ	市、学校、団体、企業	年間	【こども環境会議】こどもと大人が一緒に 身近な環境について話し合ったり、日ごろ の取組みの発表と交流を行う場を提供。	新型コロナウイルス感染症の影響により、延期した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、延 期した。	拒続	新型コンナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、 交流・つながりがより深まるよう実行委員会に おいて内容の充実を図っていく。
			19	くさつエコスタイル プラザ	市	随時	【環境学習支援事業】団体、事業所等が 実施する学習会等に、講師派遣を実施。 また、体験しながら学べる教材等の貸し 出しを実施。	講師派遣:10件 教材貸出:16件(35教材)	新型コロナウイルス感染症の影響により、環 境学習会や各種イベントが中止となったた め、講師派遣、教材貸出とも減少した。	接続	情報をチラシやホームページで発信し、環境 学習推進員と連携することで利用機会の増加 につなげていく。
			20	くさつエコスタイル プラザ	市	随時	【こどもエコクラブ支援事業】財団法人日本環境協会の事業である「こどもエコクラ ブリの市窓口を設置し、加入促進を実施。	クラブ教:12 デナム:1751人 大人:171人 合計:2,922人	市内のこともエコクラブに対し、こともエコクラ ブ全国事務局から送付される情報誌やツー ルを活用し、他のクラブで行われている取組 などの情報提供や活動の促進を行った。	総統	地域における環境学習の支援として、活躍して いるクラブについて情報提供を行いながら、加 入を促進する。
	環境学	環境教育·学習の内容の充憲	21	資源循環推進課	市	随時	【クリーンセンターの見学】ごみの減量化、 分別の徹底およびリサイクルの推進に理 解を深めていただくため、施設見学受入 れ。	市内の小学校4年生や企業・大学等の見学を 受け入れ。 団体数:36団体 人数:1,425人	見学により、ごみ処理に関する理解を含めて いただくことができた。また、見学の事前・事 後アンケートを実施し、参加者の満足度向上 に向けた情報収集ができた。	接続	を発スペースの効果的な運用と見学内容の 充実を図ることについて、くさつエコスタイルブ ラザと連携しながら進めて行く。
環境学習社	習内容の充	環境教育・子宮の内容の元夫 と機会の拡大	22	幼児課	市	随時	【幼児期における環境学習】環境学習教 材として紙芝居やVTR等を導入。また、 保護者も環境意識の向上を図るため、廃 品回収など環境活動に参加。	公立保育所・効産圏・こども圏において、年間を 通じて環境に関する絵本や紙芝居の読み聞か せを行った。新型コロナウイルス感染症の影響に より始城のごみ拾いや、保護者による環境活動 は実施できなかった。	保育の中で環境への関心が高まるような教 材化絵本・紙芝居等)を使用し、子どもたちの 環境意識の向上を図ることができた。	接続	保育を通して保護者への啓発を行い、家庭に おいても環境意識を高めることができる工夫を 行っていく。
社会づく	元実と機		23	学校政策推進課	学校	8月	【滋賀県環境教育研究協議会】学校に おける環境教育充実と、指導にあたる教 員の指導力向上に資するための研究協	は英雄ではなかつに。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため 中止となった。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の ため中止となった。	総統	昨年度参加予定の、6小中学校の教員が参加 できる環境づくりに努めたい。
ij	《会の拡大		24	草津市立図書館 南草津図書館	市	7月	議論報道のコーナー等の設置 [連集] (連集) (連集) (連集) (連集) (連集) (連集) (連集) (連集)	1月に当業販売の面で原でを装施(60 2 ユウイルフザンの連携事業) 本館 展示主称: 133冊 資出世報: 91号 市館 展示主称: 133冊 資出世報: 91号 市館 展示未取: 133冊 資出社表: 93号 ボジはとのじから「空の環境本の落み間から 未実施。 高書館の広報誌「こそのルウラー人」において 環境開発をデーマに図書の紹介を行い、市内閣 保合所へ配売。 デク技術等基の一環として、「ラルのこセット」の 研究発出の発展、本館 1次 第200円	新型コアウイルス感染症拡大の影響を受 ・「、お社ない込みして国業を必然の人では は主実施生なったが、関係や回塞能の広 報記による環境教育・学習の内容の充実に 別めた。	<b>極続</b>	学的を参加上海環境室の開催等、(本 ウェエスタイルデザの機関等業をおいた。 実させながら、常衛客に目主的な環境を育 学習機会の提供に努める。
			25	各まちづくり センター	市	随時	【地域のまつりでの啓発】 各まちづくり協議会が実施する、ふれあ いまつり等の来場者に対して、ごみの分 別や、持ち帰りを徹底し、環境問題への 意識酸成を促進する。	一部の学区でふれあいまつりを実施し、ごみの 分別・持ち帰りの徹底等の呼びかけを行った。	各まちづくり協議会が主催する、ふれあいま つり等の来場名に対し、模擬店から出るごみ の分別や持ち帰りを呼びかけいただくことによ り、環境問題への意識酸成が促進された。	拒続	各学区で開催されるふれあいまつりの来場者 に対し、引き続きごみの分別徹底等を呼びか けることで、環境問題への意識酸成を促す。
			26	各まちづくり センター	市	随時	【地域団体との連携における啓発】 各まちづくり協議会に交付する一括交付 会事業として、「環境浄化や環境保全に 関する取り組み」、「不法投棄の監視に関 する取り組み」をまちづくり協議会が実 施。	各まちづくり協議会で、地域まちづくり一括交付 会事業の項目である「環境美化に関する取り組 み」を実施いただいた。	各まちづくり協議会を中心に、各町内会や関 保団体と連携しながら、環境を化活動や不 法投棄の監視等を実施いただいたことによ り、各地域で環境問題について考える機会の 提供につなげることができた。	拒続	各まちづくり協議会への交付金事業の項目の 一つとして、引き続き、環境美化活動等に取り 組んでいただく。
		市民リーダーや組織の育成・ 支援と活用	27	くさつエコスタイル ブラザ	市	年間	【環境学習プランナー】地域における継続的な体験や実践を通じた学習により 自ら考え、種態的に環境活動に現場能動い 人材を育成するため、事業を要態、また 子どもの活動を支援する大人(サポー ター)の育成も実施。	「環境学習ブランナー」の人材育成と、地域資源を活かした環境学習体験プログラムの活用について協議。 環境学習ブランナー:4人 会議:3回 開発した環境学習ブログラムを1回実施(他2回 は新型コロナウイルス感染症の影響により、中 止)。	環境学習プログラムを1回実施し、その取組を通してプログラム内容を協議し、充実を図ることができた。	接続	地域や団体等での環境学習の現状を把握し、 それに沿った学習プログラムを提供し、環境学 習の充実を図る。

	2年度】										I
方針	施策	取り組み内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要 【建設事業契約審告事務】市内工事業	R2年度 <b>実績</b> 90計中 会和2年度登録でISO14001による加	R2年度 <b>成果</b> 市内工事業者の格付けにあたり、その審査の	状態	今後の事業の展望、改善点 今後についても、企業の環境への取り組みの
低炭素社会	たいプロジー	地球温暖化防止対策の推進	28	契約検査課	市	年1回 (格付見 直しが年1 回のため)	者の格付けにあたり、その審査の基準点に、ISO14001 およびエコアクション21を 該証登録している企業に点数を加算する ことにより、企業の環境への取り組みの動 機付けを推進。	IS014001、エコアクション21およびKES:8点 加点(重複して取得している場合は、複数取得 していたとしても8点のみを加点)	基準点に、ISO14001、エコアクション21およびKESを認証登録している企業に点数を加 資することにより、企業の環境への取り組みの 動機付けを推進できた。	經統	動機付けを推進していく。
への転換	進ェ球冷やし		29	環境政策課	市	年間	【エコオフィス推進事業】公共施設の省エネ・省CO:・環境負荷低減をはかるため、 市独自の環境マネジメントシステム (KEMS)により、総合的に管理。	全所属・全職員が管理項目であるエネルギー管理、環境法令および緊急事態対応等を実施。 令和2年度エネルギー起源CO:排出量:令和 元年度比2.6%増。	コロナ対策もあり、昨年と比べるとCO・排出 量は増加した。	經統	省エネ設備や再生可能エネルギー設備の推 進を引き続き行い、省エネ・省CO2・環境負荷 低減を図る。
			30	くさつエコスタイル プラザ	市	年間	【草準市地球温暖化防止大賞(エコスタ イルコンテスト)】市内の地球温暖化防止 の取り組みを表彰することで、温暖化防止に向けた取り組みを普及。	子ども訪門(大賞1、優秀賞2、参加賞:全員) 応募者:1,480人 企業:団体部門(優秀賞1) 推薦:1件	子ども部門は、多数応募があり、多くの子ども たちにとって、地球温暖化について考える きっかけづく切になった。また、応募作品を市 役所やクリーンセンターなどで展示して、地球 温暖化に関する取組を広く周知できた。	經統	子ども部門については、引き続き小学校への 周知、啓発を進める。企業・団体部門について は、募集方法の見籄しを行う。
	「草津市		31	くさつエコスタイル プラザ	市	年間	【要する地球のために約束する協定】「要する地球のために約束する草津市条例」 にもどづき、事業者や団体の皆さんが市 長と自主的に地球温暖化対策を行うこと を約束するため、協定を締結。	新規締結数:2者	市主権のイベントやボスター作成・配布、エコ スタイルブラザでの紹介等により協定と協定 者の取組を啓発することができた。	經統	環境に配慮している企業や環境に関心のある 団体、地域のまちづくり協議会、工場立地法要 件級和申請を検討中の企業などに対し新規加 入を促す。
	地球冷やした		32	環境政策課	市	随時	【ノーマイカー運動】地球温暖化対策実 行計画(事務事業編)のエコオフィス行動 取り組みの一環として、第二・第四会曜 間を「クーマイカーデー」とし、公共交通機 間や自転車の利用を心掛け、自動車(パ イクを含む)での通路の自粛を呼び掛け。 【温暖化防止啓発イベントキャンペー	庁内放送にて、ノーマイカーデーを定期的に周知。 知。 地球温暖化防止月間	職員の環境意識が高まった。 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベ	継続	今後とも庁内放送にて、ノーマイカーデーを定 期的に周知し、職員の環境意識を高めていく。 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、
低炭素	たいプロジェクト	地球温暖化防止対策の推進	33	くさつエコスタイル プラザ	市	随時	ン】12月の地球温暖化防止月間に、広 報誌の発行、市内商業施設でのイベント 安美施、その他、商場等ンリ、リサイフル フェアなど各種イベントで容免を実施。	12/5、6イオンモール幕津にてフェア開催 条場者数:368人 受する地球のために約束する協定」協定者ポ スターの配布 ポスターの配布:80枚(11月配布) イベント出居・協力 出居・協力回数ななし(新型コナウイルス感染 症の影響により中止のため)	ントを縮小して実施したものの、地球温暖化 についての理解を深め、具体的な行動に移し ていただくための広報・啓発活動を展開でき た。	継続	展示物等を充実させ、幅広い世代に環境の意識を高めてもらえるように取り組んでいく。
社会への転	が推進		34	各まちづくり センター	市	夏李	【ゴーヤーカーテンの取り組み】地域まち づくりセンターの窓の外でゴーヤーカーテンを育成。来館者等に対し地球温暖化 防止につながる取り組み例として情報発 信。	下記、地域まちづくりセンターで実施。 老上・老上西・玉川・山田・笠縫東	ゴーヤーカーテン等の実施により、来館者に 対し、地球温暖化防止につながる取組み事 例の一つとして情報発信することができた。	經続	来館者に対する啓発として、協力いただけるセンターにおいて、ゴーヤーカーテンに取り組んでいただく。
换			35	くさつエコスタイル プラザ	市、団体	夏季	【ゴーヤーカーテン事業】家庭、公共施設、事業所・団体等にゴーヤーの種子や育て方ガイを配布し、ゴーヤーカーテンを育てることによる地球温暖化防止の取り組みを普及啓発。	ゴーヤー種子の配布 冷やしたい協議会配布会員数:25者 市民への配布 112人	コロナ禍で啓発活動が制限される中、家庭、 公共施設、事業所・団体等にゴーヤーの種 子や育てあが休を起れた、ゴーヤーの種ランを育てることによる地球温暖化防止の取組を 行った。	經統	今後とも、事業としては継続するが、ゴーヤー の配布についてはコロナの状況を考慮する必 要がある。
	エコ交通	徒歩や自転車による移動の促 進	36	交通政策課	市	年間	【自転車安全安心利用促進委員会の開催】自転車の安全で安心な利用の促進 に関する施策の評価を審議。	幕津市自転車安全安心利用促進計画の中間 見重しを行い、更なる自転車の安全安心利用の 促進を図った。	自転車安全安心利用指導員を中心とした街 頭指導や街頭容発のほか、スケアードスト レート方式や出前調座方式による自転車安 全安心利用数室を開催したことで、市民の自 転車の安全な利用に対する意識の向上が図 れた。	經統	更なる自転車の安全安心利用の促進を図る。
	システムのまちづくり	環境配慮型交通システムの構 第	37	交通政策課	市	年間	【建かばス(コミューティバス)運行等業 市内の公共交通空自か、不便を申心 レ比・生活交通の確保や、地域活性化を 図るために、「まかべス」などのコミュニ ティバスを運行。	【変かに又) 帝和5年度に引き続き、6路線7系 終の運行を行った。 R2年期用者数147.584人年 [2本か97予かかかった使のみを運行するデマ 小型乗合タウシー「まかタウルについて、令和2 年11月30日より、志津宮区等で実証運行を開始した。 R21130~運行便数:101便	バス支重空自動・不便物の解源のため、 線バスや主がいた原本部線の再風。等でン ド型を採用しまからの参加運用 (721130〜726、新たな事動手段の確保 に向けて、助域と連携し、協議検討を行い、 地域を提携・活性化する交通まちづくいの推 進が図れた。	数大	引き続き、バス交通空自動・不受物の解詞の ため、路線バスを動かれての既存線を加 編、デマンド型で悪など、新たな移動手段の機 保に向けて、地域と連携し、協議検討を行う。
低炭	ムのまちづくり	環境配慮型交通システムの構 築	38	交通政策課	市	年間	【運動バスの導入】新たな交通システム として、大量輸送に優れている運動バス を導入。	令和元年度に引き続き、連節バスの運行を行った。	南草津駅から立命館大学への輸送力を強 化したことにより、駅前のバス待ち行列の緩 和が図れた。	継続	南東津駅周辺交通対策社会実験に基づく交通が 通対策と連携し、自家用単から公共交通への 利用転換を促す。
素社会への転	環境共生	農業等の振興	39	農林水座課	市、県、地元	随時	【農業振興】環境にだわり農産物の推進 により、農業・化学肥料の抑制で、高美 養化した農業排水的排出を抑え、琵琶 液の環境に配慮するとともに、安全安心 な農作物の生産を実施。	環境にだ対量産物 認証画積 268.64ha 類類頻保企型農業画接支払交付金(令和2年度 より) 硬行面積 230.22ha 交付額 12,405,400円 (うち市費3,101,350円)	琵琶湖の環境に配慮した、安全、安心な農 産物の生産を実施できた。	継続	今後も琵琶湖の環境に配慮した、安全、安心 な農産物の生産を実施する。
换	型産業の振興	新たな環境ビジネスの展開支援	40	くさつエコスタイル ブラザ	市	7/1を含 む 1週間	「環境にやさい、回廊事業]環境基本条 例で変める『環境にやさい、回廊事業 主に事業者を対象に環境に配慮した活動 を推進するイベントや各種啓免活動を実 施。また、市広報の特集号、HPでの啓 免。	環境にやさしい週間6/29~7/5 図書館を画展示(7月) 幕準環境セミナー(主に事業者向け) 開催日:3/22 参加者:68人	新型ココナライルス感染症の影響により、草 津エコフォーラムは、対面での交流会が実施 できず、終期を遅らせてのセミナーの開催と なったが、オンラインを活用したため、多くの 参加者があった。	級続	今後においても環境基本条例に基づく「環境 にやさい。週間、を中心として、環境保全の重 要性を考え、行動の契機につなかる啓発活動 を実施する。一方で「東津エコフォーラム」に5 しては、参加を数が増加するよう、開催場所、 時期等を見直すなど、社会的な膨泡に合わせ た内容で行うように改善する。
			41	環境政策課	市、 滋賀GPN	年間	【滋賀グリーン活動ネットワーク】滋賀グ リーン活動ネットワークにおいて、グリーン 購入など環境に配慮した物品購入の促 進を実施。 【指字物品の単価契約】購入頻度の高い。	滋賀グリーン活動ネットワークの総会や自治体 部会に参加。 グリーン購入対象指定物品:32品【全指定物品	啓発リルーに参加するなど、市民へグリーン 購入等の環境に配慮した物品購入の促進を 啓発することができた。	經統	滋賀グリーン活動ネットワークの総会や部会に 参加し情報収集に努め、市民へ環境に配慮した物品購入の答発を行う。 今後も引き続き指定物品にグリーン購入対象
		省資源の推進	42	会計課	市	随時	事務用品や作業服等の消耗品等について、ゲリーン購入対象商品を指定物品として単価契約を行い、購入する商品を固定することでがリーン機 3 をおま	数:42品(燃料代を除く)】	やすことができた。購入頻度の高い事務用品 を精査した上で、指定物品にグリーン購入対 象商品を指定することで、全庁的にグリーン 購入を推進することができた。	經統	商品を指定することでグリーン購入の推進を図 る。
			43	くさつエコスタイル プラザ	市、 滋賀GPN	9/9-18	て、リサイクルフェア草津の中で、グリーン 購入を啓発。		グリーンセンター来場者に啓発ができた。	經続	9月に予定されている「リサイクルフェア」で ブース展示を実施し、幅広く啓発活動を行って いく。
資源	ごみの発		44	資源循環推進課	市	年間	【容器包装リサイクル法に基づく分別収集】H17年4月からプラスチック製容器包装の資源化処理を指定法人ルートで開始。	資源化率96%	プラスチック製容器包装類の資源化率が前 年度から3ポイント上昇した。	继続	引き続きブラスチック製容器類の適正分別に ついて市民へ啓発し、資源化率の向上に努め ていく。 また、国が進めるプラスチック製品の一括回む について、その動向を注視し、リサイクルルート の確保と分別区分の見重しを検討する。
循環型社会	生抑制・資		45	幼児課	市	年間	【資源の再利用による教材】廃材など使用できるものは、教材として利用。	公立保育所・幼稚園・こども圏において、年間を 通じて実施。	公立保育所・幼稚園・こども園において、廃 材を教材として有効に用いることで、子ども自 身が再利用できることを知り、環境意識の向 上を図ることができた。	超続	公立保育所・幼稚園・こども圏において、積極 的に廃材をリサイクル教材として用いるなどし て、資源の再利用についての意識づけを継続 していく。
の構築	で 他の推		46	幼児課	市	年間	【幼児期における環境学習】燃えるごみ やブラスチックごみなどのごみ箱を分けて 置き、分別できるように指導。	公立保育所・幼稚園・こども圏において、年間を 通じて実施。	公立保育所・幼稚園・こども園において、年 間を通じて実施することで、子どもたちのごみ の分別に対する意識が定着している。	継続	今後も引き続き、年間を通じて実施することで、ごみの分別に対する意識を高めていく。
	進	ごみの減量とリサイクルの推進	47	環境政策課	市	随時	【資源回収活動事業推進奨励金】資源 の再利用および)サイクルの推進を図る ため、回収量に応じて奨励金を交付。 (団体4円/kg、回収業者1円/kg)	市民団体(195団体)の回収量:約2,586t 回収業者の回収量:約2,538t 交付額:12,880,600円の内 (団体):10,242,280円 (業者):2,538,320円	新型コロナウイルス感染症の影響による活動 の自粛や繊維類の一般回収中止等により、 全体の回収量は減少したが、登録団体数は 模式いで推移しており、ごみの減量と資源化 を図ることができた。	接続	再資源化できるごみの知識普及に努め、地域 での資源回収活動を通じて、市民のごみ問題 への意識向上を目指す。
			48	環境政策課	市	随時	【家庭ごみの分別・排出】転入者への家庭ごみの分別・排出の説明や啓発。	窓口にて転入者へ分別方法、ごみ袋引換券の 交付方法について説明を行った。	転入者等へ分別方法を周知することができた。	極続	転入者への説明や、市民との協働のなかで、 ごみの分別や問題について意識向上ができる よう周知、啓発に努める。
			49	くさつエコスタイル プラザ	市	随時	【生ごみ処理容器購入費補助】家庭用 生ごみ処理容器を購入した費用の2分の 1(上限1万5000円)を補助。		コロナ福により、「ステイホーム」という行動様 式が定着し、ごみの派置への意識が必然的 に高まったことから、昨年度より早期に予算 額に達し、ごみ滅量の推進に寄与した。	継続	社会情勢の変化により需要が高まっていること から、補助上限額を見直すことで、より多くの方 に補助を行えるようにする。
資源循環型社会の構築	ごみの発生抑制・資源化	ごみの減量とりサイクルの推進	50	資源循環推進課	市	随時	(こかの産業化発達)が一ンセンターへ 総入されたこかのと義。「な、プラケ テック、ベットボル。 乾重性、鬼光管等 にこないて、可能な原り資源化処理を推 進	クリーンセンター・購入されたこかの高質悪化 金属:780世 金属:780世 シス・710年/ウェ1,004世 シス・710年/ウェ1,004世 地元第二日 を電池:27年 地元第二日 お記:1,220年 地元第三日 本文・第三日 本文・第三日 本文・第三日 本文・第三日 本文・第三日 ・第二日 ・第	シーンセンター・最次されるごかのうち、金 環、近人、プラステン、ベルボル、とは では、一般では、一般では、一般では、 では、他のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	継続	出来る間が顕著物を発生師即でさらよう。元 (リデュース・発生所)を 掲進すらための仕組みで以上の別様み、なお 発生するこかを選に一分別すらかな。 に分かりですいが知気がによって選正しか別 し、可能ら前が資素化する収益を進から、

方針	2年度】	取り組み内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要	R2年传 <b>李章</b>	R2年度 <b>或基</b>	状態	今後の事業の展望、改善点
ЛЯT	部果	取り組み付谷	NO.	所属名	夫郎土许	失肥时期	【家電リサイクル法の周知・啓発】家電リ	ごみ分別ブックの発行、市ホームページの掲載	市ホームページ等での家電リサイクル法に基	认您	家電リサイクルが適切に行われるよう、引き続
			51	資源循環推進課	市	随時	サイクルシステムに基づき適正に処理が なされるよう、市民にシステムを周知・啓 発。	等により、特定家電リサイクルの周知・啓発を実施。 据大ごみとして収集の申し込みを受ける際に個別に説明し、周知を行った。	づく処分の周知・啓発に加え、粗大ごみの戸 別収集申込時に個別に説明を行い、一定の 周知・啓発を図ることができた。	經統	き周知・啓発を行う。
			52	資源循環推進課	市	随時	【事業系一般擦棄物の分別・排出】事業 所が事業を開始する時、および一般廃棄 物処理葉、収集運搬)計可業者の許可 更新時に、分別の周知を徹底。	会計年度任用職員を雇用し、事業所指導を発 体制を維持したが、新型コロナウイルス感染症の 影響により、訪問活動を縮小。 訪問事業所数:59件(方k3010運動啓発の 件) 事業所向けに作成した廃棄物の適正処理ガイド ブックを配付し説明。	- 事業系 - 般廃棄物のリーンセンターへの 持込は81年度:13,5381とから82年度: 12,162と/6間中比:1,375と減)となった。 - 市民1人1日当たりの事業系ご本排出量が 前年度の274.7gから245.3gに減少した。	<b>搭続</b>	事業系ごみのうち古紙の特込を抑えるため、古 紙類のJサイクルルートへの誘導により、排出 抑制を行う。
	こみのの		53	資源循環推進課	市	随時	[最終処分場整備]最終処分場を整備。	環境への影響や市民生活環境への影響を考慮 しながら、用地について慎重に検討する必要が あることや、単端市が廃棄物の最長処分を要が している大阪湾フェニックスの次期計画の動向 に注視していることから、最終処分場の選定に 至っていない。	最終処分場の選定に至っていない。	継続	本市で発生するこかの最終能分は、大阪湾 フェニックスに変託しており、最終股分場出方 限であることから、今後も更なるごみの発生羽 朝、資源化および中間処理による減量(減容) を進める必要がある。 また、大阪湾フェニックスの次期計画の動向を 注税する。
	発 生 抑		54	資源循環推進課	市	随時	リサイクルセンターについては、H29年度	焼却施設およびリサイクルセンターの工事進捗 率:100%(平成30年3月稼働)	焼却施設およびJサイクル施設について、安 定稼働を行っている。	総統	引き続き焼却施設およびリサイクル施設の安 定稼働を行う。
資源	制 · 資源	ごみの減量とリサイクルの推進	55	道路課	市	随時	稼働予定で現在取組を推進。 【街路樹維持管理業務】工区において剪 定された枝、葉を草津造園組合でチップ にし、堆肥化。	R2年度については、草津造園協同組合所有の 粉砕機が利用できなかったため、チップ・堆肥 化は行っていない。	チップ・堆肥化の実施なし。	継続	チップ・堆肥化について、今後の対応を見直し ていく。
循環型社会	化の推進		56	道路課	市	随時	【再生資源を撤去する全対象工事】再生 資源を撤去したことにより、発生した再生 資源について、各産業廃棄物処理場に てリサイクル化されたことをマニフェストに よって確認。	対象工事: 20件 コンクリート数: 173.67t アスファルト数: 1984.39t 発生木材:66.10t	適切な処理施設へ運搬し、リサイクル資源と して処理し、廃棄物を減少することで、資源 循環型社会に貢献した。	継続	引き続き、発生した再生資源を適切な処理施 設へ運搬することで、資源循環型社会に貢献 していく。
の構築			57	幼児課	市	随時	【親子での取組】清掃活動、ごみの分別、 アルミ缶回収等を保護者の協力を得て 実施。圏児のものを大切にする気持ちを 育て、保護者の環境に対する意識の向 上を図る。 【タリーン活動】ごみのボイ捨てをしない、 物を大切にするという気持ちを育て、保	新型コロナウイルス感染症の影響により、清掃活動は実施できなかった。 こみのボイ格でや物を大切にする気持ちを育て こかのボイ格でや物を大切にする気持ちを育て るために日々の保育の中で伝えたり、保護者へ の啓発を行ったりした。	清掃活動や回収活動はできない状況では あったが、保育の中で子どもたちに具体的に 伝えていくことで、ごみの減量への意識づけを 図ることができた。	<b>超続</b>	保育の中で子どもたちに意識づけを行っていく ことに加え、保護者への啓発を通して家庭の中 でもごおの減量やリサイクルに関しての意識を 今後も引き続き高めていく。
			58	幼児課	市	随時	護者にも啓発する。 【不用品パザー】各家庭の不用品を持ち 寄り、パザーを実施。	新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者 や地域の方を招いてのイベントが開催できず実 施できなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、保 護者や地域の方を招いてのイベントが開催で きず実施できなかった。	総統	各家庭の負担等を考え、不用品パザーについ ては縮小をしていく。
			59	幼児課	市	随時	【資源回収】施設で出る古紙(新聞、段 ボール)やベットボトルのキャップ等を、リ サイクル業者や団体等に回収を依頼。	一部の公立保育所・幼稚園・こども圏において、 定期的に回収を行った。	定期的に回収を行い、社会福祉協議会に回 収を依頼し、貢献している。子どもが主体的 に家庭からペットボトルのキャップを集めて回	經統	今後も引き続き、年間を通じて実施すること で、資源回収に対する意識を高めていく。
	水の	節水の推進	60	幼児課	市	年間	【幼児期における環境学習】砂場や園庭 などの水あそび、使ったおもちゃを洗った 後の水を、花の水や川に利用。	公立保育所・幼稚園・こども圏において、年間を 通じて実施。	収箱に入れる姿も増えてきている。 公立保育所・幼稚園・こども園において、年 間を通じて水の再利用を行うことで、子どもた ちの水を大切に使おうとする意識が定着して きている。	総統	今後も引き続き、年間を通じて水の再利用を 実施することで、環境意識に対する意識を高 めていく。
	循環利用の推進	未利用水の利用促進	61	開充調整課	市	随時	【  東津市開発事業の手続および基準等 に関する指針】開発区域内の南水排水 の直接放流を緩和し、下流域の水響の 防止として、雨水浸透桝の使用を推奨。	排水施設として雨水浸透桝の設置および歩道 にかから透水性額接の整備について、単準市 開発事業の手続および基準等に関する指針の 規定に基づ当解影争業施工者に指導 開発許可件数および協議終了件数 都計法29条(開発計の中数):68件 市指導要順:20件	都市計画法に基づく開発計可申請および特定開発行為等に関する指導要額の申請者 に対し、事津市開発事業の手続および基準 等に関する指針の規定に基づいた適正な指導を行い、開発地における雨水浸水桝の設 置を図ることができた。	継続	引き続き幕津市開発事業の手続きおよび基準 等に関する指針の規定に基づき開発事業施 工者に指導を行う。
資源循環型社	水の循環利用	未利用水の利用促進	62	道路課	市	随時	【交通安全対策事業】工事において透水 性舗装整備を実施。	対象工事件数:1件 整備延長:362.70m	透水性舗装により、雨水を循環させることで、 資源循環型社会に貢献した。	継続	引き続き、工事において透水性舗装の施工を 実施していく。
			63	環境政策課	市	年間	【自然環境保全地区の指定】残された自 然環境を少しでも多代像之し、次世代に 校すべ、市内1万所、合計14,247㎡ を自然環境保全地区に指定し、市ドリ、バ フルット、環境関連イベン等で容免。 開発行為等を規制するとともに、裁林面 幅に応じて保全にかかる経費を制成し、 貴重な生物生息域の保全・保護に寄 与。	保全地区:17か所 助成全交付额: 計698.852円	残された自然環境を少しでも多く保全し次世 代に展実するため、良好な自然環境を有す る地域自然環境を独立として指定して いる、維持管理にかかる費用の一部を助成 し、環境保全に零与した。	継続	安全・安心な環境のもとで今の自然環境保全 地区を文献代へ振客するために、危険木の伐 採・明定費用の補助を行うことを検討してい る。
			64	環境政策課	市	年間	[鳥獣保護(外来生物)]希少種を含む 在来生態系の保全・回復のため、特定外 来生物アライグマ等を捕獲。	特定外来生物 アライグマ補援数:34頭 ハクビシン:2頭 スートリア:0頭	特定外来生物であるアライグマ・ハクビシン・ ヌートリアを捕獲し、在来生態系の保全・回 復を高めている。昨年と比べると減少傾向に ある。	継続	滅少傾向にあるため、引き続き市民の方々に 周知・啓発を行う。
自然と			65	環境政策課	市	随時	【保護樹木の指定】良好な環境を確保す るため市内10ヵ所、38本の樹木を指定して たおり、市ド、ペンフット、環境関連イベ ナ等で啓発。 また、保護樹木の蘇生治療等に対する 補助要額を領定し、必要に応じて助成を 実施。	- 志那神社のクロマツ松枯れ予防の薬剤散布 補助額: 47.300円 中砂砂神社のモッコク合風等強風による倒木 防止及び枯れ枝落下防止対策工事 補助額: 104,500円	市内の価値ある樹木を保護樹木として指定 し、次世代に総承していけるよう、蘇生治療 等の際に管理者に対し補助金を支出した。	継続	良好な環境を確保するため、保護樹木と指定しており、市HP、ペンパーンパ、環境関連イベント等を通じて、自然環境を残していく大切さの周知を発に努める。
ともに生	生物多様	市民ぐるみによる自然環境の	66	環境政策課	市	随時	【赤野井湾のハスの種の保存】赤野井湾 内にハスの地下茎がほとんど枯死してい たことから、ハス群落再生の実証実験で 開花したハスの地下茎を増やす取組を	令和元年度に引き続き、ハスの株分けを行い、 20鉢に株分けした。	水生植物公園みずの森と連携し、地下茎を 増やすことができた。	継続	株分けした地下茎をさらに増やす取り組みを行いながら、水生植物公園みずの森にて赤野井 湾のハスの啓発展示を行い、地域資源の継承 を行っていく。
活する環	性の保全	保全	67	環境政策課	市、県、団体	随時	【自然環境保護事業】滋賀県のヨシ群落 保全条例により保全区域に指定されてい るヨシ群落を「守る」「育てる」「活用する」 県の事業に協力。	該当事業なし	該当事業なし	継続	引き続き県の該当事業がある場合には、連携 して取り組んでいく。
境づくり	-		68	くさつエコスタイル プラザ	市	随時	【いきもの調査】市民主体で市内のいきも の調査を実施し、マップなどにより調査結 果を公表。	市内4か所(全4回) 参加人数:161人	新型コロナウイルス感染症の影響により、観察会が実施できなかったため、開催数、参加 者数とも減少した。	継続	講師派遣だけでなく、学校や地域が独自に 行っている調査会を取材し、情報を発信してい く。
							【土地改良事業】農業排水の流出の抑 制・適正な浄化処理を行い、琵琶湖の水 質汚濁負荷削減に尽力。	5月 COD 6.9→4.6(除去率 33.3%) BOD 2.0→1.4(除去率 30.0%) T-N 2.4→0.9(除去率 62.5%) T-P 0.58→0.9(除去率 86.2%)	農業排水の流出の抑制・適正な浄化処理を 実施できた。		今後も農業排水による琵琶湖の水質汚濁負 荷削減に努める。
			69	農林水産課	市、県、地元	随時		8月 CDD 7.0→5.3(除去率 24.3%) BDD 3.3→1.4(除去率 57.8%) T-N 3.3→1.8(除去率 45.5%) T-P 0.19→0.08(除去率 57.9%) 1月 CDD 3.8→4.2(除去率 ▲10.5%) BDD 1.7→0.5(除去率 70.6%)		継続	
			70	環境政策課	県、市	2月	【ラムサール条約啓発事業】パシフレット 配布やイベント開催等を通じて啓発活動 を実施。世界湿地の日(2月2日)に合わ せて、「ぴわこ一斉水鳥観察会」を開催。	T-N 1.4→1.2(除去率 14.3%) T-P 0.11→0.03(除去率 72.7%) 常盤小学校が水鳥観察会を実施(1/8)	常盤小学校の水鳥観察会には6年生48名 が参加した。パンフット配布やイベント開催 等を通じて啓発活動を実施し、多くの方々が 水鳥観察会に訪れた。	超続	今後も継続して、イベント等において啓発活動 等を行っていく。
<u> </u>	生						(本市は烏丸半島周辺) 【農業振興】農用地からの除外を必要最	除外件数・・・0件	農用地からの除外を厳格に管理し、優良農		農用地からの除外を厳格に管理し、継続して
自然ととも	生物多様性の保全	農空間における在来生態系の 保全	71	農林水産課	市	随時	小願に留めることで、優良な農地を保全。	編入件數…0件	地の確保に努めた。	継続	委員農地の確保に努める。
に生活する環境づ	王自然環境とふれ	自然環境等に親しむ場と機会 の充実	72	環境政策課	市	年間	【「草津市の自然」作成業務】急激な都市化のなかで、自然環境の健移を学術 市化のなかで、自然環境の健移を学術 的に把握。 20個人、残された美しい自然 の保護・保全を図るために必要な基礎資 形として、また冬の市民に自然環境への 理解と関心を深めるために調査を実施。	新型コロナウイルス協会企の影響により、啓発を 行うイベント等が無く、実績なし。	実績なし。	総統	こども環境会議等のイベントや講師対応の際、 環境市の自然について開始を行い、 環境市の自然に対する関心を高めていく。
( y	あう機会の		73	幼児課	市	随時	【幼児期における環境学習】地域の自然 環境に行き、自然探索と観察を実施。	新型コロナウイルス感染症の影響により、圏外で の活動が制限されたため自然探索や観察は実 施できなかったが、保育の中で自然物を取り入 れ、触れることのできる環境を提供した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、圏 外での活動が制限されたため自然探索や観 成は実施できなかったが、保育の中で自然 物を取り入れ、触れることのできる環境を提 候することで、環境への意識を高めることが できた。	継続	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みなが ら、自然探索や散か等の圏外活動の中で、地 域の自然環境に興味を持つことができるような 保育を展開してしく。

【令和	2年度】										
方針	施策	取り組み内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要	R2年度賽續	R2年度 <b>成果</b>	状態	今後の事業の展望、改善点
自然	自		74	農林水産課	市 (草津市農業 振興協議会)	随時	【ふれか」皇家推進事業 東淮市手作り 市民農職を開放して5区面)。広古民 が自然とふれあい、農業に親しむ機会を 割出。	■漆市手作9市民農園として76区画賞出。	市民が自然上絶れ合い、農業に現して機会を提供することができた。	継続	引き替き空き区面が生じないよう。市民農園に ・シルでドや広報を活用し広く周知していく必要 がある。
とともに生	然環境とふれ	自然環境等に親しむ場と機会 の充実	75	河川課	市、県	6月~12 月	【河川愛護事業】 一級河川の地元の自 主的な活動(草刈等)に対して報償金を 支給し、住民の河川慶振思想の高揚を 図るとともに、河川環境の保全や景観の 美化を推進。	実施町内会:56団体 実施面積:173,075㎡	令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあ 会中55の町内会、団体が同川変度清掃活 動を実施し、住民の河川変襲思想の高揚を 図り、また河川環境の保全や景観の美化を 推進することができた。	継続	新規実施団体および新型コーナウイルスの影響で実施しなかった団体に対して案内を行い 河川受護活動実施団体数および面積を増加 させる。
活する環境づ	れあう機会の充		76	各まちづくり センター	市、地元	随時	【地域協働合校をはじめとした子どもの生きる力を育む取り組み】 をまちずの始議会に交付する一括交付 全事業として、「地域協働合校をはじめと した子どもの生きる力を育む取り組み」を 実施し、自然と触れ合う被会を提供。	コロナウイルス感染症拡大の影響で毒素変更が 生じた学区もあったが、各まちづり協議会へ 地域一括交付金事業における必須項目である 「地域協働合校をはじめとしたーデビの生きる力 を育む取り組み」を実施いただいた。	各まちづくり協議会で、地域協働合校やわん はくプラザ等の事業を通し、自然と触れ合う 機会を提供することができた。	継続	各まちづい協議会への交付金事業の項目の 一つとして、引き締念、地球部働合な等におい て、自然と触れ合う機会が提供されるよう取り 組んでいただく。
9	実		77	学校政策推進課	学校	年間	で、渋川ピオトーブの会を結成し、渋川小 学校ピオトーブを自然学習の場として活 用するとともに、維持管理を実施。	年4回予定されていた整備や観察会は、新型コ ロナウィルスの影響で観察会を中止し、2回の整 備を実施した。	トープの観察ができ、身近な生態系について 学ぶことができた。	継続	ビオトーブの観察会と整備を継続して、子ども たちが身近に自然環境について学べる場を提 供する。
		ビオトーブの形成	78	環境政策課	県	随時	【下物ピオトーブの整備】下物町の道の駅 くさつの隣にピオトーブを整備し、ヨシ刈り の場所やハス池を整備し、環境学習の場 の一つとして活用。	令和2年4月11日 ハス植え付け 11月3日 生物観察会 ハスについては、4月に移植したものの、開花に は至らなかった。	コロナ禍の中ではあったが、生物観察会を 県・市運携で実施し、環境学習の一環として 市民に啓発することができた。 ハスについては、開花には至らなかった。	継続	ハスの開花に向け試行錯誤を重ねていく。ハ スが開花した際には、広く周知を行い、多くの 方に環境学習の場として利用いただけるよう。 県・市連携して取り組む。
環境	環	事業活動に伴う環境負荷の低 滅	79	環境政策課	市	随時	【事業所パロール】過去に公害苦情が あった事業所を定期的にパロールし、公 害の未然訪止を推進。	4事業所を定期的にパロール	定期的にパロールを行うことで、事業所の現 状を把握でき、苦情発生時にも迅速な対応 ができた。	継続	現在実施しているパトロールや立入りを継続していくとともに、事業所に環境意識を高めてもらい、苦情が発生しないような環境づくりに努めてもらう。
汚染・公	境汚染等		80	環境政策課	市	不定期	【工場排水調査】河川の汚染防止のため、年数件、抜き打ちで市内事業所の排水を調査し、必要に応じて指導。	排水調査:8事業所	抜き打ち方式で市内事業所の排水を調査することにより、必要な指導を行い、公害の未 然防止に努めることができた。	継続	環境負荷の高い事業所や公害苦情が発生するおそれがある事業所に対し、排水調査を実施し、公害の未然防止に努めていく。
害への適切	の調査と公害	総合的な公害防止	81	河川課	市、県	年間	【市街地排水浄化施設】山寺川市街地 排水浄化施設で、市街地約80halに降っ た雨による比較的汚濁物質の濃度が高 い初期流出水(市街地排水)を浄化し て、琵琶湖に流入する汚濁負荷を軽減。	市街地排水浄化施設の一斉清掃・除草を市民 ボランティアで実施。 実施回数:2回 ボランティア参加人数:83人 (日常的な維持管理活動は、施設の運営協議 会が実施)	流入する水の水質が計画より良いため、目標 除去率に達していないが、施設通過後の水 質は目標を上回っている。また、ボランティア の回数については、植生浄化施設の植生状 況によって左右される。	継続	浄化効果促進のため、県と共に調査、研究を 進めていく。 施設の情報提供。見学者への説明、案内等の 実施を行う。
な対策	対策		82	農林水産課	市、国、県、地元	随時	【農地・水・環境保全向上対策事業】農 業排水路の泥上げ等の適正な機能維持 の共同活動とともに、農業による濁水の 排出を抑え、琵琶湖の水質汚濁防止負 荷低減に尽力。	15集落で実施(五条・北大萱・下笠馬場・御 倉・志那中・上笠・山田・木川・不動浜・片岡・ 南山田・北山田・集・志那・志那町吉田)	令和元年度より新たに2集落のエリア拡大を 図り、農業排水路の泥上げ等の適正な機能 維持の共同活動とともに、農業による濁水の 排出を抑え、琵琶湖の水質汚濁防止負荷低 滅に尽力した。	継続	今後も継続して濁水の排出を抑え、琵琶湖の 水質汚濁防止負荷低減に尽力する。
		総合的な公害防止	83	農林水座課	市	10月~2 月	【土地改良事業】田んぽから排出される 濁水は、幹線排水路を介して琵琶湖へ 放流されるが、幹線排水路に溜まった泥 砂を取り除き琵琶湖への環境負荷の低 滅に尽力。	実施予定箇所の堆積量の調査を行った。	堆積量の調査を実施した。	継続	引き続き堆積量の調査を行い、必要な箇所が 発見された際には淡潔を実施する。
			84	環境政策課	市、NPO (~H26) 市(H27~)	随時	守り、良好な環境を保全するために、草 津市の良好な環境保全条例に基づき、 市長が特定工場等と環境保全に関する	新型コロナウイルス感染症の影響で事業所立入 ができず、新規事業者との終結は0件だった。 既締結事業者については、定期的な報告をいた だき、協定の順守状況について確認した。	環境法令に規定のある事項のほか、各事業 所に環境協定に掲げた内容について取り組 んでいただき、環境負荷の低減につなげるこ とができた。	継続	環境負荷の高い事業所や開発等で新しく設置 される事業所に対し、協定締結を打診し、環境 負荷の低減に取り組む。
	環境汚染等		85	環境政策課	市	年1回	協定を終結。 信動車騒音調査】騒音規制法第18条 に基づく自動車騒音の常時監視として、 市内主要幹線道路を対象に調査および 面的評価を実施。	国道一号3区間の調査及び面的評価を実施。	東津市内を走る主要道路の騒音の状況について把握することができた。	継続	引き続き主要幹線道路について調査を継続 し、適正な監視を行う。
	の 調 査 と		86	環境政策課	市	年12回	【河川調査】環境管理基準あてはめ河川 (伊佐々川・狼川)および監視必要河川 (伯母川、郡上山寺川、草津川)の水質 調査を実施。	各河川において毎月1回調査実施 調査結果は随時市ホームページに掲載するとと もに、市民に親しみやすい人の顔を用いて、当 該河川等に掲示。	調査の結果、後川で6回環境管理基準を超 過したため、流域の工場接水調査を重点的 に実施したが、原因特定には至らなかった。	継続	採水してから調査結果が判明するまでに時間 を要するため、調査結果判明後に工場排水調 査を行うものの、原因特定には至らなかった。 引き続き強川の監視を行う。
環	公害対策	その他の公害対策	87	環境政策課	市	随時	【大気汚染状況の把握】光化学スモッグ の原因となる光化学オキシダントや PM2.5等による大気汚染状況を把握する ともは、必要にあじて注意喚起を行う。 【焼却ごみ処理】化学物質による環境保	県の観測データより大気汚染状況を把握した。 令和2年度中のダイオキシン類の排出量(排力)	発令時には、市民へ速やかに注意喚起が行 えるよう備えた。 法律に基づいた特定化学物質の接出および	継続	県の観測データより大気汚染状況を把握する とともに、HPや広報を通じて、必要に応じて市 民に注意喚起を行う。 安全かつ安定的な運転を実施していくことに
境汚染・公害へ	*		88	資源循環推進課	市	随時	全上の支障を未然防止する目的で制定 された、特定化学物質の環境への排出 量の打選等及び管理の必能関する法 律に基づき、対象化学物質(ダイオキシ ン等)の排出量把握等の自主管理に取り 組む。	スから大気中へ排出)および移動量(焼却灰、 飛灰を最終処分場へ移動)の合計 451mg-TEO/年	移動量の把握、報告を行った。	継続	よって、環境負荷の少ない施設運営を行って いく。 また、法律に基づいた特定化学物質の排出お よび移動量の把握、報告を行っていく。
適			89	環境政策課	市、県	7月、8月	【地下水定期モニタリング調査】過去に地 下水質環境基準を超えた地点において、 地下水汚染状況を継続的に監視。	調査地点:41地点	地下水汚染状況を調査し、適正な監視につなげた。	継続	引き続き地下水汚染状況について調査を継続 し、適正な監視を行う。
切な対策	市民		90	上下水道施設課	市	随時	【公共下水道整備】市内全域において、 生活排水等の適切な処理を行えるように 公共下水道整備(汚水)を実施。(農業集 落排水の処理区域を除く)	令和3年3月31日現在の下水道普及率(処理 区域内人口/草津市内の人口):99.7% ※仕基人口に限る	作年に引き続き処理区域面積の拡大(約 14ha)したことから、高度な汚水処理が可能 となり、環境負荷が低減した。	拡大	下水道未整備地の解消を目指し、整備にかかる課題整理を行い、さらなる普及準向上を図る。
	および事	市民生活における環境負荷の	91	上下水道施設課	市	随時	【水洗化啓発】公共下水道処理区域内 で生活排水を公共下水道(汚水)へ接続 (放流先変更)するよう、年間を通じて啓 発を実施。	下水道接続指導件数:27件 大型浄化槽(20人槽以上対象)に対し、下水道 接続にかかる法令に基づく指導を実施。	対象者の約50%(13件)から、概ね2年以内 の接続工事実施計画書を受理。今後、下水 道接続により生活雑排水等による水質汚濁 の低減に寄与。	継続	浄化槽利用者の実態調査を行い、利用実態 に応じた啓発を行うことで下水道接続を図る。
	業所等に	任滅	92	上下水道施設課	市	随時	【水洗化便所等改造資金融資制度】宅 内の水洗化に要する資金について、金融 機関で融資を受けた場合に利子の一部 を補給。	新規実績:1件 3/31現在の下水道処理区域内水洗化率(水 洗化人口/処理区域人口):98.4%	下水道接続により環境負荷の低減に寄与。	拡大	利用実績が少ないため、制度の見直しが必 要。
	よる環境負荷		93	上下水道施設課	市	随時	【合併処理浄化槽設置補助金】公共下 水道汚水/の整備が当分の間見込まれ ない地域において、浄化槽を設置する者 に対して補助金を交付。	補助実績:0件	下水道普及率の向上により、浄化槽ではな く、より高度な処理が可能な下水道接続が 主流となった。	廃止	
	の低減	事業活動に伴う環境負荷の低 滅	94	契約検査課	市	年間	【建設事業契約審査事務】市発注の工事・業務・物品等の契約書に、「受注者 は、発注者が実施している環境マネジメントシステムに配慮し、環境にやさしい事業活動を心掛けること。」の項目を入れ、受注業者に啓発。	音発を実施した。	受注業者に対し、市が実施している環境マネ ジメントシステムへの配慮と、環境にやさしい 事業活動への心がけを啓発することができ た。	続	争後についても、受注業者に対し、市が実施している環境マネジメントシステムへの配慮と、環境にやさしい事業活動への心がけを答発していく。
の適切な対策環境汚染・公害	等による環境負市民および事業	事業活動に伴う環境負荷の低 滅	95	環境政策課	市	随時	【工場指導】事業所からの自主測定結果 報告書を受け、必要に応じて指導。 特定工場の申請時、事業所立入り時お よび事故発生時に、市条例に基づき指 導を実施。また、水質汚濁防止法指導を 受けていることを確認指導。	コナ掃のため、工場立入り実施:0事業所。 立入りの代替として書画のやり取りによる調査を 実施:26事業所 (市内特定工場495事業所中)	算法市の良好な環境保全条例および経営 規制法・振動規制法、悪臭防止法に基づき 専業所を指導し、公害の未然防止を図ること ができた。	継続	環境負荷の高い事業所や新し、設置される事業所に対し、立入りし、法令に基づく指導を行い、環境負荷の低減に取り組む。
^	荷所	自動車による環境負荷の低減	96	道路課	市	随時	【低騒音型舗装】工事において、低騒音 型舗装の施工を実施。 【野路公開整備事業】魚速な都市化の	低騒音型舗装の施工実施なし。 公有財産購入費(予算額) 0千円	低騒音型舗装の施工実施なし。 第1工区の用地取得に向けて調整を行った	継続	随時、状況に応じ、低騒音型舗装の施工を実施していく。 今後も用地取得に向けて地権者と調整を継続
	公		97	公園線地課	市	随時	進む南部地域において、近隣公園として 都市計画決定された野路公園を整備す る。	(執行額) 0千円	が、用地取得に至らなかった。 1工区事業の変更が認可された。(事業期間 を4年間延伸)	継続	する必要がある。
うるおい豊	圏・緑地の整	公園・緑地の整備	98	草津川跡地整備 課	市	H22年度 ~	[草津川跡地整備事業]草津川跡地を 高質な稼空間として整備を実施。	東津川跡地公園末園者教 区間2:約37万人 区間5:約3万人 合計:約75万人	指定管理者、民間企業と連携し民間活力を 生かした公園管理を引き続き行った。また各 カーデンの維持理に加え、多様な主体が 参画する単準川跡地公園管理書会議に より、公園のソフト面の充実に積極的に取り組 み「にきわい」と「うるおい」の創出が図れた。	継続	幕津川跡地公園のにぎわい空間の維持のため、市民一一ズに対応した管理を引き続き行う ととはに、未整成間の早期着手に向け取り組 みを行っていく必要がある。
かな環境づ	備とまちなみ		99	幼児課	市	年間	【幼児期における環境学習】花・野菜づく りにかかる土作り、植栽、施肥、港水、除 業などの一連の作業を圏児と教職員がと もに共有することによって、植物への受情 や収穫の書ひと共に環境学習を実施。保 度者も関わっている関有り。 【ブロック指導改修促進補助金】地震災	公立保育所・幼稚園・こども圏において、年間を 適して実施。 生垣設置の実績なし	花・野菜の栽培や水やりを通して、植物の生 長を観察し、収穫する喜びを味わうことができた。 生垣設置の実績なし	継続	花・野菜づくりにかかる土づくり、植栽、水やり等の一連の作業を回見と職員が共上取組んで いく中で、植物の受情や収穫の善びを味わったといくで、植物の受情や収穫の善びを味わったというとかできるように今後も引き続き保育を展開していく。
r)	緑化の推	緑化の推進	100	建築課	市	随時 (H24~)	【プロック解导改修促進補助金】地震災害での倒壊による被害を防止することを 目的に、道路に面するプロック探導を撤去し改修する場合あるいは生垣に改修する場合あるいは生垣に改修する場合あるいな生垣に改修する場合に事業費の一部を助成。	工程収置の失限なし	工性が重い表現なし	継続	プロック振から生垣に改修する事例は、一般的 に少ないものと思われるが、広く市民ニーズに 対応するため、現状維持の必要があると思わ れる。
	進		101	公園線地課	市	随時	【草津川緑地整備】新草津川の植栽を実施。	NPO法人琵琶湖ネットへの維持管理委託を総続して実施:21,472㎡	昨年度に引き続き、NPO法人琵琶湖ネット 草津へ委託し維持管理を実施した。	継続	今後も引き続き、NPO法人琵琶湖ネット草津 へ委託し維持管理を実施していく。

【令和	2年度】										1
方針	施策	取り組み内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要	R2年度 <b>賽載</b>	R2年度 <b>成果</b>	状態	今後の事業の展望、改善点
うるお	公園・緑地の	緑化の推進	102	都市再生課	市事津まちづくり株式会社	H25.12月 ~H26.7 月 工事 供用開始 H26.7月 26日以降 随時	(アニマー・跡地振わい空間整備事業) ス保険業務的の(通称)アニア・一腕地に おいて、魅力のある店舗と裏質なガーデニングを拠した場合のを開いた。 し、回遊性の拠点となる空間を整備。	委託による日常的な管理を行うとともに、月に1	編集まちび4会社やガーデニングサークル グラッと一と譲渡しながら、緑化広場の高質 な空間を維持できた。	継続	今後も原連まちび公会社やガーデニングサー クルグラック・ご意味しながら、緑化広場の高 質な空間を維持していく。
い豊かな環	整備とまち	自然景観の保全	103	都市計画課	市	随時	【他市町との自然景観保全連携】大津市 との景観連携による琵琶湖対岸眺望ポ イントを指定。		びわこ東海道景観基本計画において、琵琶 湖の対岸景観の保全と創造の方針を定める ことができた。	継続	琵琶湖を挟んだ対岸眺望について、背質の検 討および眺望ポイントの啓発・整備等を行う。
境づくり	なみ緑化の	歴史景観の総承	104	都市計画課	市	随時	【景観形成重点地区指定】景観法第11 条に基づく市民の提案制度や市より、景観に特に配慮すべきか所を指定。		新たな重点地区の指定は無し。	継続	重点地区内における建築物や工作物の新築 や改築の際において、重点地区の基準に基づ き緑化等を推進する。
	推進	都市景観の形成	105	都市計画課	市	随時	【近隣景観形成協定】近隣景観形成協 定の締結関係者による、景観形成に関 する事業の実施に対し補助を実施。	補助金の交付無し	補助金の交付無し	継続	県の近隣景観形成協定制度の対象事業見直 しに伴い、同制度への市からの支援についても 対象事業の改定を行う。
うるおい豊	水と歴史に	水辺空間の活用	106	農林水産課	市、地元	随時		農業用ため池の管理及び保全に関する法律に 基づき管理者への指導等を行った。	展業用ため池の管理及び保全に関する法律 に基づき管理者への指導等を行った結果、 管理者との連携強化および受益者である展 業者が適正な展業用施設の管理を実施し た。	継続	今後も受益者である農業者が継続して適正な 農業用施設の管理を実施できるよう指導等を 行う。
いり環境	の提供	歴史的・文化的資源の保全と 活用	107	歷史文化財課	市、 指定文化財 所有者	年間	【文化財保護助成】指定文化財の天然 記念物の樹勢維持及び市指定史跡の景 観保全事業に対する補助金を所有者等 へ交付し、指定文化財を適正に保存。	【文化財保護助成】指定文化財の天然記念物の樹勢維持及び市指定史跡の景観保全事業に対する補助金を所有者等へ交付し、指定文化財を適正に保存。	指定天然記念物の樹勢を剪定、施肥等により回復させることができた。また、指定史跡内 の景観を除草等により保全することができた。	継続	今後も継続的に当事業を行うことで市指定天 然記念物ならびに市指定史跡の適切な保存・ 継承を図る
			108	環境政策課	市	随時	【単連かリーンプラン1市民や事業者等が 行うボラシティ演奏に対し、ボランキィ ア溝揚用にみ袋の交付やごみ処理料の 減免を実施。	交付母体数:延べ77団体 交付袋数:12.477枚	ボランティア薄掃を通じて、地域環境の集化 込むな市民のごみを選加、建助主のことやご み問題への関心を高めることに繋がった。	継続	申請手続きの簡易化を検討し、地域の清掃活 動がより活発になるよう、支援を継続していく。
うる	環境美		109	資源循環推進課	市	随時	【不法投棄監視活動】自治連合会で、各 学区での不法投棄を紡止するためのパー ロールを実施。	学区ごとに定める予算を上限とし、まちづくり協議会に対して地域一括交付金を交付し、環境 提供に関する取組を依頼、交付対象は選択制 で、当該取組を実施していない学区もある。)	各地域の実情に応じた不法投棄監視活動を 行っていただくことができた。	継続	各地域における不法投棄状況を注視しながら、今後も継続して支援を行っていく。
おい豊か	化 活 動 の	不法投棄と散在性ごみの防止	110	資源循環推進課	市	随時	【安全安心パロール】主に、不法投棄多 発箇所をパロールし、不法投棄者の捜 素や清掃作業等を実施。	・重点監視箇所: 30か所 ・全体ペロール箇所:143か所 ・不法投棄発見箇所数:112か所	パロールによる監視とごみの早期回収に努 め、不法投棄が行われやすい地点の不法投 棄の未然防止と美化の確保が図れた。	継続	不法投棄の抑止力となっていることから、必要 に応じ/キロール方法の見直しを行いながら、 引き続き/キロールを行う。
な 環境	推進と意	と対策	111	資源循環推進課	市	随時	防止や、不法投棄者を特定し、不法投棄 の除去を指導すること等を目的に不法投棄多発箇所に設置。		監視カメラの設置により、設置地点の不法投棄の未然防止が図れた。 業の未然防止が図れた。 また、不法投棄ごみ搬入量が前年度から減少した。	継続	不法投棄の抑止力となっていることから、不法 投棄多発地点について、監視カメラの設置を 検討する。
づくり	急識の向上		112	進路課	市・市民	随時	【みちサポーター事業】身近な公共空間 である市道の美化活動を促進するため、 市民ポランティアによる美化活動を支援 することで、環境美化に対する市民の養 識の高揚を図るとともに、市民との協働に よるまちづくりを推進。		身近な公共空間である市道の美化活動を促進するため、市民ボランティアによる美化活動を支援することで、環境美化に対する市民の意識の高揚を図るとともに、市民との協働によるまちづくりを推進した。	継続	引き続き活動支援を行っていく。
			113	幼児課	市	随時	【ごみ持ち帰り運動】運動会や選足など 催し等で排出したごみを家庭に持ち帰る ことを啓発。	新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等 の縮小を行ったため、ごみを排出するような活動 は行っていない。	事等の縮小を行ったため、ごみを排出するような活動は行っていないが、ごみが排出する ような機会があれば持ち帰るという意識は定 着している。	継続	今後も引き続き、各行事等においてごみの持ち帰りを啓発し、環境意識の向上を図ってい く。
			114	くさつエコスタイル プラザ	市	5月下旬	【草津市ボイ捨て防止に関する条例の制定】条例に基づき、ボイ捨て防止市民行動の日を設定(5月末の日曜日)。年1回ボランティア清掃など啓発活動を実施。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により、啓 発活動を実施できなかった。	継続	ごみ問題を考える草津市民会議と連携しなが ら、散在性ごみの防止意識等の啓発を引き続 き行う。また、今後は清掃活動を実施せずに、 街頭啓発等の啓発活動を実施する。

【令和3年度】							I							
方針	施策	取組内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要 【エコミュージアム推進事業】地域における既	R3年度 <b>実績</b> 市内7施設で開催された体験学習・講座につ	R3年度 <b>成果</b> 各まちづくりセンターを訪問し、近隣学区の取	今後の課題および改善策 令和4年度から当業務の委託を開始し				
			1	環境政策課	市	年間	存の施設やプログラム等の資源を活用しながら、実践された体験学習プログラムの情報免信。	いて取材を行い、各学区の取組をまとめ、各ま ちづくリセンターへ啓発を行った。	組を紹介することで学区内の取組促進のきっかけづくりを行うことができた。 地域資源を生かした環境学習の情報収集を行うことができた。	た外部団体と連携し、広報誌や市ホームページ等で環境学習に関する情報を 広く発信し、環境について学び行動でき る地域社会づくりに取り組んでいく。				
			2	環境政策課	市	年間	【環境学習推進員の配置】平成23年より地域 の資源を活かした環境学習の未装を図るた め、専門的な知識を持った環境学習推進員を 配置。	地域での体験学習・講座取材 地域への支援、その他環境学習のサポート	エロナ禍ではあったが、多数の教材貸出や講 師の派遣を行い、着東に市内にある各活動団 体の学習機会に対し充実を図ることができた。	令和4年度から当業務の委託を開始した外部団体と連携し、総続的に、各団体に対し学習機会の充実を図ってい 、				
		<ul><li>(1)環境学習に関する情報、環境に係る</li></ul>	3	環境政策課	市	3年に1回	【くさつの環境】市内環境調査の状況および保全施策等を、昭和53年度から3年に1回、環境 白書「くさつの環境」に取りまとめて公表。	発行なし。		会和5年度に令和2年度〜令和4年度 の3か年を取りまとめ、発行予定。				
		市民生活や行動に 関する情報の発信	4	環境政策課	市、団体	年間	【エコプラ環境学習啓発事業】環境学習の啓発をアウトソーシング等を活用し、「環境文化」の顧成を図る。	環境学習セミナー実施 実施回数:3回(①8/7/②10/16/③11/20) 参加人数:計41名(①5名/②15名/③21名)	幅広い知識と経験による専門性をもった人材 が環境学習啓発業務を行うことで、業務内容 が充実し、市民への啓発効果の向上が期待で きる。	今後、当該団体への委託業務を段階 的に増やし、将来的には市の環境学習 啓免業務を担っていただくことで、「環 境文化」の成熟を図る。				
	①環境学習・環 境意識が深まる 情報の提供		5	草津市立図 書館 南草津図書 館	市	7月	信頼展集のラナー等の設置 清観にや乱し、 が認即に併せて、連携原産の書籍・一分 設置、にせて、連携原産の書籍・一分 設置、にせいからん(図書般が集内性) で展展図書の展布では、東韓都(自主的な 環境教育・学習の報金を提供。	7月:13章被第四回要の展示を実施。(会 つ エスタイルアジャの選集事業) 本館 展示未無数:130冊 賞出書第:145冊 南線 展示未再数:130冊 賞出書第:145冊 南線 展示本版:130冊 賞出書20元 賞出書第:145冊 環境 不必該外間かせによる「おはなしのたか 人の実施。 第20年 (大学の人のデラル人)、市内 製施名等・配子で、図書の紹介を行い、市内 製施名等・配子で、 学校選携事業の一環として、「うみのこセット」 の団体賞出の実施。4校	新型ニナウイルス最後産拡大防止乗を選り ながかはなないのか、を製油、4億円のから、を製油、4億円の 者に環境を予一て、した本の総外援やせを実 励した。 入みの、セットについても複数の学校から依頼 が多分、活用いただいた。	・子ともか知にした事情重をの開催 小さらコエスタイルブラザとの連携事 業をさいこ先突をせなから、実態を 自主的な環境を育・宇宙領点の先突 に努めます。				
			6	環境政策課	市	随時	「環境学習ネットワークの充実」ことも環境会議 や地球命やしたい情道協議、議費グリーン 活動ネットゲーク、エスメクール支援委員会を 選出て、多様な主体のネットワークラくりに貢 献、	こども環境会議や地球冷やしたい推進協議会 を開催した。	コロナ禍で事業開催の減少があったが、多様な環境情報の収集や、環境予選を推進する方とのネットワークづくがを支援することができた。	草津市こども環境会議や地球冷やした い推進協議会の開催、滋賀グリーン活 動ネッケーク、エコスケール支援委員 会の参加を通じて、多様な主体のネッケ フークづくりを推進し、情報収集を図り ながら、環境学習のステップアップに取 り組んでいく。				
		(2)環境への意識を 高める場や機会の提 供	7	資源循環推進課	市	随時	【クリーンセンターの見学対応】 ごみの減量化、分別の徹底およびリサイクルの 推進について、理解を深めていただくため、施 設見学の受入れ。	市内の小学校4年生や企業・大学等の見学の 受け入れ。 団体数:70団体 人数:2,362人	見学者数が昨年度よりも増加し、見学を通じて ごみ処理に関する理解を含めていただくこか できた。また、見学の事前・事後アンケートを実 施し、参加者の満足度向上に向けた情報収集 ができた。	啓免スペースの効果的な運用と見学 内容の充実を図ることについて、アン ケート結果などを踏まえて、検討してい く。				
			8	幼児課	市	随時	【幼児期における環境学習】環境学習教材として紙芝居やVTR等を導入。また、保護者も環境意識の向上を図るため、廃品回収など環境活動に参加。	公立保育所・効権圏・こども圏において、年間 を通じて環境に関する絵本や紙芝居の読み間 かせや、小技様な集会を通して環境への意識 を高める取組を行った。	絵本や紙芝居等の環境学習教材を適宜購入 し、保育に取り入れたり、絵本貸し出しを実施し たりすることで、環境意識の向上につなけた。	子どもに身近な環境教材の充実を図 り、継続して環境意識の向上に取り組 む。				
			9	人権政策課(各隣保館)	NPO	1回程度	【隣保館での啓発】研修にて環境について学 ぶ機会を提供。	西一会館:環境宇宮講座 日頃からの水書に備え、「いざという時」の避難 経路や避難場所、水書時に「どのように行動し たらいいか」 対象:市内在住大人 参加者 19人	西一会館においては、昨今の気象変動がもたらす災害に備え、令和3年度については防災の テーマを主に実施した。 その他3館については環境学習に関する講座 の開催なし。	毎年テーマを変えながら、継続的に実施していく予定である。				
1.環境について学 び行動できる地域 社会づくり			10	北山田・ロク ハ浄水場	市	6月頃	(赤水場施設見字)小字的4年生の社会科技 第の一理として赤水場の見字かあり、水源の役 全、水質調の名効利用等を説明。	関極実績なし	開催実績なし	小学校上連携し、今年度も赤木場見字 を超続していく、R2年は新型・エロ・ウィ ルス感染色により開催できなかった。 新型・エロ・ウィースを全の水大の発生のように 接出、から見字を再開していく。また。 見学以外にもひつシットや動画を発 分割でないます。 にいく変大から				
		(3)環境学習習会の 提供 1	(3)確集学習報会の 提供	(3)環境学習機会の 提供	(3)環境学習機会の 提供	(3)環境学習機会の 提供	11	学校教育課	学校(全小 中学校)	年間3回	【環境景化の日]滋賀県が制定する「ごみゼロの日」「なみでは、 の日」「なわ湖の日」「県下一斉清掃の日」に関 運して、各校で清掃活動等を実施。		新型エコナウイルス高級的止のために環境活動を中止する学校があったが多くの学校で実施された。活動を中止した学校では、著台的な子宮の時間や特別活動なので日の重要などについて考える子宮を実施し、環境委化の日の取相について各名子ることができた。	新型ココナ感染症の影響で活動を自粛 される学校が多かった。感発症対策を した上で、可能を題而で参加するよう に学校に働きかけていく。
							12	学校教育課	学校	年間	【エコスクール実践校】滋賀県琵琶湖環境部 環境政策課が指定し環境教育の取り組みを推 進。	決川小学校、笠継東小学校の環境学習の実践が認められ、県のエコ・スクール校に認定された。	渋川小学校、笠継東小学校での環境教育の 幕僚をエコ・スクール活動報告書にまとめ、発 傷することで、他校が先進的事例に学ぶことが できた。	市内全小中学校で環境教育の実践は 進められている。しかし県のエコ・スクー ル設定制度の活用が十分図られてい ないので、制度の趣旨を伝えていく必 要がある。
	②学びを行動に つなげる環境学習 の推進			13	学校教育課	学校	8月	【滋賀県環境教育研究協議会】学校における 環境教育充実と、指導にあたる教員の指導力 向上に資するための研究協議会。		地域資源を生かした環境教育プログラムの作成について研修を受け、各校の実践に生かす ことができた。	市内の小中学校が3年に1回ずつ参加 している。今後も環境教育の教職員の 研修の機会と捉え参加していく。			
	47 JE XE			1	_	14	学校教育課	学校	年間	【びわ湖フローディングスケール「ラネの二」】県 内の全小学5年生が、ぴわ湖フローディングス ケールという発電湖上で1泊2日の宿泊体験を 中心とした教育活動を行うもの。	「うみのこ」新船で、新型・コンナウイルス修染拡大防止のため、日帰りで全14小学校が無事航海することができた。	ふるさと滋賀やその琵琶湖の自然を体感し、そ の素晴らしさに気づくことができた。琵琶湖の現 状を知り、環境について考えることができた。	本来は1泊2日の宿泊体験となるが、 新型-コロナウイルス感染拡大防止のため、日帰りで全11分学が行っている。今後も感染拡大防止に係る県の動 向に注視しながら事業を実施していく。	
						15	学校教育課	学校	年間	【森林環境学習「やまのこ」】県内の全小学4年 生が、森林への理解と関心を深めるとともに、 人と豊にかかわる力を育めるよう、県内森林環境学習施設で体験型の環境学習を行うもの。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部 の学校の予定を変更することがあったが、全1 4校が近江富士花線公園で活動を実施することができた。	森林への理解と関心を深め、自然や人と豊か に関わることができた。森林での体験を通し て、森林のはたらきや重要性について理解を深 めることができた。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため各学校が宿泊と日帰りを選択できるようになっている。学校の実情に合わせながら今後も事業を総続していく。	
	t		16	学校教育課	学校	年間	[農業体験学習「たんぽのこ」]子どもたちが農業体験学習を通して、農業への関心を高め、生命や食べ物の大切さを学ぶ「農からの食育」を推進するもの。	地球の方やサポーターの方とともに、児童自ら が「育て」「収穫する」という一貫した体験学習 を実施した。	歴業体験学習を通して、農業への関心を高め、生命や食べ物の大切さを学ぶことができた。 た。	田んぽをしている方が多い地域や、そうでない地域がある。地域によっては学校に田んぽを提供してくださる方を探す とが困難になりつつある。学校の実情にないる。				
		(4)学びを行動につ	17	各地域まちづ くり センター	市、各まち づくり協議会	随時	【地域のまつりでの啓発】 各まちづくり協議会が実施する、ふれあいまつ り等の未壊者に対して、ごみの分別や、持ち帰 りを撤産し、環境問題への意識顔成を促進す る。	一部の学区でふれあいまつりを実施し、ごみの 分別・持ち帰りの徹底等の呼びかけを行った。	ふれあいまつり等の来場者に対し、模擬店から 出るごみの分別や持ち帰りを呼びかけれただく ことにより、環境問題への意識額点が促進され た。	にい。 ふれあいまつりの来場者に対し、引き続きごみの分別徹底等を呼びかけること で、環境問題への意識順点を促す。				
		なげる環境教育・学 習の内容の充実	18	各地域まちづ くり センター	市、各まち づくり協議会	随時	【地域団体との連携における啓発】 各まちづく的温金に交付する地域まちづくリー 括安付金事業として、「環境美化に関する取り 組み」をまちづくり協議会が実施。	各まちづくり協議会で、地域まちづくり一括交付 会事業の項目である「環境美化に関する取り 組み」を実施いただいた。	各まちづくり協議会を中心に、各町内会や関係 団体と連携しながら、環境美化活動や不法投 業の監視等を実施いただいたことはより、を 域で環境問題について考える機会の提供につ なげることができた。	各まちづくり協議会への交付全事業の 項目の一つとして、引き続き、環境美化 活動等に取り組んでいただく。				
		(4)学びを行動につ なげる環境教育・学 習の内容の充実	19	環境政策課	市、学校、団体、企業	年間	【こども環境会議】子どもと大人が一緒に身近な環境について話し合ったり、日ごろの歌組の免表と交流を行う場を提供。	新型ココナウイルス感染拡大防止のため交流 の部を中止し、展示の部、情報発信の部のみ 行った。	コロナ橋での新たな手法として交流の部をオン ライン開催とする準備を進めたことや、 YouTubel (さつチャンネル)による環境学習活 動の発信等を行った。交流の部は中止となっ たが、今後に向けて新たな手法の検討を行うこ とができた。	新型コンナウイルス感染症拡大防止を 踏まえ、交流・つなかりがより深まるよう 実行委員会において内容の充実を 図っていく。				

【令和3年度】																
方針	施策	取組内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要 【環境学習支援事業】団体、事業所等が実施	R3年度 <b>宴僚</b> 講師派遣:13件	R3年度 <b>成果</b> コロナ禍ではあったが、多数の教材貸出や講	今後の課題および改善策 令和4年度から当業務の委託を開始し						
		<ul><li>(5)多様な主体の環</li></ul>	20	環境政策課	市	随時	する学習会等に、講師派遣を実施。また、体 験しながら学べる教材等の貸出を実施。	教材貸出:29件(92教材)	師の派遣を行い、着実に市内にある各活動団 体の学習機会に対し充実を図ることができた。	た外部団体と連携し、情報発信を積極 的に行うことで利用機会の増加に繋げ ていく。						
1.環境について学 び行動できる地域 社会づくり	③環境活動の支援・人づくり	境活動の支援の充実	21	環境政策課	市	随時	【こどもエコクラブ支援事業】財団法人日本環境協会の事業である「こどもエコクラブ」の市窓口を設置し、加入促進を実施。	クラブ数:13 子ども:2,867人 大人:124人 合計:2,991人	市内のこどもエコクラブに対し、こどもエコクラブ 全国事務局から送付される情報誌やツールを 活用し、他のクラブで行われている取組などの 情報提供や活動の促進を行った。	令和4年度から当業務の委託を開始した外部団体と連携し、地域における環 境学習の支援として、活躍しているクラ ブについて情報提供を行いながら、加 入を促進する。						
		(6)リーダー、コー ディネーターの支援 や市民、団体、事業 者への協力、支援	22	環境政策課	市	年間	【環境学習プランナー】地域における総続的な 体験や実践を通じた学習により、自ら考え、積 極的に環境活動し取り組む人材を育成するた め、事業を実施。	「環境学習ブランナー」の人材育成と、地域資 源を活かした環境学習体験プログラムの活用 について協議。 環境学習ブランナー:3人 会議:2回 開発した環境学習プログラムを1回実施(他1 回は新型コロナウイルス感染症の影響により、	環境学習プログラムを1回実施し、その取組を 通してプログラム内容を協議し、充実を図ること ができた。	令和4年度から当業務の委託を開始した外部団体と連携し、地域や団体等での環境学習の現状を記録し、それに かった学習プログラムを提供し、環境 学習の充実を図る。						
			23	温暖化対策室	市	随時	【温暖化対策容免イベン・キャンペーン】広報 該への応募の掲載や、市内商庫施設でのよう がそ実施、その他、信報書かり、サゲイクルフェ アなど各種イベントで啓発を実施。	中止) 地球温暖化防止月間 12/1819 イオンモール草津にてフェア開催 来場書数 4000 出票・協力:1回(冷やしたいフェア) ポスターの配布:94枚(12月配布)	「地球温暖化防止月間」である12月を中心 に、市民・事業者・団体などに、地球温酸化に 、小で四年第4条の、具体的な月間を 、ソンにび任めるの広報・啓発活動を展開できた。	新型ココナウイルス感染症拡大防止を 図りつ2、原本物等を充実せ、幅広 い世代に環境の重接を高めてもらえる ように取り組んでいく。						
			24	温暖化対策室	市	隨時	[ノーマイカー運動]地球温暖化対策実行計画 (事務事業個)のエコオフィス行動取出組みの 一環として、第二・第四金曜日を「ノーマイカー デーとし、公共交通機関や自転車の利用を心 掛け、自動車(バイクを含む)での通動の自賃 を呼び掛け。	庁内放送にて、ノーマイカーデーを定期的に周 知。	庁内放送にて、ノーマイカーデーを周知し、職 員の意識を裏めることができた。	可能な範囲で職員に公共交通機関を 使用した通動方法を取っていただける よう啓発を継続していく。						
			25	温暖化対策室	市	年間	【エコオフィス推進事業】公共施設の省エネ・省 CO・環境負荷低減をはかるため、市独自の 環境マネジンントシステム(KEMS)により、総合 的に管理。	全所属・金融員が管理項目であるエネルギー 管理、環境法令および緊急事態対応等を実 施。 令和3年度エネルギー起源CO。排出量:令和 2年度比2.1%増。	新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの 取組になったが、KEMSマニュアルに記載の管 理項目は実施することができた。	今後は令和4年3月に改定した草津市 温暖化対策実行計画(事務事業編)に 定めた各種取組も推進しつつ、管理項 目を実施の上、省エネや002削減、環 境負荷低減に努めていく。						
			26	温暖化対策室	市	年間	【選接化対策大賞表彰事業】市内で行われて いる優れた地球温暖化対策の取組を、各部門 ごとに表彰し、それらの取組を地域に発信。	子ども部門(大賞1、優秀賞2、参加賞:全員) 応募者:1,773人 企業・団体部門については、推薦を募ったが、 推薦が無かった。	子ども部門は、多数応募があり、多くの子どもたちにとって、地球温暖化について考えるきっかけづくりになった。また、応募作品を市役所やクリーンセンターなどで展示して、地球温暖化に関する取組を広く周知できた。	校への周知、啓発を進める。企業・団						
			27	温暖化対策室	市	年間	【要する地球のために約束する協定】地球温 機化対策に取り組む事業者・団体等と要する 地球のために約束する協定を締結するととも に、締結者の取組を広くPRL、締結者の増加を 図る。	協定締結者:54者 新規締結数:2者	年度当初より、2者の増加を想定しており、概 れ想定遇り協定会員を増やすことができた。 また、市内のまちづくり協議会に対しても、協定 終結に向けた啓発を行った。	より協定者数が増加していくよう、商工 観光労政課やまちづくり協働課などの 関連部署と連携しながら、周知・啓発し ていく。						
			28	環境政策課	ф	7/1を含む 1週間	(語館にやはい週間原業別譲渡基本を向す 定勢ら「環準でもいり週間に、主に事業者 を対象に環境に配慮した活動を推進する4ペ ンや各種器を完整を実施。また、市広報の特 集号、HPでの啓発。	環境にや立い。運動の(22~7/3 図書館企画版示(7月) 市役所展示(6/21~7/9) 算達理機士セナー(主に事業者向け) 開催日(2/25) 参加者:41人	新型コンナッイルス感染金の影響により、幕連 エコナーラムは、対害での変更を分変態でき す。時間を運らせてのセナーの顕催となった が、オンラインを活用し、話題提供や事例紹介 を幅広く行うことができた。	令和4年度から当業務の委託を開始した外部団体と連携、今後においても 推奨基本条例に基づく薄塊にやさい い週間を中心として、環境保全の重 受性を考え、行動の契機につながる啓 免活動を実施する。						
	①低炭素型生活 様式の推進				-	-		_	29	温暖化対策室	市	年間	【エアアション推進事業】エコ・アクション・ポイント制度を活用して、日常生活における身近にできるエコアクション(環境に配慮した取相)を 促進。	取組世帯数:76世帯	ポイントの取得については増加傾向であり、取り 相まれた家庭ではより環境を意識した活動が 推進されている。	事前エントリーやポイントの申請において、入力調れなどによい各談され、各ア ジョンの実施や報告に繋がっていない場合があったため、参加世帯数の上 酸やポイントの足原の夏直、大田 取得にかかるORコードの活用などを検 討する。
2.気候変動への対策(緩和と適									-	-	-	30	温暖化対策室	市	年間	【窓断熱推進事業】窓断熱に関する講習会の 開催等による窓断熱の普及啓発。
応)						31	温暖化対策室	市	年間	【スマードライブ推進事業】事業者・団体を対象としてスマードライブ宣言および講習金を実施。また、市民への容易により、交通安全ともに、自動事燃料の削減による二酸化炭素排出量削減を推進。	協定事業者を中心に座学での講習会を実施。 参加企業:10社	要する地球のために約束する条例に基づく協 定線結準業者に対して、講習会を選じてス マートドライブに関する意識を高めていただくこ とができた。	今後も継続してスマード・ライブに取り組む 事業者を増やしていく必要がある。			
			32	温暖化対策	市	年間	【ゼロカーボンシティ】令和3年12月に行った草 津市気候非常事態(ゼロカーボンシティ)宣言 の普及・啓発を推進。	12月のイオンモールでのイベント時に、気候非 事事終宣言の周知を実施した。 「気候非常事態宣言」ポスターの配布:	気候非常事態宣言について、冷やしたい推進 協議会会員をはじめとする市民や事業者など に対して周知を図れた。	今後も宣言の周知を図るとともに、宣言 に対する賛同を得ていく必要がある。						
			(G)脱炭素社会への 転換に向けた低炭素	(G)脱炭素社会への 転換に向けた低炭素	33	温暖化対策室	市	年間	【体も地球も元気にプランター菜園推進事業】 地球温暖化による気候変動と自然環境への影響を理解し、自然環境保全対策を行うために、 身近な場所でのプランター菜圏を推進。	100 枚 年2回の講習会を実施。 参加人数:60人	2回とも定員上限人数の参加があり、実施による参加者の意識向上を語ることができた。	農林水産課などとも連携を図りながら、 継続して推進していく。				
					転換に向けた低炭素	転換に向けた低炭素	転換に向けた低炭素	34	交通政策課	市	年間	注めがなく(1952年3年/パン)選手帯動力的のパス交通不便地を中心とした生気交通の確保 パス交通不便地を中心とした生気交通の確保 ウザ地域を他に登場るために、「参めパス」「生 のタフ」を選行		ハス・英本で乗り前端のため、ボニューディバ スト等かたの。中部を開発機能で整理等では、 一部がよりの機能を 最終した。 最終では、 一部では、 のでは、	路線の再編、新規路線の本格運行へ	
			35	交通政策課	市	年間	【連節パスの運行】新たな交通システムとして、 大量輸送に優れている連節パスを運行。	令和2年度に引き続き、連節バスの運行を 行った。	駅前のバス待ち行列の緩和を図ることができ た。	観光やイベント等での活用拡大を図る とともに、自家用車から公共交通への						
			36	交通政策課	ħ	年間	【自転車安全安心利用促進委員会の開催】自 転車の安全で安心な利用の促進に関する施 策の評価を審議。	草津市自転車安全安心利用促進計画の各施 策の実施状況について、実績を照会し、取りま とめを行った。	自転車安全安心利用指導員を中心とした街 譲指導や街頭啓発のほか、スケアードスレー ト方式や出前減度かまたよる自転車安全会か 利用教室を開催したことで、市民の自転車の 安全な利用に対する意識の向上を図ることが できた。	利用無強を促す。 更なる自転車の安全安心利用の促進 を図る。						
			37	各地域まちづ くり センター	市、各まち づくり協議会	夏季	【ゴーヤーカーテンの取り組み】地域まちづくり センターの窓の外でゴーヤーカーテンを育成。 来館者等に対し地球温暖化防止につながる取り組み例として情報発信。	下記、地域まちづくりセンターで実施。 老上・老上西・玉川・山田・笠緑東	ゴーヤーカーテン等の実施により、来館者に対し、地球温暖化防止につながる取組み事例の 一つとして情報発信することができた。	来館者に対する啓発として、協力いた だけるセンターにおいて、ゴーヤーカー テンに取り組んでいただく。						
	②気候変動の影響への適応の推 進	(9)気候変動の影響 に備える適応策の取 組	38	温暖化対策室	市	年間	【ハザードマップウォーキング推進事業】地球速 酸化の影響の一つである豪雨時に適切な避難 行動ができるよう、ウォーキングを通して、避難 経路や河川、水路などの避けるべき場所を確 認する気候変動適応策を推進。	た団体のイベントに対して支援を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、各団 体や町内会等でのイベン・実施が多数中止に なったことにより、啓免の場が少なかった。	今後、新型コエナウィルス商発症の状 灰を見ながら、各団体等に事業の活用 について複続して呼びかけを行っていく 必要がある。						
			39	温暖化対策室	市	年間	【日命等推進事業】熱中症を予防し、特に直射日光を避け、体施温度を下げる効果のある 日余や帽子などの利用を促す気候変動適応 策の推進。	エコスタイルコンテストの参加児童に対して、熱中産予防としての日命の利用を呼び掛けた。参加児童の家庭における日命の利用部合: 31%	エコスタイルコンテストの実施の際、日金利用などの適応策の更なる啓発を行うことができた。	エコスタイルコンテストにおいて、継続して啓発を行うとともに、エコスタイルコン テスト以外の周知についても拡充検討 をする必要がある。						

方針	施策	取組内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要	R3年度 <b>実績</b>	R3年度 <b>成果</b>	今後の課題および改善策				
							【家庭ごみの分別・排出】転入者への家庭ごみ の分別・排出の説明や啓発。	窓口にて転入者へ分別方法、ごみ袋引換券の 交付方法について説明を行った。	転入者等へ分別方法を周知することができた。	転入者への説明や、市民との協働の かで、ごみの分別や問題について意 向上ができるよう周知、啓発に努め				
			40	環境政策課	市	随時				同土かできるより商和、各党に劣の				
			41	資源循環推進課	市	随時	【事業系一般廃棄物の分別: 排出】事業所が 事業を開始する時、および一般廃棄物処理業 (収集運搬)計可業者の許可更新時に、分別 の周知を徹底。	会計年度任用職員を應用し、事業所指導啓 発体制を維持したが、新型ニロナウイルス感染 症の影響により、訪問「悪敵を繰りした。 訪問事業所数:84件(うち古紙類の受源化 推進 78件) デックをおびこみの減量化・資源化チラシを配 付し説明を行った。	- 事業所への周知啓発チランの送付や、事業 所訪問によるこみの減量化・資源化に向けた 指導を行ったのの、事業へ免廃棄物のクリーンセンターへの持込はR2年度:12,162と からR3年度:12,584トンに増加した。 - 市民1人1日当たりの事業系ごみ接出量が前 年度の232.4gから239.6gに増加した。	事業系ごみのうち古紙の持込を抑え ため、古紙類のリサイクルルートへの 薄により、排出抑制を行う。				
			42	資源循環推進課	市	随時	【最終処分場整備】最終処分場を整備。	環境への影響や市民生法環境への影響を含 能しながら、用地について賃重に設計する必 要があることや、展達市が原薬物の最終処分 要があることや、展達市が原薬物の最終処分 の動向に注視していることから、最終処分場の 選定に至っていない。	最終処分場の選定に至っていない。	本市で発生するごみの最終処分は 販海フェーックスに委託しており、号 級分場は有限であることから、号 便 支なるごみの発生期前、資源化お 中間処理による減量(減容)を進め 必要がある。 また、大阪湾フェーックスの次期計 動向を注視する。				
		(10)ごみの発生抑 制と再利用の推進	43	資源循環推進課	市、団体	9月頃	[リサイクルフェア草津]ごみ減量と限りある資源の有効利用などについて、広ぐ市民の皆さん と共に考える場として、またリサイクル意識の共 有を目指すべく、イベントを実施。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 代替事業として、本庁舎「隣ロビーにて、ごみ 問題を考えるパネル展示を実施。	リサイクルフェア草津は、新型コロナウイルス感 染症の影響により中止したものの、ごみ問題に 関するケイズや食品ロス、マイクロブラスチック に関するパネルを展示したことで、ごみ問題に ついて啓発を行うことができた。	ごみ減量と限りある資源の有効利月 ついて、広く市民の皆さんとともに考 る場として、またリデュース、リユース サイクル意識の共有を目指すため イベントを実施する。				
			44	資源循環推進課	市	年間	【事業系古紙類の排出抑制】 ・事業系ごみのうち古紙の持込を抑えるため、古 紙類のリサイクルルートへの誘導による排出抑 制を推進。	事業系ごみのうち、古紙の持込を抑えるため に、紙ごみの減量化・資源化に関するチラシを 作成し、各事業所へ送付するとともに、事業所 指導員による事業所訪問を行った。 訪問事業所数: 78件	・事業所への周別啓発チラシの送付や、事業 所訪問によるこみの減量化・資源化に向けた 指導を行ったのの、事業へ免廃業物のウ リーンセンターへの持込はR2年度:12,162とからR3年度:12,584トンに増加した。 ・市民1人1日当たりの事業系ごみ抜出量が前 年度の232.4gから238.6gに増加した。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
			45	幼児課	市	年間	【資源の再利用による数材】廃材など使用でき るものは、数材として利用。	公立保育所・幼稚園・こども圏において、年間 を通じて家施。	身近な廃材を教材として使うことで、家庭でも 普遍の亜利用を呼びかけることができた。	継続して取り組むことで、資源の再 を促進していく。				
			46	幼児課	市	随時	【不用品パザー】各家庭の不用品を持ち寄り、 パザーを実施。	新型・エロナウイルス感染症の影響により、保護 者や地域の方を招いてのイベントは開催できな かった。 立命館大学スポーツ健康科学部のゼミ生から の協力依頼により、一部施設で古着回収を実 施。	立命館大学ゼミ生からの依頼による取組であったが、画児や保護者に不用品のJメイクについて啓発するきっかけとなった。	不用品パザーについては、各施設 や保護者と先生の会事業の見直し り総小傾向である。				
			47	幼児課	市	随時	【資源回収】施設で出る古紙(新聞、段ボール)やベットボトルのキャップ等を、リサイクル業者や団体等に回収を依頼。	一部の公立保育所・幼稚園・こども園におい て、定期的に回収を行った。	ペットボトルキャップの回収は、感謝状をいただけるので、感謝状の掲示が増えるごとに子どもたちの関心も高まった。					
	①ごみの発生抑		48	資源循環推進課	市	随時	【ごかの資源化処理】 ウリーンセンター・関いされるこれの内、空き ウリーンセンター・関いてスポーツ、ペットが呼い、 さま、必要を、最大音楽について、可能な限り 資源化処理を推進。	フリーンセンターへ搬入されたごみの再資源化 整理、2011 びん・7081 でリプラスチッケ: 1,001 ベッドボル・3031 を電池・281 重光管・131 イ地家産1301 特定を増工101 対策・推奨6: 701 対策・推奨6: 701 対策・推奨6: 701 (合計4、1931) リサイクル率: 18.3%	クリーンセンターへ搬入されるごみのうち、金 葉、ぴん、プラスナック、ペットペル、を整合。 では、からいでは、からいの、 に必要を行ったものの、再資源化量は創年度 に比べ911遊少した。	出来る限り廃棄物を発生抑制でき う。2R(リデュース:発生抑制、リコ ズ、再使用)を指するための仕事するためでは ズ(以に放り組み、なお発生するご 適正に分割するために、市限し、 やすい分別区分によって適正に分 し、可能な限り資源化する取組をう る。				
3.資源循環型社 会の構築	制・資源の再利 用・資源化等の推 進		49	資源循環推進課	ф	年間	【容器也接りサイクル法に基づく分別収集】 プラスチック製容器包装、ベッホ外ル等につい て、指定法人ルートで資源化処理を推進。	資源化率97%	プラスチック製容器類の適正分別について市 限へ啓発した結果、プラスチック製容器包装の 資源化率が前年度から1%増加した。	引き続きプラスチック製容器類の分別について市民へ啓発し、資源 の向上に努めていく。 また、国が進めるプラスチック製品 括回収について、その動向を注視 サイクルルートの確保と分別区分く 直しを検討する。				
		(11)ごみの分別と資 源化の徹底	50	資源循環推進課	市	随時	【家電リサイクル法の用知・啓発】 家電リサイクル法に基づき適正に処理がなされるよう、市民に処理方法を周知・啓発。	ごみ分別ブックの発行、市ホームページの掲載等により、特定家電リサイクルの周知 啓発 を実施した。 相大ごみの戸別収集およびツリーンセンターへ の直接搬入の申込時に、個別に説明し、周知 を行った。	市ホームページ等での家電リサイクル法に基づく処分の周知・啓発に加え、祖大ごみの戸別 収集およびクリーンセンターへの直接搬入の申 以外に個別に説明を行い、一定の周知・啓発 を図ることができた。	家電リサイクルが適切に行われる 引き続き周知・啓発を行う。				
			51	資源循環推進課	市	随時	(資源回収活動事業推進奨励金)資源の再利用および)サイクルの推進を図るため、回収量に応じて奨励金を交付。(団体4円/kg、回収業者1円/kg)	市民団体(185団体)の回収量:約2,466t 回収業者の回収量:約2,458t 交付額:12,322,990円の内 (団体):9,865,000円 (業者):2,457,990円	各市内町内会・子ども会などで定期的に資源 回収を行うことで、ごみ問題に対する意識を高 め、ごみの減量と再資源化を図ることができ た。	再資源化できるごみの知識普及に め、地域での資源回収活動を通じ 市民のごみ問題への意識向上をも す。				
			52	資源循環推進課	市	随時	【草津ケリーンプラン】市民や事業者等が行うボ ランティア清掃に対して、ボランティア清掃用ご み袋の交付やごみ処理料の減免を実施。	交付袋數: 15,099枚	ボランティア清掃を通じて、市民のごみを適切 に禁出することやごみ問題への関心を高めることに繋がった。					
							53	幼児課	市	随時	【親子での取組】清掃活動、ごみの分別、アル 会后回収等子保護者の協力を得て実施。 圏児 めものを大切にする気持ちを育て、保護者の環 壌に対する意識の向上を図る。 【グリーン活動】ごみのポイ捨てをしないとか物 を大切にする気持ちを育て、保護者にも啓発 する。	一部施設では、親子参加での廃材を利用した ごみの分別ゲームや、エコバック作り等の取組 により、圏児および保護者への啓発を行った。	新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた 上で、親子活動の機会を設けられたことで、箇 児や保護者にごみの分別への意識向上につな げることができた。	親子での活動の機会を計画・実施
			54	道路課	市	随時	【再生資源を撤去する全対象工事】撤去した 再生資源について、各産業廃棄物処理場にて リサイクル化されたことをマニフェストによって確 認。	対象工事:12件 コンクリート級:243.06t アスファルト級:2012.72t 発生木材:0t	適切な処理施設へ運搬し、リサイクル資源として処理し、廃棄物を減少することで、資源循環型社会に貢献した。	引き続き、発生した再生資源を適 処理施設へ運搬することで、資源 型社会に貢献していく。				
			(12)処理施設の安 全で効率的な運営	55	資源循環推進課	市	随時	【ごみの検却処理】 化学物質による環境保全上の支障を未然に 防止する目的で制定された。「特定化学物質 の環境への排出量の把選等及び管理の改善 に関する法律に基づき、対象化学物質(ダイ オキシン等)の排出量把選等の自主管理に取 別組む。	R3年度中のダイオキシン類の排出量(排ガス から大気中へ排出)および移動量(携却灰、飛 灰を最終処分場へ移動)の合計 266mg-TEO/年	法律に基づいた特定化学物質の排出および移 動量の把握、報告を行った。	安全かつ安定的な運転を実施し ことによって、環境負荷の少ない。 運営を行っていく。 また、法律に基づいた特定化学等 排出および移動量の把握、報告を ていく。			
			56	温暖化対策室	市、 滋賀GPN	9/9-18	【滋賀グリーン活動ネットワーク】滋賀グリーン 活動ネットワークの会員として、びわ湖ー周「買 うならエコ!」リルーの一環としてグリーン購入を 啓免。	リサイルフェア草津2021での啓発を予定していたが、中止となったため、本庁のロビーでパネルの展示を行った。(9/1~9/10)	本庁の来場者に啓発ができた。	イベント等でのブース展示を継続し 広く啓発活動を行っていく。				
		(13)省資源化の推 進	57	温暖化対策室	市、 滋賀GPN	年間	【滋賀グリーン活動ネットワーク】滋賀グリーン 活動ネットワークにおいて、グリーン購入など環 境に配慮した物品購入の促進を実施。	滋賀グリーン活動ネットワークの総会や自治体 部会に参加。	グリーン購入の知識を増やすとともに、各自治体の動きを知ることができた。	引き続き、会議に参加し、県および 治体の情報収集を行う。				
		雄	58	会計課	市	随時	【指定物品の単値契約】購入頻度の高い事務 用品や作業服等の消耗品等について、ゲリー ン購入対象商品を指定物品と比て単値契約を 行い、購入する商品を固定することでゲリーン 購入を推進。	グリーン購入対象指定物品:27品【全指定物品数:37品(燃料代を除く)】	購入頻度の高い事務用品を精査した上で、指 定物品にグリーン購入対象商品を指定するこ とで、全庁的にグリーン購入を推進することが できた。	今後も引き続き指定物品にグリー 入対象商品を指定することでグリ 購入の推進を図る。				
							【生ごみ処理容器購入費補助】家庭用生ごみ	家績件数:56件	家庭から出る生ごみの減量化に向けて、補助	近年の需要の増加に対応するため				

【令和3年度】	***	25 60 ± 05	AI.	E-2.0	<b>***</b> **	ф# #-	目作从九字公之/F=	Do de circulatión	Dole m 🏝	A. (4. m) # # 1 + (2. m) # #
方針	施策	取組内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要 【幼児期における環境学習】砂場や圏庭などの	R3年度 <b>実績</b> 公立保育所・幼稚園・こども圏において、年間	R3年度 <b>成果</b> 子どもと一緒に水遊び後の水などを花にあげる	今後の課題および改善策 継続して取り組み、圏児に水は限られ
		(15)節水の推進	60	幼児課	市	年間	水あそび、使ったおもちゃを洗った後の水を、 花の水や切に利用。 【草津市開発事業の手続および基準等に関す	を通じて実施。 排水施設として雨水浸透桝の設置および歩道	ことで、節水に対する意識を定着させることが できた。 都市計画法に基づく開発許可申請および特定 勝条行為等に関する指導要編の申請者に対	た資源であることを伝えていく。 引き続き草津市開発事業の手続およ
3.資源循環型社 会の構築	②水の循環利用 の推進	(16)未利用水の利 用促進	61	開発調整課	市	随時	る指針】開発区域内の雨水排水の直接放流を 緩和し、下流域の水害の防止として、雨水浸透 横の使用を推奨。		開発行み等に関する指導要綱の甲譲者に対 に、第末市開発事業の手続えび基準等に関 する指針の規定に基づいた適正な指導を行 い、開発地における雨水浸水桝の設置を図る ことができた。	び基準等に関する指針の規定に基づ き開発事業施工者に指導を行う。
			62	道路課	市	随時	【交通安全対策事業】工事において透水性舗 装整備を実施。	透水性舗装整備の施工実施なし。	透水性舗装整備の施工実施なし。	随時、状況に応じ、透水性舗装の施工 を実施していく。
			63	環境政策課	市、県、団体	随時	【自然環境保護事業】滋賀県のヨシ群落保全 条例により保全区域に指定されているヨシ群落 を「守る」「育てる」「活用する」県の事業に協 力。	当該事業無し	当該事業無し	引き続き県の該当事業がある場合は、 連携して取り組んでいく。
		(17)市民・地域・事業者ぐるみによる自然環境の保全	64	環境政策課	市	随時	【保護樹木の指定】良好な環境を確保するため市内105所、36本の樹木を指定しており、市 ル・ペンフレー、環境開連・ベン・等で啓発。 また、保護樹木の蘇生治療等に対する補助要 標を策定し、必要に応じて助成を実施。	志那神社のクロマツ松枯れ予防の薬剤散布 補助額:39,050円	市内の価値のある樹木として指定し、次世代に 継承していけるよう、管理者に対し補助金を支 出した。	良好な環境を保全するため、保護樹木 を指定しており、これらが貴重な樹木で あることの周知啓免に努める。
			65	環境政策課	市	年間	信角原連接保全地区の用ジ界された自然運 連合が、できる機能を開発し、窓世代に対する、市 用ブカ京、合計141247㎡ 信相能運賃保金地 のに指定し、前半、シンツル、電線開送をベ ン・等で容免、開発行為等を提削するとさん に、維林面振に近じて毎日にからを経費を助 成し、貴重な生物生息域の保全・保護に寄 与。	助成金交付額:計698,852円	項された自然環境を少しても今(保全人)常世代 に継手するから、身好な自然環境を与する地 域を自然環境保全版区として指定している。機 持管理とかかる東州の一郎を助成し、環境保 全に寄与した。	安全・安心な環境のもとで今の自然環境保全地区を次世代へ概率するため に、危険本の伐採・剪定費用の補助を 行う。
			66	環境政策課	市	随時	【いさもの調査】市民主体のいさもの調査について講師派遣等の支援や、市ホームページ等で取組を紹介。	市内6か所(全9回) 参加人数:381人	令和2年度と比較し、講師派遣実施回数が増加したことで参加者数の増加につながった。	講師派遣だけでなく、学校や地域が独 自に行っている調査会を取材し、情報 を発信していく。
	①生物多様性の 保全と活用		67	環境政策課	市	年間	【鳥獣保護(外来生物)】希少種を含む在来生態系の保全・回復のため、特定外来生物アライグマ等を補獲。	特定外来生物 アライグマ捕獲数: 23頭 ハクビシン:4頭 ヌードリア:1頭	特定外来生物であるアライグマ・ハクビシン・ ヌートリアを捕獲し、在来生態系の保全・回復 を高めている。昨年と比べると減少傾向にあ る。	減少傾向にはあるが、市民の方々に、 より一層の周知・啓発を行う。
		(17)市民・地域・事 業者ぐるみによる自 然環境の保全	68	環境政策課	市	随時	【赤野井湾のハスの種の保存】赤野井湾内に ハスの地下茎がほとんど枯死していたことから、ハス群落再生の実証実験で開花したハス の地下茎を増やす取組を行う。	令和2年度に引き続き、ハスの株分けを行い、 10躰に株分けした。 水生生物公園みずの森にて赤野井湾のハス の啓示を行った。	水生植物公園みずの森と連携し、地下茎を増 やすことができた。	株分けした地下茎をさらに増やす取り 組みを行いながら、水生生物公園みす の森にて赤野井湾のハスの啓示を行 い、地域資源の継承を行う。
							【土地改良事業】農業排水の流出の抑制・適 正な浄化処理を行い、琵琶湖の水質汚濁負 荷削減に尽力。	5月 COD 8.2→5.6(除去率 31.7%) BOD 1.5→1.4(除去率 6.7%) T-N 1.8→1.4(除去率 22.2%) T-P 0.28→0.17(除去率 39.3%)	農業排水の流出の抑制・適正な浄化処理を実施できた。	今後も農業排水による琵琶湖の水質 汚濁負荷削減に努める。
			69	晨林水産課	市、県、地元	随時		7月 COD 4.4→5.6(除去率 ▲27.3%) BOD 0.5→1.6(除去率 ▲22.00%) T-N 0.9→0.7(除去率 22.2%) T-P 0.09→0.05(除去率 44.4%) 1月 COD 6.1→5.3(除去率 13.1%) BOD 4.1→2.3(除去率 43.9%)		
4.自然とともに生 活する環境づくり							【自然環境保全地区危険末調査事業】近年、 全国で台風等の影響による倒木等により、民	T-N 0.8→1.5(除去率 ▲87.5%) T-P 0.07→0.04(除去率 42.9%) 危険木調査実施地区数:16地区(芦浦観音 寺自然環境保全地区は市歴史文化財課が敷	16地区の危険木調査を実施し、15地区の危 険木を特定することができた。	令和4年度から令和7年度において自然環境保全地区危険木除去費等補8
			70	環境政策課	市	年間	家や文化財・参行者等への被害事例が発生していることから、自然環境保全地区の危険木調査を行い、良好な自然環境の保全を安全面から推進。			金制度を創設し、自然環境保全地区 の管理者等に対し、危険木除去費等に 対する補助を行い、危険木除去を促進 し、保全地区の保全を図り良好な自然 環境を維持する。
		(18) 農地等におけ る在来生態系の保全	71	農林水産課	市	随時	【農業振興】農用地からの除外を必要最小限 に留めることで、優良な農地を保全。	除外件数···6件 編入件数···0件	農用地からの除外を厳格に管理し、優良農地 の確保に努めた。	農用地からの除外を厳格に管理し、継 続して優良農地の確保に努める。
	②自然とふれあう ための活動の推 進	(19)自然環境等に 親しむ場と機会の充 実	72	まちづくり協働課	市、地元	随時	(地域監督合校をはじめとした子どもの生きる 力を育む取り組み) を表まが、(り協議会に交付する一括交付金事 業として、「地域協働合校をはじめとした子ども の生きる力を育む取り組み」を実施し、自然と 触れ合う機会を提供。	コロナウイルス感染症拡大の影響で毒素変更 が生じた学区もあったが、各まちづくり協議会 で、地域ー括交付金事業における必須項目で ある「地域協働合校をはじめとした子どもの生き る力を育む取り組み」を実施いただいた。	各まちづく)協議会で、地域協働合校やわんば (プラザ等の事業を通し、自然と触れ合う機会 を提供することができた。	各まちづくり協議会への交付全事業の 項目の一つとして、引き続き、地域協権 合校等において、自然と触れ合う機会 が提供されるよう取り組んでいただく。
			73	環境政策課	市	年間	[「草津市の自然」] 急激な都市化のなかで、 自然環境の推移在学館的に托提、記録し、残 された美以口部の保護、保全区包さんから必 要な基礎資料として作成ルだ「草津市の自然 2014)を多くの市民に自然環境への理解と関 心を深めるために活用する。	「幕津市の自然2014」を素材として作成した資料を元に、山田学区で開催された「やまだウオーク」におい、幕津市地、山田学区の自然環境について説明を行った。	やまだウォークの参加者に、草津市域で見られる尾虫、海岸で見られる鳥類。山田学区で見 られる魚類像と紹介することで、地域の自然環 環への理解・関心を深めていただくことができ た。	授業における講師対応の際、草津市の 自然について周知を行う。
		(19)自然環境等に 親しむ場と機会の充 実	74	農林水産課	市 (草津市農 業振興協議 会)	随時	【ふれあい農業推進事業】草津市手作り市民 農園を開設し(75区画)、広く市民が自然とふ れあい、農業に親しむ機会を創出。	草津市手作り市民農園として74区画貸出。	市民が自然と触れ合い、農業に親しむ機会を 提供することができた。	空き区画が生じないよう、市民農圏に ついてHPや広報を活用し広く周知して いく必要がある。
	②自然とふれあう		75	幼児課	市	随時	【幼児期における環境学習】地域の自然環境 に行き、自然探索と観察を実施。	新型コロナウイルス感染症の影響により、圏外 での活動が制限されたため自然探索や観察は 十分に実施できなかったが、保育の中で自然 物を取り入れ、触れることのできる環境を提供 した。	保育の中で季節の自然物を取り入れ触れる機 会を設ける工夫をしたことで、四季の移り変わり などの自然を感じることができた。	
	ための活動の推進		76	環境政策課	県、市	随時	【下物ビオトーブの整備】下物町の道の駅くさつ の隣にビオトーブを整備し、ヨシ刈りの場所やハ ス池を整備し、環境学習の場の一つとして活 用。	令和3年5月19日 ハスの移植 11月16日 生物観察会 5月にハス4鉢を移植、7月に開花を確認した。	コロナ橋ではあったが、生物観察会を県・市連携で実施し、環境学習の一環として市民に啓発することができた。 ハスについては、水温調節などの結果、H31以降、初めて開花に至った。	ハスの自生に向けて試行錯誤を重ね ていく。ハスが群生した際には、周知を 行い、多くの方に環境学習の場として利 用いただけるよう県・市連携して取り組 む。
		(20)ビオトーブの形 成	77	河川課	市、県	年間	【市街地排水浄化施設】山寺川市街地排水浄 化施設で、市街地約80向は「路った雨による比 飲め汚濁物質の濃皮が高い切削強出水(市 街地排水)を浄化して、琵琶湖に流入する汚 濁負荷を軽減。		流入する水の水質が計画より良いため、目標 除去率には速していないが、施設通過後の水 質は目標を上回っている。また、ボランティアの 回数については、種生浄化施設の種生状況に よって左右される。	この10年の持続的な活動により、概ね 施設・直接の水の水質が目標を上 同つており、琵琶湖に流入する汚濁負 荷の軽減を図ることができた。
			78	学校教育課	学校	年間	【渋川ビオトーブの会】小学校および地域で、渋川ビオトーブの会を結成し、渋川小学校ビオトーブを自然学習の場として活用するとともに、 維持管理を実施。	理科や生活科の学習で生き物観察などで利 用している。観察会や環境整備は新型コロナウ イルス感染症の影響で中止となった。	地域と学校が協働して維持管理を行ってい る。自然観察など学習の場として欠かせない場 所となっている。	今後も事業を継続していく。
			79	環境政策課	市	不定期	【工場排水調査】河川の汚染防止のため、年 数件、抜き打ちで市内事業所の排水を調査 し、必要に応じて指導。	排水調查:8事業所	従来は抜き打ち方式で市内事業所の排水を 調査していたが、コロナ禍により事前に排水の 調査期間のみ事業所に近え、期間内のいずれ かの日程で調査を行った。調査した事業所に 対して必要な指導等を行い、公害の未然防止 に努めることができた。	環境負荷の高い事業所や公害苦情が 発生するおそれがある事業所に対し、 排水調査を実施し、公害の未然防止に 努めていく
5.健全な生活環 境の保全	①環境汚染等の 未然防止	(21)事業所等によ る環境汚染の未然防 止	80	環境政策課	市	随時	【環境協定締結推進事業】市民の健康を守り、 良好な環境を保全するために、幕澤市の良好 な環境保全所に基づき、市長が特定工場 等と環境保全に関する協定を締結。	新規事業者との締結はなし。 取締結事業者については、立ち入り時に協定 内容の遵守状況について聞き取りを行ったり、 定期的な報告をいただき、協定の遵守状況に ついて確認した。	環境法令に規定のある事項のほか、各事業所 に環境協定に掲げた内容について取り組んで いただき、環境負荷の低減につなげることがで きた。	環境負荷の高い事業所や開発等で新 しく設置される事業所に対し、協定終 結を打診し、環境負荷の低減に取り組 む。
			81	環境政策課	市	随時	【事業所/やロール】過去に公害苦情があった 態業事業所を定期的に/やロールし、公害の未 然防止を推進。	8事業所を定期的にパロール	/ペロール対象事業所が増加したが、定期的に /ペロールを行うことで、事業所の現状を把握で き、苦情発生時にも迅速な対応ができた。	現在実施しているパロールや立入りを 継続していくとともに、事業所に環境意 識を高めてもらい、苦情が発生しないよ うな環境づくりに努めてもらう。

【令和3年度】 方針	施策	取組内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要	R3年度 <b>実績</b>	R3年度 <b>成果</b>	今後の課題および改善策					
			82	環境政策課	市、県	7月、8月	【地下水定期モニタリング調査】過去に地下水 質環境基準を超えた地点において、地下水汚 染状況を継続的に監視。	調査地点:37地点	地下水汚染状況を調査し、適正な監視につな げた。	引き続き地下水汚染状況について調査を継続し、適正な監視を行う。					
			83	環境政策課	市	年12回	[河川調査]環境管理基準あてはめ河川(伊 佐々川・狼川)および監視必要河川(伯母川、 郡上山寺川、草津川)の水質調査を実施。	伊佐々川、独川において毎月1回、草津川、伯 毎川、郡上・山寺川において年1回調査実施。 調査治果は随時市ホームページに掲載すると ともに、市民に親しみやすい人の顔を用いて、 当該河川等に掲示。		探水時に簡易検査を実施したが、環境 管理基準超過の原因究明には至らな かった。 引き続き河川調査を継続し、適正な監 視を行う。					
	①環境汚染等の	(	84	環境政策課	市	年1回	【自動車騒音調査】騒音規制法第18条に基づ く自動車騒音の常時監視として、市内主要幹 線道路を対象に調査および面的評価を実施。	平野草津線、大津能登川長浜線、石部草津 線の3路線において自動車騒音測定を実施 し、市内8車線の面的評価を行った。	草津市内を走る主要道路の騒音の状況につい て把握することができた。	引き続き主要幹線道路について調査を 継続し、適正な監視を行う。					
	未然防止	(22)その他の対策	85	環境政策課	市	随時	【大気汚染状況の把握】光化学スキッグの原因となる光化学オキシダントやFN2.5等による 大気汚染状況を把握するとともに、必要に応じて注意喚起を行う。	環の観測データより大気汚染状況を把握した。	発令時には、市民へ速やかに注意喚起が行え るよう備えた。	開の観測データより大気汚染状況を把 握するとともに、HPや広報を通じて、必 要に応じて市民に注意喚起を行う。					
			86	晨林水産課	市、国、県、地元	随時	【農地・水・環境保全向上対策事業】農業排 水路の泥上げ等の適正な機能維持の共同活 動とともに、農業による濁水の排出を抑え、琵 琶湖の水質汚濁防止負荷低減に尽力。	15集落で実施(五条・北大董・下笠馬場・御 倉・志那中・上笠・山田・木川・不動浜・片岡・ 南山田・北山田・集・志那町・志那町吉田)	農業指水路の泥上げ等の適正な機能維持の 共同活動とともに、農業による濁水の接出を抑え、琵琶湖の水質汚濁防止負荷低減に尽力した。	今後も継続して濁水の排出を抑え、琵 琶湖の水質汚濁防止負荷低減に尽力 する。					
5.健全な生活環 境の保全			87	河川課	市、県	6月~12 月	[河川愛護事業]一級河川の地元の自主的な 活動(草川等)に対して報償金を支給し、住民 の河川愛護思想の募集を図るとともに、河川 環境の保全や景観の美化を推進。	実施町内会: 57団体 実施面積: 180,357㎡	R3年度は新型コロナウイルスの影響もある中 57の町内会、団体が何川愛護活動を実施し、 住民の何川愛護思想の高揚を図り、また何川 環境の保全や景観の美化を推進することがで きた。	この10年で活動団体が10団体以上増加したことから住民の河川愛護思想の 高まりが見え、河川環境の保全や景観 の美化の推進を図ることができた。					
			88	上下水道施設課	市	随時	【水洗化啓発】公共下水道処理区域内で生活 排水を公共下水道(汚水)へ接続(放流先変 更)するよう、年間を通じて啓免を実施。	下水道接続指導件数:511件 単独式浄化槽233件・合併式浄化槽278件に 対し、下水道接続にかかる法令に基づく指導 を実施。	答があった。 下水道接続により生活雑排水等による水質汚	浄化槽利用者の実態調査を行い、利 用実態に応じた啓発を行うことで、下水 連接続を図る。					
	②身近な生活環 境の保全	(23)市民生活に伴 う環境保全と環境負 荷の低減	89	上下水道施設課	市	随時	【公共下水道整備】市内全域において、生活 排水等の適切な処理を行えるように公共下水 道整備(汚水)を実施。	令和4年3月31日現在の下水道普及率(処理 区域内人口/薬津市内の人口):99.7% ※住基人口に限る	潔の低滅に書き、 昨年に引き続き処理区域面積が拡大(約 14ma)したことから、環境負荷が低減した。	下水道未整備地の解消を目指し、整備にかかる課題整理を行い、さらなる 普及率向上を図る。					
			90	上下水道施設課	市	随時	【水洗化便所等改造資金融資制度】宅内の水洗化に要する資金について、金融機関で融資を受けた場合に利子の一郎を補給。	新規実績:0件 制度利用者なし。 3/31現在の下水道処理区域内水洗化率(水 洗化人口/処理区域人口):98.5%	高齢者世帯等の制度利用が困難な実態が確 膝された。	利用実績が少ないため、制度の見直し が必要。					
	対策	(24)事業活動に伴 う環境保全と環境負 荷の低減	91	契約檢查課	市	年1回 (格付見直 しが年1回 のため)	【建設事業契約審査事務】市内工事業者の格付けにあたり、その審査の基準点に、ISO 14001ま以下ユアウション1年を設証登録している企業に点数を加算することにより、企業の環境への取り組みの動機付けを推進。	90社中、令和3年度登録でISO14001による 加点を得ている企業は18社、エコアウション21 による加点を得ている企業は13社、KESによる 加点を得ている企業は3社、 ISO14001、エコアウション21およびKES:8点 加点(重複して取得している場合は、複数取得 していたとしても8点のみを加点)		今後についても、企業の環境への取り 組みの動機付けを推進していく。					
			92	契約檢查課	市	年間	【建設事業契約審査事務】市免注の工事・業務・物品等の契約書に、「受注者は、免注者が 実施している環境マネジメトシステムに記慮 し、環境にやさしい事業活動を心掛けること。」 の項目を入れ、受注業者に啓免。	啓免を実施した。	受注業者に対し、市が実施している環境マネジ メントシステムへの配慮と、環境にやさい。事業 活動への心がけを啓発することができた。	今後についても、受注業者に対し、市 が実施している環境マネジメントシステ ムへの配慮と、環境にやさしい事業活 動への心が付を啓発していく。					
5.健全な生活環		②身近な生活環 境の保全	(24)事業活動に伴 う環境保全と環境負 荷の低減	う環境保全と環境負	う環境保全と環境負	う環境保全と環境負	う環境保全と環境負	う環境保全と環境負	93	環境政策課	市	随時	【工場指導】事業所からの自主測定結果報告 書を受け、必要に応じて指導。 特定工場の中語等。事業所立入時的よび等 故免生時に、市を側に基づき指導を受施、ま た、水質用濃防止洗指導を受けていることを 確認指導。	工場立入9実施:44事業所。 (市内特定工場495事業所中)	幕連市の良好な環境保全条例および騒音規 制法:振動規制法:悪臭防止法に基づき事業 所を指導し、公審の未然防止を図ることができ た。
境の保全			94	農林水産課	市、県、地元	随時	【農業任興】環境ニだが過度を物の推測により、 農業・化学肥料の抑制で、高栄養化ルた農業 抗体の排除性力、延整週の環境に改建する とともに、安全安心な農作物の生産を実施。	環境工だが)農産物 認証証額 265,96 ha 環境保金量量、直接支払交付金 履行課職 237,26 ha 交付額 (2574,200円) (うち市費3,143,550円)	琵琶湖の環境に配慮した。安全、安心な農産物の生産を実施できた。	今後も琵琶湖の環境に配慮した。安 全、安心な農産物の生産を実施する。					
		(OE) h ## # 1- L 7	(25)自動車による 環境負荷の低減	95	道路課	市	随時	【低騒音型舗装】工事において、低騒音型舗装の施工を実施。	您騒音型舗装の施工実施なし。	使騒音型舗装の施工実施なし。	随時、状況に応じ、低騒音型舗装の施工を実施していく。				
			96	幼児課	市	年間	【幼児期における環境学習】花・野菜づくりにかかる土作り、植数、施肥、灌水、除草などの一連の作業を圏児上教職員がといこ共有することによって、植物への愛情や収穫の喜びと共に環境学習を実施、保護者と共に親子活動を行っている圏もある。	公立保育所・幼稚園・こども圏において、年間 を通じて実施。	物への愛情や収穫の喜びを味わことができた。	境教育を充実させる。 R4年度より、農林水産課の食農教育					
			(27)公園 緑地の整	97	建築政策課	市	随時 (H24~)	【ブロック爆等改修促進補助金】地震災害での 倒壊による被害を訪止することを目的に、道路 に面するプロッグ編等を撤去し、後年 34場のあるいは生田に改修する場合あるいは生田に改修する場合に事業費の一部を 助成。	生垣設置の実績なし	生垣設置の実績なし	プロック塀から生垣に改修する事例は、 一般的に少ないものと思われるが、広く 市民ニーズに対応するため、現状維持 の必要があると思われる。				
6.5るおい豊かな 快適環境づくり				(27)公園・緑地の塾	(27)公国・線地の整	(27)公園・緑地の塾	(27)公国・緑地の塾	(27)公国・緑地の塾	(27)公国・線地の整	98	都市地域戦略課	市	随時	「OWART-ASIRILA中の市相形公元党関係も 労働日本の企業を展示の名称を、以解集 駅前の(通称)アニマー経動を活用し、NWAF 駅前の(通称)アニマー経動を活用し、NWAF を整備した。全体の一変な機能管を行うと ともに、市と集凍まちづくり株式会社による、中 心市街地公共空間版わい創出事業に活用す る。	man+に起いて、清掃業務の委託による日常 的な管理を行うとれ、月1日。ガーデニン グサークルグランシーを中心にお手入れ会を 実施」、録音を使れる即まなを任本のまなとを実施した。 また、幕連まちづり株式会社と市で締結し、 また、幕連まちがり株式会社と市で締結し、 で、 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を
			99	公園緑地課	市	随時	【野路公園整備事業】急速な都市化の進む南部地域において、近隣公園として都市計画決定された野路公園を整備する。	公有財産購入費(予算額) 0千円 (執行額) 0千円	地域および地権者と調整を進めることができた。	引き続き、地権者等との協議を進め、 整備に向けて調整を進める。					
			100	公園緑地課	市	随時	【草津川緑地整備】新草津川の植栽を実施。	NPO法人琵琶湖ネットへの維持管理委託を継続して実施:21,472㎡	NPO法人琵琶湖ネットへの維持管理委託を継続して実施したことで、草津川緑地における良好な環境を維持することができた。	引き続き、NPO法人琵琶湖ネットへの 維持管理委託を継続し、環境維持に 努める。					
			101	草津川跡地 整備課	市	22年度~	(高達川勝地監備事業)再専川勝地をにざわいたらられいがもたらされる様空間として整備を 実施。	「東非川跡地の空間整備」に満足している市民の割合 40.8%(令和2年-41.7%)	東半川諸地區機業・公里運営業(東津川諸地 整備事業費)については、用地間定に第千字 をとせい、区路・内配置線を上部の開発機 幅を行うため、重質県とせいは報飲作業施 に、月地市機・砂路に編り付き業施 図ることができた。東非川跡を開養・公園運 登賞(東非川路が最適要別)につい 指定管理者による管理・運営を行い、公園の 会身が環境を維持するとともに、用足等の活 動の広が川より、にぎわいが割出できた。	市民意識原産や指定管理者による公 製利用者アンケートで高い評価をいた だいており、公園の空間利用や可能 動団体、日間事業者の神秘的な活動 を実施していたか、今和年度収益の の合なる活用や対効的な利用が行え ると対射を進める。また、整備等の でかては、空間整備の着束な差渉を図 ることが守ちを表し、関係機能と連携を 強化しながら、実施していく。					

【令和3年度】																
方針	施策	取組内容	No.	所属名	実施主体	実施時期	具体的な事業の概要	R3年度 <b>突彼</b>	R3年度 <b>成果</b>	今後の課題および改善策						
		(28)自然景観の保 全	102	都市計画課	市	随時	【大津市との自然景観保全運携】好整湖対岸 発観形成の保全や創造に対する意識を高める ための周知啓発。		大津市との景観連集事業により、設置湖の対 神景観の原金とかけた。 発することができた。	疑問湖を挟んだ対岸眺望について、施 領の検討されび眺望ポイントの啓発・監 傷等を行う。						
	①公園・緑地の整 備と景観形成の 推進	(29)歴史景観の継 承	103	都市計画課	市	随時	【景観形成事業文件金】実施進算率宿本陣通 労養部所成置点地区において、指場町としての 魅力ある街並み保全と再生に支援。		本種通りでの建物等の新築にあたり、景観に配慮したものにすることができた。	東海道幕連宿本体連り景観形成重点 地区において、指機市としての魅力あ 布面並外極と再生を支援するため、 引き続き指導知道景観が高寿楽文付 をおたて策和道学课市在深趣当分展 形成事業文付金の交付を行う。						
		(30)都市景観の形成	104	都市計画課	市	随時	【近隣景観形成協定】近隣景観形成協定の締 結関係者による、景観形成に関する事業の実 施に対し補助を実施。	補助金の交付なし。	補助金の交付なし。	県の近隣景観形成協定制度の対象事 業見直しに伴い、同制度への市からの 支援についても対象事業の改定を行 5.						
	②歴史文化の保 全と活用	(31)歴史文化の保 全と活用	105	歷史文化財 課	市、 指定文化財 所有者	年間		[文化即保護助政]指定水化即の天都急勢 如樹熟桂為之於市撒史強助。養養假全事黨 に対する補助金原有者等。交付し、指定文 化財養運正に展示 天然記念物謝勢維持:1か所 市指定更跡兼報假全:3か所	観保全にかかる一部を市で補助金として交付	継続して市で補助金として交付するとと もに、地域で大切に守り継承していくと いう機運を額成していく。						
6.うるおい豊かな 快適環境づくり			106	資源循環推進課	市	5月下旬	(草津市ボイ捨て防止に関する条例の制定) 条例に基づき、ボイ捨て防止市民行動の日を 設定し、啓発活動を実施。	令和3年5月30日(日)実施。 場所:エイスクエア アヤカ広場およびSARA南 館、北館 参加人数:32名 啓発物品配布数:1500個	ボイ捨て防止意識と地域における美額保持意 識の向上を図ることができた。	滋賀県の制定する7月1日の「ぴわ湖の 日」や、草津市環境基本条例第11条 に記載の「環境にやさしい週間」に併せ て、散在性ごみの防止を形える街頭啓 発イベントの実施を計画している。						
			107	資源循環推進課	市	随時	【不法投棄監視活動の実施】 各学区まちづくり協議会において、地域まちづく リー括交付金の交付対象事業の1つである「環 境美化に関する取租」として、不法投棄を防止 するためのパーロールを実施。	議会に対して地域一括交付金を交付し、環境 美化に関する取組を依頼。(交付対象は選択	各地域の実備に応じた不法投棄監視活動を 行っていただくことができた。	各地域における不法投棄状況を注視 ながら、今後も継続して支援を行って いく。						
	③身近な自然や まちの美化の推進	(32)不法投棄と散 在性ごみの防止と対 策	108	資源循環推進課	市	随時	(安心安全・ペロールの実施・不法投棄監視力 メラの設置) 主に、不法投棄を免地点を、ペロールル、不法 対案を見出。場合は当撃の一場時や、投棄 者が特定される場合は避ಭの回転に向けて指導 著名を特定される場合は現状回転に向けて指導 業者を特定し、不法投棄の除去を指導すること を等目的に、不法投棄の発力が できる。また、不法投棄の除去を指導すること を等目的に、不法投棄の発力が	<ul><li>・地区パーロール箇所:143か所</li><li>・監視カメラ設置実績なし</li><li>・不法投棄ごみ率:不法投棄ごみ量/ごみ発</li></ul>	無視カンラの管理支援はなかったものの、不法 投棄の身とが考えれる場所でいて実施的 なペロールを行い、不法投棄物の回収に努め たことで、生活環境の限金を図ることができた。	るとともに、監視カメラの有効活用な ど、不法投棄対策に引き続き取り組						
		=	10	10	10	1	1	1	109	幼児課	市	随時	【ごみ持ち帰り運動】運動会や遠足など催し等で排出したごみを家庭に持ち帰ることを啓発。	新型コロナウイルス感染症の影響により、行事 等の縮小を行ったため、行事でごみを排出する ような活動は行っていない。	新型コロナウイルス感染症の影響により、行事 等の縮小を行ったため、行事でごみを排出する ような活動は行っていない。	
			110	道路課	市・市民	随時	【みちサポーター事業】身近な公共空間である 市道の責化活動を浸進するため、市良ポラン ディアの責化活動を支援、環境美化に対す る市民の意識の高揚を図るとともに、市民との 協働によるまちづくりを推進。	みちサポーター参加団体:36組(参加人数 3,562人) 活動回数:690回	身近な公共空間である市道の美化活動を促 進するため、市民ポランティアによる美化活動 を支援することで、環境美化に対する市民の 意識の高揚を図るとともに、市民との協働によ るまちづくりを推進した。	引き続き活動支援を行っていく。						

【令和4年度】 基本方針	施策	取組内容	No.	具体的な事業の概要	令和4年度実績および成果	令和4年度 実施評価	令和5年度事業実施にむけての 課題および改善策	所属名	実施主体	実施時期				
			1	【エコミュージアム推進事業】 地域における既存の施設やプログラム等の資源を活用しながら、実践された体験学習プログラムの情報発信。	環境学習全般に対する総合的な企画・運営を 行い「環境文化」の離底を図ることを目的に、 環境教育・学習や当市の環境教育、共和 いる人材を有している民間団体に委託し、効果 的な手法の検討を行った。	D:当該年度事業実施 無し	当該団体の/ウハウを活用し、効果的 な情報収集および客発方法の検討を 行う。	環境政策課	市	年間				
			2	【環境学習推進員の配置】 平成23年より地域の資源を活かした環境学習 の充実を図るため、専門的な知識を持った環境学習 境学習推進員を配置。	環境学習全般に対する総合的な企画・運営を 行い「環境文化」の簡成を図ることを目的に、 環境教育・学習や当市の環境政策に特急して いる人材を有している圧間団体に委託し、地域 の環境に関する影場に入却して、講師の派遣 や環境教材の貸出等の支援・相談を行った。	B:概ね計画通りの進展	当該団体の/ウハウを活用し、各団体に 対して環境学習の機会の充実を図る。	環境政策課	市	年間				
		(1)環境学習に関す る情報、環境に係る 市民生活や行動に 関する情報の発信	3	【くさつの環境】 市内環境調査の状況および保全施策等を、昭和53年度から3年に1回、環境白書「くさつの 環境」に取りまとめて公表。	令和5年度に令和2年度~令和4年度の3か年 をまとめて発行するため、発行なし。	D.当該年度事業実施 無し	令和5年度に令和2年度~令和4年度 の3か年を取りまとめ、発行。	環境政策課	市	3年に1回				
			4	【エコプラ環境学習啓発事業】 環境学習の啓発をアケンシング等を活用 し、「環境文化」の酸成を図る。	環境学習全般に対する総合的な企画・運営を 行い「環境文化」の施成を図ることを目的に、 環境教育・学習や当市の環境政策に携急して いる人材を有じている民間団体に委託し、セミ ナー等の開催、各種相談等の業務を、くさつエ コスタイルプラザを拠点に実施した。	B:概ね計画通りの進展	環境に関する業務の見直しを行い、当 該団体のパカハウを活用できる事業に ついては、委託を検討し、「環境文化」 の酸成を図る。	環境政策課	市、団体	年間				
	①環境学習・環境意識が深まる 情報の提供		5	[環境関連のコーナー等の設置] 環境に会しい週間に併せて、環境関連の容 第コーナーの設備。ことかしから入り「図書 紹介案内集)で限速図書の案内を行い、実施 者に自主的な環境教育・学習の機会を提供。	- 7月に環境関連の図書の展示を実施。(環境 放策課との連携事業) 本館 展示本書館 20回 貸出冊数:106冊 南部 展示本書館:145冊 貸出冊数:58冊 環境本が続かがせたよどおはくいだか んが変集。(報節で記さらいようへんにおい 環境開発医・マーに図書の紹介を行い、市 内関係名所へ配布。	B.概ね計画通りの進展	引き続き環境政策課との連携事業を 行い、来館者の自主的な環境教育・学 習機会の充実に努めます。	草津市立図書館 南草津図書館	市	7月				
			6	【環境学習ネットワークの充実】 こども環境会議や地球冷やしたい推進協議 会、滋質グリーン活動ネットワーク、エコスクー ル支援委員会を通じて、多様な主体のネット ワークゴくりに貢献。	こども環境会議や冷やしたい推進協議会等を 開催し、多様な主体が交流できる場を提供す ることで、ネットワークづくりを支援することがで きた。	B:概ね計画通りの進展	こども環境会議の参加者や冷やしたい 推進協議会の会員を増やすことで、多 様な主体のネットワークづくりを図る。	環境政策課	市	随時				
		(2)環境への意識を 高める場や機会の提 供	7	【グリーンセンターの見学対応】 更なるごみの減量・リサイクルによる「資源循環型社会の構築」に向けて理解を深めていただく ため、グリーンセンターの見学の受入。	小学校4年生や各種団体等の見学を受け入れた。見学者数か令和3年寅に比べて増加 し、見学を選じてごみに関する理解を深めていただくことができた。 見学団体数・70団体 見学人数・2.598人	B:概ね計画通りの進展	見学者アンケート等をもとに、見学内容 の元実に努める。	資源循環推進課	市	随時				
1.環境について学			8	【幼児期における環境学習】 環境学習教材として紙芝居やVTR等を導入。 また、保護者も環境意識の向上を図るため、廃 品回収など環境活動に参加。	公立保育所、ことも圏において、年間を通じて 環境に関する50Gの関連の結本の活用や環境 に関する核型のほみ関かせい現域な業 会を通して環境への意識を高める取組を行っ た。	B:概ね計画通りの進展	子どもに身近な環境教材の充実を図 り、軽続して環境意識の向上に取り組 む。	幼児課	市	随時				
び行動できる地域 社会づくり			9	【隣保館での啓発】 研修にて環境について学ぶ機会を提供。	西一会館:環境学習講座 滋賀県地球温暖化防止活動推進員を招い て、今と吉の電化製品を比較し環境への影響 について学んだ。 対象:市内在住大人 参加者: 27人	B概ね計画通りの進展	研修・講座の1テーマとして取り組む年度もあり、不定期ではあるが実施していく。	人権政策課(各 隣保館)	NPO	1回程度				
		(3)環境学習機会の 提供	(3)環境学習機会の				10	【浄水場施設見学】 小学校4年生の社会科授業の一環として浄水 場の見学があり、水源の保全、水黄源の有効 利用等を説明。	浄水場の見学が水道水について考える機会となり、水道水や琵琶湖の大切さを伝えることができた。 参加者:1校 89人	C.予定を下回る進展	小学校と連携し、今年度も赤水場見学 を継続してい、保年度は新型コンナウ 小スの原象状況がある書いてい。 時期し、帰催できなかった。令和6年5 日に新型コンナールルス最後を近れる 別に新型コンナールルス最後を近れる の見学受け、私が実施できる見る。 である。また、見学以外にもかシフンナー や動画等の密発質材を活用していただけるよう、PRUていた必要がある。	北山田・ロケハ浄水場	市	6月頃
				11	【環境美化の日】 滋賀県が制定する「こみゼロの日」「ぴわ湖の 日」「県下一斉清掃の日」に関連して、各校で 清掃活動等を実施。	・「ごみゼロの日」には、14校中9小学校、6校中5中学校で清揚活動を実施した。 ・「近れ湖の日」には、8小学校、3中学校で清揚活動を実施した。 ・「場下一斉清陽の日」には、10小学校4中学校で清揚活動を実施した。	C:予定を下回る進展	ここ数年は、新型コロナ感染症の影響 で活動を自粛される学校が多かった。 可能な範囲で学校の一環として実施し ていけるよう学校に働きかけていく。	学校教育課	学校(全小中 学校)	年間3			
	②学びを行動に つなげる環境学習 の推進			12	[エコスクール実施校] 滋賀県野琶湖環境部環境政策課が指定し環 境教育の取り組みを推進。	流川小学校、笠縫東小学校の環境学習の実 践が認められ、県のエコ・スクール校に認定さ れた。	B:概ね計画通りの進展	スクールESDくさつ推進事業が始まり市 内の小中学校では、環境教育が多く実 該されている。しかし、県のエコ・スケー ル部定制度の活用が十分図られてい ないので、制度の趣旨を学校に伝えて いく必要がある。	学校教育課	学校	年間			
	07推進			提供	13	【滋賀県環境教育研究協議会】 学校における環境教育充実と、指導にあたる 教員の指導力向上に費するための研究協議 会。	5小学校と2中学校の教員が環境教育研究協 議会に参加した。教職員が環境教育の実践に ついて講義や交流を通して学ぶことができた。	B:概ね計画通りの進展	市内全小中学校が3年に1回ずつ参加 している。今後も環境教育に関する教 職員の研修の機会と捉えて参加してい く。	学校教育課	学校	8月		
					1	1	1		14	【びわ湖フローティングスケール「うみのこ」】 県内の全小学5年生が、びわ湖フローティング スケールという琵琶湖上で1泊2日の宿泊体験 を中心とした教育活動を行うもの。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1 治2日筋薬を目帰り航海に変更し実施した。す べての小学校で実施できた。子どもたちにとっ てびわ湖の環境について学ぶ貴重な機会と なった。	B:概ね計画通りの進展	ここ数年、新型コロナウイルス感染防止 のため、日帰り航海となっていたが、1 地2日航海が有限される。子どもたちに とって充実した体験活動が実践される よう教職員に対して指導助言していく。	学校教育課
			15	【森林環境学習「やまのこ」】 県内の全小学4年生が、森林への理解と関心 を深めるともに、人と豊こかかわる力を育める よう、県内森林環境学習施設で体験型の環境 学習を行うもの。	全14小学校で「やまのこ」事業を実施すること ができた。12枚が近江富土花緑公園、2枚が 森の未来能で活動を実施することができた。 どもたちが森での体験を選して、森林への理解 と関心を高めることができた。	B.概ね計画通りの進展	新型コロナウイルス感染防止の観点から、活動が一部制限されることもあったが、今後は充実した学びができるよう現地スタッフと連携して事業を進める。また計事例を紹介する等、事前事後学習の充実を図っていく。	学校教育課	学校	年間				
			16	[農業体験学習「たんぽのこ」] 子どもたちが農業体験学習を通して、農業への 関心を高め、生命や食べ物の大切さを学ぶ 「農からの食育」を推進するもの。	地域の方やボランティアなどのサポートのもと、 全小学校で事業に取り組めた。「育て」「収穫 する」という一貫した体験学習を実施した。一 連の体験を通して、子どもたちは、農業への関 いたできた。	B.概ね計画通りの進展	市内では都市開発により田んぽが減少 しつつある。地域によっては学校に田ん ぽを提供してくださる方を探すのが困難 になりつある。米を栽培するかどうか も含め、学校の実情に合わせて事業を 継続していく。	学校教育課	学校	年間				

【令和4年度】 基本方針	施策	取組内容	No.	具体的な事業の概要	令和4年度実績および成果	令和4年度 実施評価	令和5年度事業実施にむけての 課題および改善策	所属名	実施主体	実施時期			
			17	【地域のまつりでの啓発】 各まちづく協議会が実施する、ふれあいまつ り等の末場でよわせて、ごみの分別や、持ち帰 りを徹底し、環境問題への意識酸成を促進す る。	各学区でふれあいまつりを実施し、ごみの分別・特与帰りの徹底等の呼びかけを行った。 ふれあいまつり等の来場者に対し、機能店から 出るごみの分別や持ち帰りを呼びかけいただく ことにより、環境問題への意識線点が促進された。	B:概ね計画通りの進展	ふれあいまつりの来場者に対し、引き続きこみの分別徹底等を呼びかけることで、環境問題への意識酸成を促す。	各地域まちづくり センター	市、各まちづく り協議会	随時			
	②学びを行動に つなげる環境学習 の推進	(4)学びを行動につ なげる環境教育・学 習の内容の充実	なげる環境教育・学	なげる環境教育・学	18	【地域団体との連携における啓発】 名まちづくり協議会に交付する地域まちづくリー 接交付金事業として、「環境条化に関する取り 組み」をまちづくり協議会が実施。	各まちづくり協議会で、地域まちづくリー括交付 金事業の項目である「環境美化に関する取り 組み1を実施しただいた。 各まちづくり協議会を中心に、各町内会や関係 団体と連携とから、環境業化活動や不法勢 実の監視等を実施いただいたことにより、各地 域で環境問題につべて考える機会の提供につ なげることができた。	B-概ね計画通りの進展	各まちづくり協議会への交付金事業の 項目の一つとして、引き続き、環境美化 活動等に取り組んでいただく。	各地域まちづくり センター	市、各まちづくり協議会	随時	
1.環境について学			19	【こども環境会議】 子ども大人が一緒に身近な環境について話 し合ったり、日ごろの数組の発表と交流を行う 壊を提供。	コナ福での新たな手法として交流の部をオン ライン開催として実施できたことで参加団体数 が増加した。また、前年度に引き始後、展示の 部について、グリーンセンターみよびイオンモー ルにて展示を行う上ができた。情報受信の部 についても、YouTubel くさつチャンネル」による 環境学習活像の情報を行った。 動態が出来る。	B.概ね計画通りの進展	交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の元実を図るととも、 開催について広報等で周知を行い、事業所、団体、大学参多種多様なのである。 製所、団体、大学参多種多様なのである。 が図れるよう参加の呼びかけを行う。また、オンライン開催の経験を活かし、対面での示敵となる。 対面での示敵となる。 関係した、	環境政策課	市、学校、団体、企業	年間			
び行動できる地域 社会づくり		(5)多様な主体の環	20	【環境学習支援事業】 団体、事業所等が実施する学習会等に、講師 派遣を実施。また、体験しながら学べる教材等 の貸出を実施。	環境学習全般に対する総合的な企画・運営を 行い「環境文化」の整般を図ることを目的に、 環境教育・学習と当市の環境数策に指導して いる人材を有している臣間団体に委託し、講師 派遣、教材貸出を行い、実施団体の相談・支 援を行った。 講師派遣:16件 教材貸出を2件	B概ね計画通りの進展	当該団体の/ウハウを活用し、実施団 体に対して環境学習の支援の充実を 図る。	環境政策課	市	随時			
	③環境活動の支援・人づくり	境活動の支援の充実	21	【こどもエコクラブ支援事業】 財団法人日本環境協会の事業である「こども エコクラブ」の市窓口を設置し、加入促進を実 施。	環境学習全般に対する総合的な企画・運営を 行い環境文化」の額成を図ることを目的に、 環境教育・学習や当市の環境教育、特遇して いる人材を有している民間団体に委託し、加入 促進を行った。 登録数:13クラブ(3,099人)	B.概ね計画通りの進展	当該団体の/ウハウを活用し、こどもエコ クラブへの加入の推進を図る。	環境政策課	市	随時			
		(6)リーダー、コー ディネーターの支援 や市民、団体、事業 者への協力、支援	22	【環境学習ブランナー】 地域における経統的な体験や実践を通した学 習により、自今を表、機種的に環境活動に取り 組む人材を育成するため、事業を実施。	環境学習会報に対する総合的な企画・運営を 行い「環境文化」の機能を図ることを目的に、 環境教育・学習・市の環境を開業・構造して いる人材を有している反開団体に受託し、開会 した環境学習 アグライを表演するととれた。 選において事業の方向性の検討を行った。 環境学習プランナー・3名 会議: 2回	B.概ね計画通りの進展	環境プランナーの制度を廃止し、重点 事業1 いきもの自然学校において、モ デル地区を中心に人材の育成を図る。	環境政策課	市	年間			
			23	[温暖化対策啓発イベント・キャンペーン] 広報読への記事の規範や、市内商業施設での イベントを実施、その他、音楽まつり、リサイクル フェアなど各種イベントで啓発を実施。	地球温暖化防止月間 イオンモール草津にでフェア開催 開催日:12月17日~18日 来場者数:504人 出展:超力:1回(冷やしたいフェア) ポスターの配布:102枚 テラシの配布:310枚	B概ね計画通りの進展	イオンモール草藻の催事場の基準について、会場の見張しを確保する目的で高さ基準の変更があったため令和5年度以降展示物等の基準を検討する必要がある。	温暖化対策室	市	随時			
			24	【ノーマイカー運動】 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)のエ コオフィス行動取り組みの一環として、第二・第 四金曜日を「ノーマイカーデー」とし、公共交通 機関や自転車の利用を心掛け、自動車(パイ クを含む)での通動の自粛を呼び掛け。	会議:2回 プログラムの制催:1回  加球温暖化防止月間 イナルモルネ楽車でフェア開催 イナルモルネ楽車でフェア開催 イナルモルネ楽車でフェア開催 イナルモルネ楽車でフェア開催 イナル 出版 (1982年 1982年 1984年 198	可能な範囲で職員に公共交通機関を 使用した通動方法を取っていただける よう啓発を継続していく。	温暖化対策室	市	随時				
			25	【エコオフィス推進事業】 公共施設の省エ本・省CO・環境負荷低減を はかるため、市独自の環境マネジメントシステム (KEMS)により、総合的に管理。	システム研修、相互点検を通し、市職員全体 に省エネ、環境負荷軽減について呼びかけた。	B:概ね計画通りの進展	今後も引き続き、市職員に対してシステム研修などを通して省エネ、環境負荷軽減に努めていく。	温暖化対策室	市	年間			
							26	【温暖化対策大賞表彰事業】 市内で行われている優れた地球温暖化対策 の取組を、各部門ごとに表彰し、それらの取組 を地域に発信。		B概ね計画通りの進展	若者世代には多くの参加をいただいた が、大人部門では参加がなかったため 適宜大人部門に対しても啓発を行って しく。	温暖化対策室	市
2.気候変動への対策(緩和と適	①低炭素型生活	(7)省エネルギー対 策および五年可能エ	27	【愛する地球のために約束する協定】 地球温暖化対策に取り組む事業者・団体等と 愛する地球のために約束する協定を締結する とともに、締結者の取組を広くPRし、締結者の 増加を図る。	協定締結者:56者 新規締結數:2者	B概ね計画通りの進展	協定証において草津市気候非常事態 宣言への賛同を表明する仕組みを加 えて、適宜団体や事業者へ呼びかけを 図っていく。	温暖化対策室	腰化対策室 市	年間			
応)	様式の推進	ネルギー利用の推進	28	【環境にやさい/週間事業】 環境基本条例で定める「環境」-やさい/週間」 に、主に事業者を対象に環境」・配慮した活動 を推進するイベントや各種啓発活動を実施。また、市広報の特集号、HPでの密発。	環境学習金般に対する総合的な企画 運営を 行い環境を化りの職体を包含ことを目的に、 環境教育・学習や当市の環境政策に精通して いる人材を有している民間団体に委託し、1環 境にやさい週間の周知 号を、イベントを 行った。 エコフォーラム 9月2日開催 パネル展示 6月17日~7月13日実施	B概ね計画通りの進展	当該団体と連携し、環境基本条例に基 づく「環境にやさし、週間」を中心とし 、環境保全の重要性を考え、行動の 契機につながる啓発活動を実施する。	環境政策課	市	7/1を 含む 1週間			
			29	【エコアクション推進事業】 エコ・アクション・ポイント制度を活用して、日常 生活における参迎にできるエコアクション(環境 に配慮した取組)を促進。	取組世帯数:168世帯	A:当初の計画以上の 進展	エコアクション推進事業の周知のため今後は全戸配布するなど幅広く啓発して しく必要がある。	温暖化対策室	市	年間			
			30	【窓断熱推進事業】 窓断熱に関する講習会の開催等による窓断熱 の音及答免。	年2回の講習会を実施。 参加人数:39人	い、必要がある。  い、必要がある。  「関密会を実施。  の振わき至某いの場合「現象を表現のでの名を事業や現内。  の振わき至某いの場合「のなみとと考集を可以得定が守って名字。	市	年間					
			31	【スマードライブ推進事業】 事業者・団体を対象としてスマードライブ宣言 および講習会を実施。また、市民への哲学によ り、交通安全とともに、自動享燃料の削減によ る二酸化炭素排出量削減を推進。	市と包括連携協定を締結されているあいおい ニッセ・何和損害保険株式会社のご協力の 元、車載型のGPSタケと連動した運転状況記 級アプリシステムを無料で活用してマードライ ブ・安全運転コンテスト」の開催。 スマードライブ宣言事業者数:14者	B機ね計画通りの進展	引き続き「スマードライブ・安全運転コ ンテスト」を開催しながら、事業者にコン テストに参加していただく。	温暖化対策室	市	年間			
			32	【ゼロカーボンシティ】 令和3年12月に行った草津市気候非常事態 (ゼロカーボンシティ)宣言の普及・啓発を推 進。	各イベントで草津市気候非常事態宣言への賛 同を呼びかけるなど啓発活動を実施した。	B:概ね計画通りの進展	引き続き、各イベントで草津市気候非 常事態宣言への賛同、普及を推進して いく。	温暖化対策室	市	年間			

【令和4年度】 基本方針	施策	取組内容	No.	具体的な事業の概要	令和4年度実績および成果	令和4年度 実施評価	令和5年度事業実施にむけての 課題および改善策	所属名	実施主体	実施											
			33	【体も地球も元気にブランター楽園店選事業】 地球温暖化による気候変動と自然環境への影響を理解し、自然環境保全対策を行うために、 身近な場所でのブランター楽園を推進。	年2回の講習会を実施。 参加人数:46人	B:概ね計画通りの進展	市の関連部署と協働し、引き続き推進していく。	温暖化対策室	市	年間											
	①低炭素型生活 様式の推進	(8)脱炭素社会への 転換に向けた低炭素 型まちづくりの推進	34	【まかパス(コミュニティパス)運行事業】 市内のパス交通不便能を中心とした生活交通 の理像や、地球活性化を図るために、「まめパ ス」・「まめタウ」を運行。	(北外/八人) 布和乌车寅一司·吕桥志、7路倫忠系統の運行を 行った。 成年原利用者数:142.684人/年 (北外夕) 布和乌车取:司·吕传志、志津宁区等の5路線 の運行を行った。 - R4年取得用者数:1197人 - R4年取得开接款:1024便 京北、新上に享事取接級指線(2路線)の実証 運行機防止。 - R4年取得用者数:48人 - R4年取得用書数:48人	B.概ね計画通りの進展	引き続き、バスス書不便施の解词のため、183.1ディバスで書かれてJの原発 路線の見重し、デマル型乗舎タジンー に多かり海岸駅接線側の本格里 行への移行など、動たな移動手段の確 後に向けて、地域と連携し、協議検討 を行う。	交通政策課	市	年間											
2.気候変動への			35	[連節バスの運行] 新たな交通システムとして、大量輸送に優れて いる連節バスを運行。	令和3年度に引き続き、連節バスの運行を 行った。	B:概ね計画通りの進展	観光やイベント等での活用拡大を図る とともに、自家用車から公共交通への 利用転換を促す。	交通政策課	市	年間											
対策(緩和と適応)			36	【自転車安全安心利用促進委員会の開催】 自転車の安全で安心な利用の促進に関する 施策の評価を審議。	草津市自転車安全安心利用促進計画の各施 策の実施状況について、実績を照会し、取りま とめを行った。	B:概ね計画通りの進展	更なる自転車の安全安心利用の促進 を図る。	交通政策課	市	年間											
			37	【ゴーヤーカーテンの取り組み】 地域まちづくりセンターの窓の外でゴーヤー カーテンを育成。来館者等に対し地球温暖化 防止につながる取り組み例として情報発信。	老上西・玉川・山田・笠縺東地域まちづくりセンターで実施。 ゴーヤーカーテンの実施により、来館者に対 し、地球温暖化防止につながる取組み事例の 一つとして情報発信することができた。	B:概ね計画通りの進展	未館者に対する啓発として、協力いただけるセンターにおいて、ゴーヤーカーテンに取り組んでいただく。	各地域まちづくり センター	市、各まちづく り協議会	夏季											
	②気候変動の影響への適応の推 進	(9)気候変動の影響 に備える適応策の取 組	(9)気候変動の影響 に備える適応策の取 組	に備える適応策の取	38	【ハザードマップウォーキング推進事業】 地球温暖化の影響の一つである豪雨時に適 切な避難行動ができるよう、ウォーキングを通 して、避難経路や河川、水路などの避けるべき 場所を確認する気候変動適応策を推進。	ハザードマップウォーキング支援の依頼のあった団体のイベントに対して支援を行った。 支援回数:2回	B概ね計画通りの進展	市関係課や県温暖化防止センターと 連携を図りながら、各町内会や子ども 会が実施するまちあるき事家などの一 環として提案し、実施数の増加を図っ ていく。	温暖化対策室	市	年間									
			39	【日命等推進事業】 熱中症を予訪し、特に直射日光を避け、体感 温度を下げる効果のある日命や帽子などの利 用を促す気候変動適応策の推進。	エコスタイルコンテストの参加児童に対して、熱 中庄予訪としての日命の利用を呼び掛けた。 参加児童の家庭における日命の利用割合: 36%	B機ね計画通りの進展	くさつエコスタイルコンテストを通して引き続き啓発を行うとされ、他の啓発方法も拡充していく。	温暖化対策室	市	年間											
			40	【家庭ごみの分別・排出】 転入者への家庭ごみの分別・排出の説明や啓 免。	窓口にて転入者へ分別方法、ごみ袋引換券の 交付方法について説明を行った結果、転入者 等へ分別方法を周知することができた。	B:概ね計画通りの進展	転入者への説明や、市民との協働のな かで、こみの分別や問題について意識 向上ができるよう周知、啓発に努める。	環境政策課	市	随時											
			新規 41	【家庭系ごみの発生抑制・再使用】 指定ごみ袋に関する制度見直しの検討や、リ ユース市場の拡大促進などの取組により、家 庭系こみの減量を推進。	・ごみの排出量に応じた負担の公平化、ごみの 排出抑制や再生利用、意識改革をより進める ために、指定ごみ袋制度を見恵した。 ・分別アプルの地図機能を活用し、市内のリ ユースショップの所在地が分かるマップを作成 した。	B:概ね計画通りの進展	令和5年10月から指定ごみ袋制度を 変更するなど、今後も引き続き、ごみの 発生抑制と再使用を置点に取組を進 める。	資源循環推進課	市	随時											
			42	【事業系ごみの発生抑制・再使用】 事業系ごみ処理手数料の見直しや、排出事業 者への減量指導などの取組により、事業系ご みの減量を推進。	・ごみの減量へのインセンティブを持っていただ だため、周辺自治体の事業こみ処理手数料も 参考に、手数料の見値と進むた。 ・排出事業者に対し、減量指導を行った。 訪問事業所数:163件	B-概ね計画通りの進展	令和5年4月からごみ処理手数料を引き上げ、引き続き、排出事業者への滅 置指導を行うなど、ごみの発生抑制と 再使用に向けた取組を進める。	資源循環推進課	市	随時											
			43	[最終処分場整備] 最終処分場を整備。	No.55【ごみの焼却処理・最終処分】に統合	E廃止	-	資源循環推進課	市	随時											
3.資源循環型社 会の構築	①ごみの発生抑制・資源の再利 用・資源化等の推 進	(10)ごみの発生抑制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑 制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑 制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑 制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑 制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑 制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑 制と再利用の推進	(10)ごみの発生抑 割と再利用の推進	(10)ごみの発生抑 制と再利用の推進	44	【ごみ問題を考える草本市民会議との協働】 啓発事業「エライフフェア草本」の開催や広 報誌「ごみジャーナル」の刊行など。	・市民会議との協働により、3Rに関する啓発事業を実施した。 エコライフフェア来場者数:約250名 ニホシャーナルMa52刊行	B機ね計画通りの進展	より多くの市民に、ごみの減量と限りある 資源の有効利用に関する意識の高揚 を図るため、今後も引き続き、手法を工 夫しながら、啓発事業を展開する。	資源循環推進課	市、団体	年間
			45	【事業系古紙類の排出抑制】 事業系ごみのうち古紙の持込を抑えるため、古 紙類のリサイクルルートへの誘導による排出抑 制を推進。	No.41【事業系ごみの発生抑制・再使用】に統合	E廃止	-	資源循環推進課	市	年間											
			46	【資源の再利用による数材】 廃材など使用できるものは、数材として利用。	身近な廃材を教材として使ごとで家庭でも資 源の再利用を呼び掛ける機会となった。また、 廃業食材再利用のコンポストを設置している間 もあり、余った給食を堆肥にして栽培活動に活 用した。	B-概ね計画通りの進展	総続して取組むことで、資源再利用を 促進していく。	幼児課	市	年間											
			47	【不用品パザー】 各家庭の不用品を持ち寄り、パザーを実施。	夏祭り等不用品を回収してリサイクル活動を 行ったところもあるが、新型・ロナウイルス感染 症の影響により実施していない固所が多い。	C.予定を下回る進展	不用品パザーについては、各施設PTA や保護者と先生の会事業の見直しにより縮小傾向である。	幼児課	市	随時											
			48	【資源回収】 施設で出る古紙(新聞、段ポール)やペットホトルのキャップ等を、リサイクル業者や団体等に 回収を依頼。	ベットボルキャップや古紙の回収を定期的に 行った。	B.概ね計画通りの進展	資源再利用の取組みとなるため、継続 していく。	幼児課	市	随時											

基本方針	施策	取組内容	No.	具体的な事業の概要	令和4年度実績および成果	令和4年度 実施評価	令和5年度事業実施にむけての 課題および改善策	所属名	実施主体	
			49	【ごみの分別・リサイクル】 適切な分別の周知徹底やウリーンセンターにお ける養源化処理を推進。	・ごみの分別を手軽に検索できる分別アプリを 更新するとともに、クリーンセンターに搬入され たごみについて、可能な限り資源化処理を行っ た。 資源化量・3.978t リサイクル率・17.3% プラスチック製容器頻資源化率・95%	B概ね計画通りの進展	焼却ごみ袋に含まれている雑紙の分別 を促し、古紙類の資源化を進めるため、 品目別に月1回ずつの古紙類の収集 日を統合し、令和5年10月から、月2 回に収集回数を増やす。	資源循環推進課	市	
			50	【容器包装リサイケル法に基づく分別収集】 プラステック製容器包装等について、指定法 人ルートで資源化処理を推進。	No.48[ごみの分別・リサイクル]に統合	巨廃止	-	資源循環推進課	市	
		(11)ごみの分別と資	51	【家電リサイクル法の周知・啓発】 家電リサイクル法に基づき週正に処理がなされるよう、市民に処理方法を周知・密発。	No.48【ごみの分別・リサイクル】に統合	E廃止	-	資源循環推進課	市	_
		源化の徹底	52	【資源回収活動の奨励】 資源の再利用およびリサイクルの推進を図るため、回収量等に応じて奨励金を交付。	町内会や子ども会等の各種団体が実施する資源回収活動に対して、補助金を交付することで、こみ問題に対する意識を高め、こみの減量と再資源化を図ることができた。 団体数:178団体 同分類は、178団体 同分類は、10,179千円	B:概ね計画通りの進展	令和5年4月から補助単価を引き上げ、引き続き、資源化量の増加や市民のごみ問題への意識向上につなげる。	資源循環推進課	市	_
			53	【親子での取組】 清湯浩動、ごおの分別、アルミ缶回収等を保 課者の協力を得て実施。 国児のものを大切に する気持ちを育て、保護者の環境に対する意 識の向上を図る。「アリーン活動」ごみのボイ捨 である。 「アリーン活動」ごみのボイ捨 保護者にも啓発する。	新型コンナウイルス感染症の影響により、清掃 活動は実施できていない施設が多い。一部の 施設では行事の中で廃材を利用した製作を行 い保護者への啓発を行った。	C:予定を下回る進展	新型コロナウイルス感染症の影響が緩 和されたことにより、活動の機会を計画・実施していく。	幼児課	市	随
	①ごみの発生抑 制・資源の再利 用・資源化等の推 進		54	【再生資源を撤去する全対象工事】 撤去した再生資源について、各産業廃棄物処 理場についせくクル化されたことをマニフェスト によって確認。	適切な処理施設へ運搬し、リサイクル資源として処理し、廃棄物を減少することで、資源循環 型社会に貢献した。 対象工事:125 コングリート級:284.82t アスファルト級:297.56t 発生木材:0t	B:概ね計画通りの進展	引き続き、発生した再生資源を適切な 処理施設へ運搬することで、資源循環 型社会に貢献していく。	道路課	市	
		(12)処理施設の安全で効率的な運営	55	【こみの焼却処理・最終処分】 化学物質による環境を全しの支障を未然に 防止する目的で制定された、「特定化学物質 の環境への排出量の把煙等及び管理の改善 に関する法律」に基づき、対象化学物質(ダイ オキシン等)の排出量把握等の自主管理に取 り組む。	R4年度中のダイオキシン類の排出量(排ガス から大気中へ排出)および移動量(焼却灰、飛 灰を最終処分場へ移動)の合計 193mg-TEQ/年	B.概ね計画通りの進展	安全かつ安定的な運転を実施していく ことによって、環境負荷の少ない施設 運営を行うとともに、法律に基づいた特 定化学物質の排出および移動量の把 提、報告を行う。	資源循環推進課	市	
3.資源循環型社 会の構築			56	【滋賀グリーン活動ネットワーク】 滋賀グリーン活動ネットワークの会員として、び カ湖―周門支からエコ! リリレーの一環として グリーン購入を啓発。	エコライフフェア草津2022にてブース出展、バネル展示を行った。	B:概ね計画通りの進展	引き続き、市のイベント等でプースやパ ネルの出展を行っていく。	温暖化対策室	市、 滋賀GPN	ь Б Б GPN Б
		(13)省資源化の推 進	57	【滋賀グリーン活動ネットワーク】 滋賀グリーン活動ネットワークにおいて、グリー ン練入など環境に配慮した物品購入の促進を 実施。	滋質グリーン活動ネットワークの総会や自治体 部会に参加。	B:概ね計画通りの進展	引き続き、会議に参加し、県および自治体の情報収集を行う。	温暖化対策室	市、 滋賀GPN	
			58	【指定物品の単価契約】 購入頻度の高い事務用品や作業服等の消耗 品等について、ゲリーン購入対象商品を指定 物品として単価契約を行い、購入する商品を 固定することでゲリーン購入を推進。	グリーン購入対象指定物品:29品【全指定物品数:36品(燃料代を除く)】	B:概ね計画通りの進展	今後も引き続き指定物品にグリーン講 入対象商品を指定することでグリーン 購入の推進を図る。	会計課	市	
		(14)未利用資源の 利活用の推進	59	【生ごみの減量・堆肥化】 ごみの減量・堆肥化を採すため、生ごみ処理 容器の満入を受けする植動や段ボールコン ポストの音及客免など。	・生ごみ処理容器の購入経費に対し、補助金 を交付することで、生ごみの減量を促し、ごみ 減量に対する市民業績の高議を図ることがで きた。 ・市民会議との協働により、段ポールコンポスト の普及容をを実施した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	B.概ね計画通りの進展	より減量化を進めるため、令和5年4月 から補助単価を引き上げ、今後も制度 の内容について、他市の敷組も踏まえ 検討する。	資源循環推進課	市	
		(15)節水の推進	60	【幼児期における環境学習】 砂場や固度などの水あそび、使ったおもちゃを 洗った後の水を、花の水やりに利用。	公立保育所・こども圏において、年間通じて実施している。	B:概ね計画通りの進展	総続して取組み、子ども達に水は限ら れた資源であることや節水の大切さを 伝えていく。	幼児課	市	N N
	②水の循環利用 の推進	(16)未利用水の利 用促進	61	【草津市開発事業の手続および基準等に関す る指針】 筋骨と1 筋骨と1 筋骨と1 大変域の内間水排水の直接放底を緩和し、 下流域の水準の防止として、開水浸透桝の使 用を推奨。	排水施設として開水浸透桝の設置および歩道 にかかる透水性鎖炎の整備について、草油市 開発争業の手始よび基準等に関する指針の 規定に基づき開発事業施工者に指導を行っ た。 開発許可特数および協議終了件数 都計設29条(開発)等可件数3:72件 市指導要額:31件	B概ね計画通りの進展	引き続き草津市開発事業の手続および基準等に関する指針の規定に基づき開発事業施工者に指導を行う。	開発調整課	市	
		(16)未利用水の利 用促進	62	【交通安全対策事業】 工事において透水性舗装整備を実施。	透水性舗装整備の施工実施なし。	D:当該年度事業実施 無し	随時、状況に応じ、透水性舗装の施工 を実施していく。	接の施工 道路課	市	
4.自然とともに生	①生物多様性の	(17)市民·地域·事	63	【自然環境保護事業】 滋賀県のヨシ群落保全条例により保全区域に 指定されているヨシ群落を「守る」「育てる」「活 用する」事業に協力。	草津コン松明まつり実行委員会が開催する「コシ松明まつり」に活用するコシの刈り取りに参加するとともに、まつり当日に環境ブースを出展した。 帯盤小学校が実施したヨシ刈りに対する支援を行った。	B.概ね計画通9の進展	各種団体が実施する事業の支援を行う。	環境政策課	市、県、団体	体 届
活する環境で入り	保全と活用	業者であみによる自然環境の保全	64	【保護樹木の指定】 良好な環境を確保するため市内10ヵ所、36本 の樹木を指定しており、市IP、パンプレット、環 境間差ペパン寺で啓免。また、保護樹木の様 生治療等に対する補助要網を策定し、必要に 防じて助成を実施。	36本の保護樹木の内、枯死及び倒木の危険 性があるため2本を指定解除。 また、志那神社のクロマツ松枯れ予防の薬剤 散布。 補助額:39,050円。	B:概ね計画通りの進展	保護樹木の蘇生治療等にかかる補助 を行い、保護樹木の周知啓発を行うた めの、パンフレットを更新し作成する。	環境政策課	市	_

基本方針	施策	取組内容	No.	具体的な事業の概要	令和4年度実績および成果	令和4年度 実施評価	令和5年度事業実施にむけての 課題および改善策	所属名	実施主体	実施時期																							
			65	【自然環境保全地区の指定】 現去れた自然環境を少しでも多く保全し、次世 他に発すべ、市内17ヵ所、合計141247㎡を 自然環境保全地区に指定し、市中、バンプルッ ト、環境関連イベント等で容急、開発行為等を 接続した。機本面積に応じて保全にか かる経費を助成し、質量な生物生息域の保 全・保護に考与。	し、管理者が行う保全活動を支援した。 保全地区:17か所	B概ね計画通りの進展	保全にかかる経費の助成を行い、保全 地区の周知啓発を行うための、パンフ レットを更新し作成する。	環境政策課	市	年間																							
			66	【いきもの調査】 市民主体のいきもの調査について講師派遣等 の支援や、市ホームページ等で取組を紹介。	湖南企業いきもの応援団が実施する後川の調査会にアドバイザーとして参加した。 重点1 いきもの自然学校において、葉山川の いきもの調査を地域と共催で実施した。	B:概ね計画通りの進展	各種団体が実施するいきもの調査の支援を行う。	環境政策課	市	随時																							
			67	[鳥獣保護(外来生物)] 希少種を含む在来生態系の保全・回復のため、特定外来生物アライゲマ等を捕獲。	箱わな設置依頼95件中、アライグマ20頭、ハ クビシン2頭、スーリア1頭の計23頭抽獲。 令和3年度抽機敷(28頭)と比べると減少。 一方で依頼数は令和3年度の38件から12件 増加しており、市民の方への認知は浸透しつつ ある。	B概ね計画通りの進展	市ホームページや広報、各種イベント 等で外来生物に関する周知等多を積 種的に行い、市民への周知を行い認知 度を高めていく。	環境政策課	市	年間																							
	①生物多様性の	(17)市民・地域・事 業者ぐるみによる自 然環境の保全	68	【赤野井湾のハスの種の保存】 赤野井湾内にハスの地下茎がほとんど枯死し ていたことから、八名群落再生の楽証楽験で開 花したハスの地下茎を増やす取組を行う。	水生生物公園みずの駒にて実証実験で採取 し株分けしたハスを展示し啓発を行った。令和 4年度は、10峰のうち半数を植替え、状態の良 いハスを維持、保存した。	B.概ね計画通りの進展	株分けした地下茎をさらに増やす取り 組みを行いながら、水生生物公園みず の森にてハスの展示を行い、地域資源 の継承を行う。	環境政策課	市	随時																							
	保全と活用		69	【土地改良事業(浮舟地区 水質保全対策事業) 第2】 農業排水の流出の抑制・適正な浄化処理を行 い、発管湖の水質均満負荷制潮に尽力。	5月 COD 4.6—11(除去率 ▲139.1%) BOD 1.7—14(除法率 17.8%) T-0 0.9—012(除法率 411.1%) T-0 0.9—012(除法率 ▲366.7%) 7月 COD 4.8—48 (晚法本 0.6) T-0 0.13—1(除法率 2.31%) T-0 0.13—1(除法率 2.31%) T-0 0.12—0.08(除法率 3.33%) 1月 COD 5.3—58(除法率 4.94%) BOD 2.4—32(除法率 4.67%) T-0 0.6—0.7(除法率 4.67%) T-0 0.6—0.5(除法率 3.75%)	B様ね計画通りの進展	今後も農業排水による琵琶湖の水質 汚濁食荷削減に努める。	農林水産課	市、県、地元	随時																							
			70	【自然環境保全地区危険木除去事業】 近年、全国で台風等の影響はよる開大等により、民家や文化財・砂石者等への投書等例が 発生していることから、自然環境保全地区の危 機・調査を行い、良好な自然環境の保全を安 全面から推進。	令和3年度に行った危険木調査に基づき、管理者が実施する危険木の除去に補助を行った。	A:当初の計画以上の 進展	安全・安心な環境のもとで今の自然環境保全地区を次世代へ服束するため の危険木の伐採・剪定費用の補助を継続して行う。	環境政策課	市	年間																							
自然とともに生		(18)農地等におけ る在来生態系の保全	71	【農業振興】 農用地からの除外を必要最小限に留めること で、優良な農地を保全。	除外件数···0件 編入件数···0件	B:概ね計画通りの進展	展用地からの除外を厳格に管理し、優 良 展地の確保に努める。	農林水産課	市	随時																							
する環境づくり		(19)自然環境等に 裁しむ場と機会の充 実	72	【地域協働合校をはじめとした子どもの生きる 力を育む取り組み】 名まちでい協議会に安付する一括交付金事 業として、「地域を働合校をはじめとした子ども の生きる力を育む取り組み」を実施し、自然と 触れ合う機会を提供。	各まちづくり協議会で、地域一括交付金事業 における必須項目である「地域協働合校を亡む かとした子だもの生きる力を育む取り組み」を実 施いたたいた。 各まちづく的協議会で、地域協働合校やわんば くブラザ等の事業を通し、自然と触れ合う機会 を提供することができた。	B概ね計画通りの進展	各まちづくり協議会への交付金事業の 項目の一つとして、引き続き、地域協働 合校等において、自然を開かるう機会 が提供されるよう取り組んでいただく。	まちづくり協働課	市、地元	随時																							
	②自然とふれあう ための活動の推 進		73	【「菓本市の自然」】 急激な都市化のなかで、自然環境の推移を学 情的に円限、記録し、発力化・美しい自然の保 度・保全を図るためたの学な基礎学として作 成した「菓本市の自然2014」を多くの計長に自 が環境への理解と関心を求めるために活用す も。	HPでの掲載や窓口での配布を行った。	B概ね計画通りの進展	重点事業等の各種イベントや小学校の 授業における講師対応の際、草津市の 自然について周知を行う。	環境政策課	市	年間																							
			74	【ふれあい農業推進事業】 事業市子作り市民農園を開設し(75区面)、広 (市民が自然とふれあい、農業に親しむ機会を 制出。	草津市手作り市民農園として75区画貸出。	B.概ね計画通りの進展	空き区画が生じないよう、今後も継続して市民農園についてIPや広報を活用し広く周知していく必要がある。	農林水産課	市(草津市農業振興協議会)	随時																							
																											75	【幼児期における環境学習】 地域の自然環境に行き、自然探索と観察を実施。	近隣の公園や堤防等に出かけ、四季折々の自 然観察を楽しんだ。また、自然散策で見つけた 自然物を遊びに取れれて遊ぶことで観察したり 興味関心がもてたりする環境を提供した。	B:概ね計画通りの進展	圏外活動や地域の自然に目を向ける 機会の充実を図る。	幼児課	市
		(20)4+1 - 40.84				76	【下物ビオトーブの整備】 下物町の道の駅でつの隣にビオトーブを整備 し、ヨシ刈りの場合での一次必を整備し、環境学 習の場の一つとして活用。	みずの森で育成した地下茎をハス池に試験的 に移植し、自然界で自生することができるか検 証を引続き実施した。 5月: みずの森で開花した2鉢を直接土壌に移 植 7月: 開花を確認	B概ね計画通りの進展	ヨシの群生が優占してきているため、ヨシ群防除と並行させて、ハスの自生に向けて試行錯誤を重ねていく、ハスが 禁生した際には、周知を行い、多くの方 に環境学習の場として利用いただける よう県・市連携して取り組む。	環境政策課	県、市	随時																				
			77	[市街地排水净化施設] 山中川市街街塘水净化施設] 山中川市街街塘水净化的汽车街貨の選摩が 高い初期提出水(市街地排水)を浄化して、楚 街場に流入する汚濁負荷を軽減。		B様ね計画通りの進展	この10年の持続的な活動により、概ね 施設通過後の水の水質が目標を上 図っており、琵琶湖に渡入する円溝負 荷の軽減を図ることができた。	河川課	市、県	年間																							
			78	【渋川ビオトーブの会】 小学校および地域で、渋川ビオトーブの会を結 成し、渋川小学校ビオトーブを自然学習の場と して活用するとともに、維持管理を実施。	地域と学校が協働して維持管理を行ってい る。自然観察など学習の場として欠かせない場 所となっている。	B.概ね計画通りの進展	老朽化した設備の修繕や樹木の維持 管理などに携わる人員の確保に課題 がある。 小学校の各学年の授業等での活用の 充実を図っていく。	学校教育課	学校	年間																							
建全な生活環 D保全	①環境汚染等の 未然防止	(21)事業所等によ る環境汚染の未然防 止	79	【工場排水調査】 河川の汚染防止のため、年数件、抜き打ちで 市内事業所の排水を調査し、必要に応じて指 導。	調査した事業所に対して必要な指導等を行 い、公害の未然防止に努めることができた。 排水調査:16事業所	B:概ね計画通りの進展	環境負荷の高い事業所や公書苦情が 発生するおそれがある事業所に対し、 排水調査を実施し、公書の未然防止に 努めていく	環境政策課	市	不定期																							

基本方針	施策	取組内容	No.	具体的な事業の概要	令和4年度実績および成果	令和4年度 実施評価	令和5年度事業実施にむけての 課題および改善策	所属名	実施主体	3
		(21)事業所等によ る環境汚染の未然防	80	[環境協定締結推進事業] 市民の健康を守り、良好な環境を保全するために、集本市の受験を研究を発生が環境発金条例に基づ 表、市券が特定工場等と環境発金を開する協 定を締結。	新規事業者との締結はなし、 取締結事業者については、立ち入り時に協定 内容の遵守状況について間を取りを行ったり、 定期的な報告をいただき、協定の遵守状況に ついて確認し、環境法令に提供されの容・ のほか、各事業所に環境協定に掲げた内容に ついて限り組んただき、環境負荷の低減に つなげることができた。	B.概ね計画通りの進展	環境負荷の高い事業所や開発等で新 に設置される事業所に対し、協定結 総を打診し、環境負荷の低減に取り組 む。	環境政策課	市	
		止	81	【事業所パウロール】 過去に公害苦情があった懸案事業所を定期 的にパロールし、公害の未然防止を推進。	対象事業所について、定期的にパールを行うことで、事業所の現状を把握でき、苦情発生 時にも迅速であり取りができた。 事業所数:7事業所	B:概ね計画通りの進展	現在実施している/ペロールや立入りを 総裁していくとともに、事業所に環境意 施を高めてもらい、苦情が発生しないよ うな環境づくりに努めてもらう。	環境政策課	市	1
			82	【地下水定期モニタルグ調査】 過去に地下水質環境基準を超えた地点において、地下水汚染状況を継続的に監視。	地下水汚染状況を調査し、適正な監視につな げた。 調査地点:38地点	B:概ね計画通りの進展	引き続き地下水汚染状況について調査を継続し、適正な監視を行う。	環境政策課	市、県	
	①環境汚染等の 未然防止		83	【河川院孟】 環境管置基準をてはめ河川(伊佐々川・張 川)および監視必要河川(伯母川、郡上山寺 川、草本川)の水質調査を実施。	伊佐々川、製川において毎月1回、本津川、伯 伊川、郡上・山寺川において年日回路査集の 関連報券を市ホームーンに掲載するととも に、市民に親ルからすい人の節を用いて、当 河川等に長っ、東京市外の環境管理基準 ではが同い、監視必要河川の水質が泥につい て記録することがを記述している製川については、風景の駅のかは、4回の返回原業 東施したが、要認の特定には至らなかった。	B様ね計画通りの進展	環境管理基準を超過した箇所につい で、追加調査を行う等して原因究明を 退めるとともに、引き続き河川調査を継 続し、適正な監視を行う。	環境政策課	क्त	
		(22)その他の対策	84	【自動車軽音調査】 騒音振動法第18条に基づく自動車騒音の常 財整復として、市内主要幹線道路を対象に調 査および面的評価を実施。	草津山田線、草津停車場線の路線において自 動車騒音測定を実施し、市内10路線の面的 野価を行った軽果、草油市内とをも主要道路 の騒音の状況について把握することができた。	B:概ね計画通りの進展	引き続き主要幹線道路について調査を 継続し、適正な監視を行う。	環境政策課	市	
			85	【大気汚染状況の把握】 光化学オモッグの原因となる光化学オキシダ ・ハヤやMA2 5年による大気汚染状況を把握する とともに、必要に応じて注意喚起を行う。	県の観測データより大気汚染状況を把握し、発 令詞には、市民へ速やかに注意喚起が行える よう備えた。	B:概ね計画通りの進展	県の観測データより大気汚染状況を把握するとともに、ドアや広報を通じて、必要に応じて市民に注意喚起を行う。	環境政策課	市	
			86	【農地・水・環境保全向上対策事業】 農業排水路の泥上げ等の選正な機能維持の 共同活動ととむに、農業による濁水の排出を抑 え、琵琶湖の水質汚濁防止負荷低潮に尽力。	15集落で実施(五条・北大萱・下笠馬場・御 倉・志那中・上笠・山田・木川・不動浜・片岡・ 南山田・北山田・集・志那町・志那町吉田)	B:概ね計画通りの進展	今後も継続して濁水の排出を抑え、琵琶湖の水質汚濁防止負荷低湖に尽力 する。	農林水産課	市、国、県、地元	
5.健全な生活環 境の保全			87	【河川安健事業】 - 展河川の地元の自主的な活動(草刈等)に 対して報復を支払、住民の河川登譲思想 の高揚を図るとともに、河川環境の保全や景都 の実化を指達。	R4年度は新型コロナウイルスの影響もある中	B:概ね計画通りの進展	この10年で活動団体が10団体以上増加したことから住民の河川景徳思想の高まりが見え、河川環境の保全や景観の実化の推進を図る。	河川課	市、県	
		(23)市民生活に伴う環境保全と環境負	88	【水洗化啓発】 公共下水道処理区域内で生活排水を公共下 水道(汚水)へ接続(放流先変更)するよう、年 間を通じて啓発を実施。	下水道接続指導件数・228(単独式浄化槽 126件・合併式浄化槽102)に対し、下水道接 続にかかる法令に基づ化増享実施。 対象者の約1529(37件)から回答を得た。 うち62.7%(23件)が「工事費困難」のため接 続できないという回答であった。	B:概ね計画通りの進展	工事費の問題で接続困難となっている 対象者への対応を検討していく。 また、指導該当者の回答率増をはか 以、実態の調査を深めて、更に下水道 接続により生活維排水等による水質汚 濁の低減を目指す。	上下水道施設課	市	
		荷の低減	89	【公共下水道整備】 市内全域において、生活排水等の適切な処理 を行えるように公共下水道整備(汚水)を実施。	令和5年3月31日現在の下水道普及率(処理 区域内人口/草津市内の人口):99.76% ※住基人口に限る 昨年に引き続き処理区域面積が拡大(約 9.5ha)したことから、環境負荷が低減した。	B:概ね計画通りの進展	引き続き、下水道未整備地の解消を目 指し、整備にかかる課題登理を行い、 さらなる普及率向上を図る。	上下水道施設課	市	
			90	【水洗化便所等改造資金融資制度】 宅内の水洗にに要する資金について、金融機関で融資を受けた場合に利子の一部を補給。	新規実績:0件 制度利用者なし。 令和5年3月31日現在の下水連処理区域内 水洗化率(水洗化人口/処理区域人口): 98.63%	D:当該年度事業実施 無し	利用表積が少ないため、制度の見直しが必要である。	上下水道施設課	市	
	②身近な生活環 境の保全		91	【建設事業契約審主業務】 市内工事業者の格付けにあたり、その審査の 市内工事業者の格付けにあたり、その審査の を認証を取りている企業に高数を加算すること におり、金集の環境への取り組みの勤機付けを 推進。		B:概ね計画通りの進展	今後についても、企業の環境への取り 組みの動機付けを推進していく。	契約檢查課	市	
		(24)事業活動に伴 う環境保全と環境負 荷の低減	92	【建設事業契約審査事務】 市発注の工事・業務・物品等の契約審等に、「受法者は、免益者が実施している環境マネジ メントシステムに配慮し、環境にや仓しい事業活動 影を心掛けること、「採本市系規等事態宣 書の理念に基づき、ゼロカーボンシティの実現 のため、温室が表えての伝説、写効から事業活動を心掛けること。」の項目を入れ、受注業者 に啓発。	そのことにより、受注業者に対し、市が実施して いる環境マネジメントシステムへの配慮と、環境 にやさしく、温室効果ガスの低減に努めた事業	B:概ね計画通りの進展	今後についても、受注業者に対し、市 が実施している環境でネジントシステ ムへの配置と、環境にやさい、3 果ガスの低減に努めた事業活動への むが付を目発していて。	契約檢查課	市	
			93	【工場指導】 事業所からの自主測定結果報告書を受け、必要に応じて指導、存立場の自主測定結果報告書を受け、必 更に応じて指導、存立工場の申請時、事業所 立入時時おは、事業所立場の構造、市条例に基づ き指導を実施、また、水質汚濁防止法等県か らの指導を受けていることを確認指導。	工場立入り実施:48事業所 (市内特定工場数:約480事業所)	B:概ね計画通りの進展	環境負荷の高い事業所や新しく設置される事業所に対し、立入りし、法令に基づ公指導を行い、環境負荷の低減に取り組む。	環境政策課	市	
			94	[農業振興] 環境ご社り農産物の推進により、農業・化学 肥料の抑制で、高栄養化した農業排水の排出 を抑え、琵琶湖の環境に配慮するとともに、安 全安心な農作物の生産を実施。	- 環境二 だ	B:概ね計画通りの進展	今後も琵琶湖の環境に配慮した、安 全、安心な農産物の生産を実施する。	農林水産課	市、県、地元	

【令和4年度】 基本方針	施策	取組内容	No.	具体的な事業の概要	令和4年度実績および成果	令和4年度 実施評価	令和5年度事業実施にむけての 課題および改善策	所属名	実施主体	実施時期
5.健全な生活環 境の保全	②身近な生活環 境の保全	(25)自動車による環境負荷の低減	95	【低騒音型舗装】 工事において、低騒音型舗装の施工を実施。	低騒音型舗装の施工実施なし。	D:当該年度事業実施 無し	随時、状況に応じ、低騒音型舗装の施工を実施していく。	道路課	市	随時
			96	【幼児期における環境学習】 花・野菜づくりにかかる土作り、植栽、施肥、灌 水、除草などの一連の作業を国児と教職員が ともに共有することによって、植物への受情や 取種の喜びと共に環境学習を実施。保護者と 共に親子活動を行っている回もある。	公立保育所・こども圏において、年間通じて実施している。	B概ね計画通りの進展	栽培活動に継続して取組むことで環境 教育を充実させる。	幼児課	市	年間
			97	【ブロック塀等改修促進補助金】 地震災害での削減による被害を防止すること を目的に、連絡に面するブロック塀等を撤去し 改修する場合あるいは生垣に改修する場合に 事業費の一部を助成。	生垣設置の実績なし	D:当該年度事業実施 無し	プロック場から生垣に改修する事例は、一般的に少ないものと思われるが、広く 市民ニーズに対応するため、現状維持 の必要があると思われる。	建築政策課	市	随時 (H24 ~)
			98	【niwa+を活用した中心市街地公共空間賑わい割出事業の実施 中原と05年度に、収革津駅前の(通称)アニ マー路地を活用し、niwa+を整備した。今後 も、多要な維持管理を行うとともに、市と草津ま おづり株式を出しよる、中心市街地公共空間 賑わい創出事業に活用する。	niwa+において、清陽業務の委託による日常 的な管理を行うともは、月に1回。ガーデニン グサーカルグラックを中心はお手入れ会を 実施し、終替えや低木の剪定などを実施した。 また、草津まかび(非統会社と市で締制した 都市利便増進協定に基づき、同社が都市利 便増進協定して整備した屋上線化に場を維 持管理するこで、縁化の推進を図った。	B:概ね計画通りの進展	草湾まちづくり会社やガーデニングサー クルグラッシーと連携とながら、緑化広 内の高質な空間を維持できた。 今後はこの土地を活用し、草湾まちづく 財株式会社による質質な店舗の誘致や 腰わい創出事業の委託により、市民が 目ら利用したくなるような場を設えてい く。	都市地域戦略課	市	随時
		(27)公園・緑地の整 備と推進	99	【野路公園整備事業】 急速な都市化の進市南部地域において、近隣 公園として都市計画決定された野路公園を整 備する。	公有財産購入費 予算額 0千円 執行額 0千円 地域および地権者と調整を進めることができ た。	B概ね計画通りの進展	引き続き、地権者等との協議を進め、 整備に向けて調整を進める。	公園緑地課	市	随時
	①公園・緑地の整		100	【草本川緑地整備】 新草本川の植栽を実施。	NPO法人琵琶湖ネットへの維持管理委託を総続して実施:21,472㎡ NPO法人琵琶湖ネットへの維持管理委託を総続して実施したことで、草津川緑地における良好な環境を維持することができた。	B:概ね計画通りの進展	引き続き、NPO法人琵琶湖ネットへの 維持管理委託を継続し、環境維持に 努める。	公園緑地課	市	随時
	備と景観形成の推進		101	[森津川跡地整備本集] 東津川跡地整備本集] 東津川跡地配にされいたたらされ る時空間として整備を実施。	「接触」 中部民業施調養 「非常川路地の空間整備に満足している市 にない。 には、 には、 では、 では、 には、 では、 には、 では、 には、 では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	A当初の計画以上の 進展	市民意識調査や指定管理者による公 国利用電子ンケートで高い環体にいた たいており、温の服務利用や商目表 を実施していため、各部に有限な公園 のからなる活用を効かな利用が行えるよう検討を進める。また、整備事業に ついては、定理をの需なる準めのではないといいては、定理をの需なるとから 様化しなから、美働していく、	草津川跡地整備 課	市	22年度~
6.うるおい豊かな 快適環境づくり		(28)自然景観の保 全	102	[大津市との自然景観保全連携] 琵琶湖対岸景観形成の保全や創造に対する 意識を高めるための周知啓発。	琵琶湖の対岸景観の保全や創造に対する意識を高めるための周知啓発事業を大津市と共同で行い、市民の周知啓発することができた。 【景観プバリテャレンジ隊】 開催日:R4.10.2 参加者:10超24人内容:7一クショップ(クラア)ト体験)・対岸景観	B機ね計画通りの進展	陸琶湖を挟んだ対岸眺望について、眺 望ポイントの啓発等を行う。	都市計画課	市	随時
		(29)歴史景観の継 承	103	【景報形成事業交付金】 東海道事常常本陣通男観形成重点地区に おいて、宿場町としての魅力ある街並み保金と 再生に支援。	草準宿本降通り周辺の良好な景観を守るため、宿場街道景観形成事業文付金および東 漁道草津宿店地画景観形成事業文付金となりで 交付を行い、良好な街道景観に寄与した。 【安仲教】 宿場街道景観形成事業文付金:工作物1件 津海道草溶在炸通3景観形成事業交付金:建築物1件	B.概ね計画通りの進展	東海道草津宿本降通り景観形成重点 地区において、宿場町としての魅力あ る街並み保金と両生を支援するため、 引き続き宿場付道景観形成事業交付 金および東海道草津宿本降通り景観 形成事業交付金の交付を行う。	都市計画課	市	随時
		(30)都市景観の形成	104	【近隣景観形成協定】 近隣景観形成協定の締結関係者による、景観 形成に関する事業の実施に対し補助を実施。	補助金の交付無し	B:概ね計画通りの進展	滋賀県が行う近隣景観形成協定の新 規締結を促し、既存締結者からの要望 に対応する必要がある。	都市計画課	市	随時
	②歴史文化の保 全と活用	(31)歴史文化の保 全と活用	105	【文化財保護助成】 指定文化財の天然記念物の樹勢維持及び市 指定史跡の景観保全事業に対する補助金を 所有者等へ交付し、指定文化財を週正に保 存。	天然記念物の樹勢維持及び市指定史跡の景 観保全にかかる一部を市で補助金として交付 し、指定文化財の適正な保存に書与した。 天然記念物樹勢維持・1か所 市指定史跡景観保全・3か所	B.概ね計画通りの進展	継続して市で補助金として交付するとと もに、地域で大切に守り継承していくと いう機連を醸成していく。	歷史文化財課	市、 指定文化財 所有者	年間
		(32)不法投棄と散 在性ごみの防止と対 策	106	【ボイ捨て防止に関する条例に基づく啓発】 条例に基づき、ボイ捨て防止市民行動の日を 設定し、啓発活動を実施。	ごみ問題を考える草津市民会議と行政が協働 により、広ぐ市民に散在性ごみの防止について 開知密発を図ることができた。 啓発物品配布数:1,500個	B:概ね計画通りの進展	さらに散在性ごみの防止を訴えるため、 啓発場所の拡大を行う。	資源循環推進課	市	5月下旬
	<ul><li>③身近な自然や</li></ul>		107	【ボランティア清掃】 市民等が行うボランティア清掃に対して、清掃 用のごみ袋の交付やごみ処理料の減免を実 施。	ボランティア清掃を通じて、地域の環境美化の 保全を図るとともに、ごみの適正排出やごみ間 題に関する市民意識の酸成につなげた。 オー交付団体数:延へ73団体 ・交付扱数:19,155枚	B:概ね計画通りの進展	地域の清掃活動がより活発になるよう、 支援を継続していく。	資源循環推進課	市	随時
	まちの美化の推進	(32)不法投棄と散 在性ごみの防止と対 策	108	【地域における環境美化に関する取組への交付金】 イ金】 不法投棄を防止するためのパロールなど、まちづくり協議会に対して地域一括交付金を交付し、環境条化に関する取組を依頼。(交付対象は選択制で、当該取組を実施していない学区もある。)	各学区まちづくり協議会において、地域まちづく リー哲交付金の交付対象事業の1つである「環 境実化に関する取組」を実施いただけるよう支 援を行った。		各地域における不法投棄状況を注視しながら、今後も継続して支援を行って して。	資源循環推進課	市	随時
			109	【不法投票監視パロールの実施】 道路や河川などの公共スペースへの不法投棄 の防止に向けて、不法投棄多免箇所を巡回。	地域や警察等関係機関とも連携を図りなが ら、不法投棄対策に取り組んだ。 重点整視箇所: 32箇所	B:概ね計画通りの進展	パーロール体制の強化を図るとともに、 引き続き、町内会等への不法投棄禁 止着板やボランティア清掃用のこみ接 の交付など、地域の環境美化に関する 支援を行う。	資源循環推進課	市	随時

基本方針	施策	取組内容	No.	具体的な事業の概要	令和4年度実績および成果	令和4年度 実施評価	令和5年度事業実施にむけての 課題および改善策	所属名	実施主体	実施 時期
6.36おい豊かな ③身近な自然や 快適環境づくり まちの美化の推進	(32)不法投棄と散	110	【ごみ持ち帰り運動】 運動会や進足なと催し等で排出したごみを家庭に持ち帰ることを密発。	新型コロナウイルス感染症の影響により、行事 等の縮小を行ったため、行事でごみを排出する ような活動は行っていない。		事業実施の際は、排出したごみを家庭 に持ち帰ることを啓発していく。	幼児課	市	随時	
	まちの美化の推進	策	111	はからサポーター事業』 身近な公共空間である市道の美化活動を促 進するため、市民ポランティアの美化活動を支 経に対するため、市民ポランティアの美化活動を支	身近な公共空間である市道の美化活動を促進するため、市民ボランティアによる美化活動 を支援することで、環境美化に対する市民の 意識の高勝を図るとと标に、市民との協働によ るまちづ切を推進した。 みちサポーター参加団体:37組(参加人数 1,883人)	B概ね計画通りの進展	引き続き活動支援を行っていく。	道路課	市・市民	随時

# 5. 赤野井湾におけるハス群落再生の可能性に関する基礎調査業務の結果概要 (平成28~29年度)

#### ■調査の目的

赤野井湾のハス群落は、平成28年に点的な小面積を残すだけで、ほぼ消滅した。本調査は、赤野井湾におけるハスの生育環境条件である、水質、底質、底泥ガス・泥温・酸化還元電位、水深・泥深、底泥硬度、粒度分布の調査を行うとともに、埋土種子・地下茎調査、植生調査を合わせて実施し、滋賀県が平成9年度と平成10年度に実施した「ヨシ群落生態調査」の調査結果等に基づき、赤野井湾における大規模ハス群落の消滅の要因とその再生の可能性に関する基礎資料について検討することを目的として実施した。

#### ■調査の概要

本調査の調査項目は、水質調査、底質調査、底泥ガス・泥温・酸化還元電位調査、 水深・泥深調査、底泥硬度等調査、粒度分布調査、埋土種子調査、地下茎調査、植生 調査の9項目である。また、調査地点はそれぞれ11地点と9地点において現地調査を 実施した。

表. 調查概要一覧

区分	調査・分析項目	調査地点	調査実施日
水質調査	pH、BOD、COD、DO、T-N、T-P、EC	11 地点	平成 29 年 3 月 7 日
		$(H-1\sim6, A-1\sim3,$	(H-1※事前調査)
		B-1, B-2)	平成 29 年 4 月 4 日
			$(H-1\sim6, A-1\sim3,$
			B-1, B-2)
底質調査	T-C、T-N、T-P、硫化物、pH、	9 地点	平成 29 年 3 月 7 日
	強熱減量、含水率	(H−1∼3, H−6,	(H-1※事前調査)
底泥ガス・泥温・	メタンガス、硫化水素、泥温、ORP	A-1 ∼	平成 29 年 4 月 4 日
酸化還元電位調査		3, B-1, B-2)	(H-1, A-1, A-2, B-2)
水深・泥深調査	水深、底泥厚		平成 29 年 4 月 5 日
底泥硬度等調査	底泥硬度(コーン貫入抵抗)		(H-2, H-3, H-6, B-1)
粒度分布調査	粒度分布試験		平成 29 年 4 月 6 日
埋土種子調査	埋土種子採取		(A-3)
地下茎調査	地下茎採取(枯死体含む)		
植生調査	植生調査 (群落組成調査)	赤野井湾沿岸	平成 29 年 4 月 20 日
		全域	

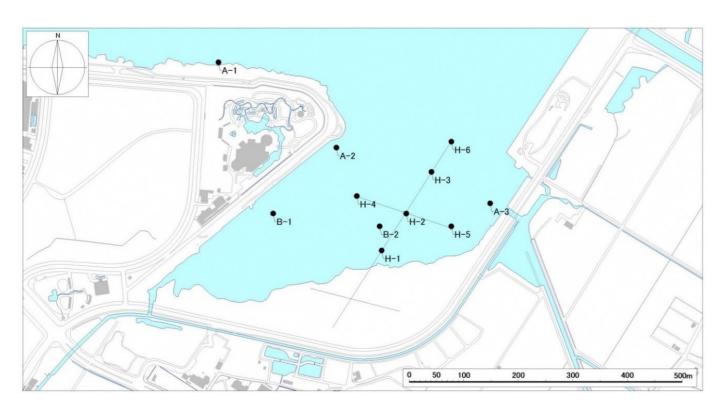


図. 調査地点一覧

#### ■ハス群落分布の変遷

赤野井湾のヨシ群落とハス群落については、平成5年2月に、滋賀県のヨシ群落保全地域の保護地区に指定され、両群落の分布範囲が毎年微妙に変動している中で、特にハス群落の急激な繁茂を踏まえて、両群落を適正に保全・管理していくにあたり、立地特性や生態的特性を把握し、これに立脚した方策の検討を目的に、滋賀県が平成9年度と10年度に「ヨシ群落生態調査」を実施した。

また、昭和53年から昭和59年にかけて「南湖水生植物および底生動物調査」を実施し、漁船を用いて赤野井湾の奥部まで、現地調査を行った。

それらの資料から、赤野井湾のハス群落が繁茂し始めたのは、昭和 54 年から昭和 63 年の間であるということがわかり、また、平成 10 年度の調査では、ハス群落が赤野井湾内全体で約 112,880 ㎡の面積で繁茂し、赤野井湾の約 75%を占め、残り 25%はヨシ群落等であることがわかった。

#### ■ハスの栄養繋殖

ハスは、ササと同じく、地下茎の一部から子が生じる栄養繁殖で増殖する植物であり、親とつながった地下茎が切れても、独立して生存でき、種子繁殖に比べて、確実に子孫を残すことができるため、純群落を大規模に形成する。赤野井湾のハス群落は、昭和 63 年の面積が約 69,470  $\mathrm{m}^2$ であったものが、平成 10 年には約 112,880  $\mathrm{m}^2$ までも発達しており、このハス群落の拡大も栄養繋殖で増殖を続けてきた結果である。

こうしたハスやササなどの栄養繋殖は栄養生殖ともいい、広義の無性生殖と同じ意味に用い、この無性生殖は適応力が小さく、生育環境が変化すると全滅する恐れがある。これに対して、有性生殖は個体により少しずつ形質が違うので、適応力が大きく様々な環境に適応していくことができる。

ササ群落の大規模な自然枯は、数十年以上にわたって栄養繁殖を続けたあと一斉に 開花結実して枯死する現象である。同じ地下茎による栄養繁殖を 30 年以上にわたって 続けきた、赤野井湾のハス群落の大規模の消滅についても、このササ群落の自然枯と 同じ現象として捉えることができる。

#### ■調査結果について

今回の調査から次の4つの結果が得られた。ハス群落が突然に消滅したのは、赤野井湾におけるハス群落の生育環境条件が変化し、ハスの生育を困難にした結果であると考えられる。

①底泥のメタンガスが前回調査(平成10年7月)の5~8倍になっている。このメタンガスの発生により、底泥が腐敗し地下茎の生長を阻害した可能性がある。このメタンガスは酸化還元電位が低いほど発生量が高くなる傾向があるとされているが、今回は過年度よりも嫌気的な環境であったことから、濃度が大きく高まった結果であると考える。

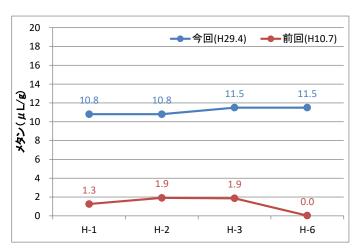


図. 過年度調査結果との比較

②軟弱な層の消失と、粘土とシルト分が100%を占めていた泥質化していた底泥層が侵食・洗い出し等による不安定化といった物理的環境条件の変化によって、過年度(平成9年8月)よりも15~39 cm消失している。ハスが地下茎を伸ばしている層は、これらの層の上部域15~30 cmの範囲であることから、ハス群落の地下茎が洗い出されてしまったことが考えられる。

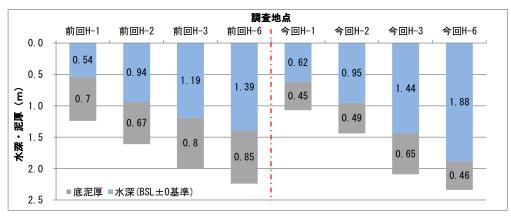
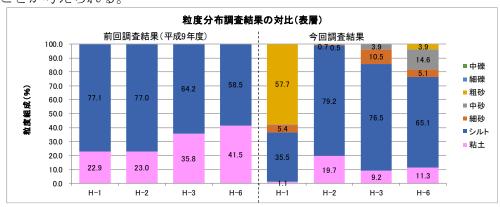


図. 水深・泥厚調査結果の対比(定点)

③表層と境界層の粒度分布調査に関して、過年度(平成9年度)の表層は粘土23~42%、シルト59~77%と粘土とシルトのみによって構成されていたが、今回は粘土が1~20%と大きく減少し、シルト36~79%に加え、細砂~粗砂が混入する粒度分布となっていた。一方、過年度(平成10年度)の境界層は粘土が36~56%、シルトが40~63%で、5%以下が細砂などの粒度分布構成であった。今回は表層と同様に粘土が大きく減少し、シルトは68~79%、細砂以上が6~10%含まれる粒度分布構成であった。こうした表層と境界層における粘土の減少など、粗粒化した粒度分布構成の変化は、泥質化の進んだ軟弱な泥層を好むハスの地下茎の生育に強度の影響を与えたことが考えられる。



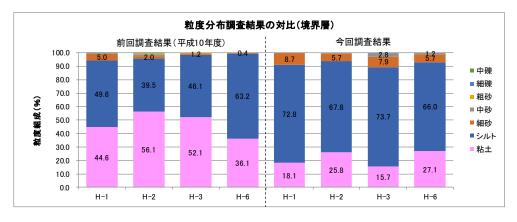


図. 過年度調査及び今回調査の粒度組成の対比

④ハスの難分解性有機物の堆積量については、伊豆沼のハス群落の調査・研究結果から、年単位面積当たり 1.77~0.08 (kg/㎡・年) と推定されており、赤野井湾のハス群落の出現から約 30 年間では、最大 53 kg/㎡ほどの難分解性有機物が堆積したことになる。こうしたハスのリター(落葉落枝)に由来する難分解枯死体・難分解性有機物が多量に堆積したことによって、ハス群落内の物質循環系に異常が生じたことがハスの消滅に関係したことが考えられる。



1 ㎡の方形枠から採取されたハスの難分解枯死体・難分解性有機物

#### ■ハス群落の再生について

30年以上にわたって栄養繁殖を継続してきたハス群落は、生育環境の変化に適応できずに、ササの自然枯現象と同様に、一斉に消滅した現象として捉えることができる。こうしたハス群落の再生については、沼沢地やハス田などでハスを栽培するような技術や知見、いかなる高度な土木技術を持ってしても、ハスの元の生育環境を人間が回復・復元することは不可能であり、自然を創り上げることができるのは、決して人間ではなく、自然自身の時間をかけた営み以外にはないことを、十分に認識する必要がある。したがって、自然自ら創り上げていくための手助けをするように、言わば"おずおず"と施策を行うことが重要である。

また、対応方策を考えるには、従前の生育環境を復元・回復させることが必要と考えられるが、消滅の諸々の要因が複合的に関連しあった総合的なものであり、単純に解決できる問題ではなく、そうした諸条件をかつての状態に戻すことは不可能である。また、残存しているヨシ群落等も含めて、赤野井湾の生態系としての自然は、複雑で未知の部分も多いことから、対策にあたっては赤野井湾の自然生態系に新たな攪乱を生じないような慎重な対応のもと、大掛かりな現状改変は避け、人為を加えるにしてもその範囲を必要最小限に抑えるべきである。こうしたことを踏まえるならば、試験的な対策を試み、これによる効果を確認したうえで、以後の対応の必要性を検討することが望ましい。

#### 6. 赤野井湾におけるハス群落再生の実証実験の結果概要(平成29~30年度)

#### ■調査受託者

滋賀自然環境研究会

#### ■調査の目的

本調査は赤野井湾のハス群落の再生のための試験的な対策としてハスの移植実験調査を行い、現状の赤野井湾の生育環境下でハスが生育可能であるかを調査することを目的とした。

## ■調査の概要

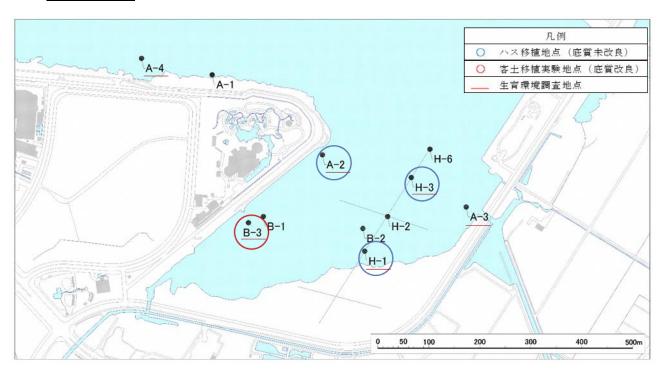


図. 調査地点

#### ●ハスの移植実験調査(移植日:平成30年3月12~13日)

残存している2地点のハス群落のなかから地下茎を採取し、「赤野井湾におけるハス 群落再生の可能性に関する基礎調査結果」より選定した3 地点および、底質を改良し た客土移植実験調査の1地点に、試験的に移植を行い、現在の赤野井湾の生育環境の もとでもハスの生育が可能かどうか調査を実施した。また、対照実験として、採取し た地下茎を鉢植えし、調査を実施した。

### ●生育環境調査(平成30年5月17~18日)

地下茎採取地点および移植地点の生育環境を確認するため、下記の項目について調査を実施した。

区分	調査・分析項目
底泥ガス・酸化還元電位調査	メタンガス、硫化水素、ORP
水深・底泥深さ調査	水深、底泥厚
底泥硬度等調査	底泥硬度(コーン貫入抵抗)
粒度分布調査	粒度分布試験
埋土種子調査	埋土種子採取
リター重量調査	ハスの枯死体と地下茎採取

### ■調査結果について

#### ●ハスの移植実験結果

区分		対照実験			
地点名	H-1	H - 3	A - 2	B - 3	みずの森
底質区分	未改良	未改良	未改良	改良(浚渫土)	浚渫土、 みずの森栽培用 土
ハス発芽(5月)	×	×	×	0	0
ハス繁茂(7 月)	×	×	×	×	0

底質を改良した地点を含め、移植地点では、繁茂するには至らなかった。 水生植物公園みずの森で実施した鉢植え移植については、発芽から開花まで確認された。

#### ●生育環境調査結果 (ハスの消失要因の変化)

消失要因	平成29年度との比較	※平成10年度との比較
難分解性の枯死体の堆積	同程度残存	平成10年度測定値無し
メタンガス	大幅減少	やや多い
底泥硬度 (浅深度)	変化なし	浅い深度で非常に硬い
粘土・砂質の粒度分布	粘土・砂質大幅に改善	粘土少なく、砂質やや改善
泥厚	泥厚増加	泥厚ほぼ改善

#### ■ハス群落の再生について

#### ●自然的再生について

みずの森におけるハスの地下茎の鉢植えの栽培では、開花まで生長できたことから、 ハスの枯死体とメタンガスの量が減少し、底泥の軟らかい層と粒子の細かい粘土が堆 積して泥層が厚くなれば、ハス群落の再生は可能であると判断する。

また、平成30年度からハス群落が消滅した地点において、突如、境川の河口付近を中心に湾内にヒシが分布し始めた。ヒシ群落とハス群落は、粒子の細かな土壌を好み、植生遷移の観点では、ヒシ群落が繁茂した後、2、3年以内の短期間でヒシを沖に追いやる形でハスが繁茂するようになる事例がある。

ヒシ群落を始めとする植物群落などによって、軟らかくて養分を包含した粒子の細かな土壌が新たに生成・堆積し、ハスの難分解性枯死体が消滅しさえすれば、ハス群落は沖側のヒシ群落を駆逐しながら沖に向かって繁茂することが考えられる。

しかし、本調査から湾内には生きた地下茎はほとんど確認されなかったことから、 種子からの発芽に期待するしかなく、上記過程を経て生育環境が復元するには長い年 月を要することを勘案すると、速やかにハス群落が生育することは難しい。

#### ●人為的再生について

生残地下茎は、A-3地点では消滅してしまい、A-4地点にわずかしか確認できなかった。さらに、ハス群落が消滅して2年後には地下茎も完全に枯死してしまうことが明らかとなっている。

したがって、移植によるハスの人為的再生を行うならば、<u>移植に使用できる適当な</u>地下茎は、実証実験においてみずの森で鉢栽培した3鉢のみであること、移植作業は湖底での作業のため、湾内の波浪、湖流による底泥の巻き上げ、さらに50cm以上の水深などの極めて困難な問題があることから、今回の実証実験調査の経験を踏まえて、手法の慎重な検討が欠かせない。

# 7. 令和4年度 愛する地球のために約束する協定者数

協定者数	数	協定者名	協定者	数	協定者名		
	1	ホテルボストンプラザ草津		30	サンスター技研株式会社滋賀工場		
	2	ホテル21	1	31	社会福祉法人幸栄会		
	3	3 株式会社 メタルアート         4 アーバンホテル草津		32	アメニティ南草津 X ルクセア		
	4			33	合同会社 草津市スポーツ振興事業体		
	5	5 黒田紙業株式会社 草津営業所 6 クサツエストピアホテル	]	34	有限会社ユーアール		
	6		]	35	シガスプリング株式会社		
	7	バナソニック株式会社 アプライアンス社 株式会社がんさん		36	ダイキンレクザムエレクトロニクス株式会社		
	8			37	湖南リサイクル事業協同組合		
	9	株式会社近鉄百貨店 草津店		38	読売センター草津西		
	10	0 公益財団法人 草津市コミュニティ事業団		39	企業組合労協センター事業団 草津地域福祉事業所 みんなの家		
	11	1 桜ヶ丘町内会		40	キヤノンマシナリー株式会社		
	12	大五産業株式会社		41	株式会社きんでん滋賀支店		
	13	株式会社エヌイーエフ	団体・	42	放課後等デイサービスソラマメくらぶ		
団体・	14	株式会社パナソニック マーケティングスクール	事業所	43	株式会社森川商店森川テクノセンター		
事業所	15	株式会社南洋軒		44	ムラテックKDS株式会社滋賀工場		
7,077	16	6 草津商工会議所 7 草津自動車整備事業者協会		45	美しい湖国をつくる会 草津支部		
	17			46	ごみ問題を考える草津市民会議		
	18	西日本旅客鉃道株式会社草津駅		47	特定非営利活動法人ひかりグループ		
	19	9 滋賀県電器商業組合 草津支部 0 社会福祉法人よつば会 1 株式会社えふえむ草津		48	ウイズダム デザイン		
	20			49	グリーンパーク草津株式会社		
	21			50	竹灯籠絆		
	22	イオンモール株式会社 イオンモール草津	]	51	株式会社光ビルサービス		
	23	イオンスタイル草津		52	山田学区まちづくり協議会		
	24	近畿環境保全株式会社		53	ニプロ株式会社・ニプロライフサイエンスサイト		
	25	ダイキン工業株式会社 滋賀製作所		54	日東電工株式会社滋賀事業所		
	26	社会福祉法人 草津市社会福祉協議会	]	55	南笠東学区まちづくり協議会		
	27	草津市国際交流協会(KIFA)		56	岡安ゴム株式会社		
	28	大阪ガス株式会社 滋賀事業所	計		5 6者		
	29	9 オムロン株式会社 草津事業所		※令和5年3月31日現在			

# 8. 令和4年度 草津市地球冷やしたい推進協議会会員数

会員数		団体名等	会員数		団体名等			
	_	小林 圭介		10	株式会社エヌイーエフ			
	2	馬場 愛		11	株式会社えふえむ草津			
個人	3	本江 宗明		12	株式会社がんさん			
	4	中野 吉一		13	株式会社近鉄百貨店 草津店			
	小計	4者		14	株式会社きんでん 滋賀支店			
	1	NPO滋賀環境カウンセラー協会	1	15	株式会社南洋軒			
		ND 0 7 1/4 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	1.0	株式会社パナソニック			
		NPO子どもネットワークセンター天気村		16	マーケティングスクール			
	3	NPOびわ湖環境	1	17	株式会社光ビルサービス			
	4	アメニティ南草津 X ルクセア		18	株式会社光真製作所			
	5	美しい湖国をつくる会 草津支部		19	株式会社森川商店 森川テクノセンター			
	6	環境文化総合研究所		20	キヤノンマシナリー株式会社			
	7	企業組合労協センター事業団		21	近畿環境保全株式会社			
		草津地域福祉事業所 みんなの家		21	心 既 來 况 体 王 你 赵 云 山			
	8	草津市健康推進員連絡協議会		22	クサツエストピアホテル			
	9	草津市校長会		23	グリーンパーク草津株式会社			
	10	草津市国際交流協会(KIFA) 草津市子ども会指導者連絡協議会		24	黒田紙業株式会社草津営業所			
	11			25	湖南リサイクル事業協同組合			
	12	草津市「小」エネルギー推進市民フォーラム	- 事業所 -	26	郷インテックス株式会社			
		草津自動車整備事業者協会		27	サンスター技研株式会社滋賀工場			
団体	14	草津商工会議所 草津市役所 草津市まちづくり協議会連合会 公益財団法人草津市コミュニティ事業団 公益社団法人草津青年会議所			シガスプリング株式会社			
					社会福祉法人幸栄会			
				_	社会福祉法人よつば会			
	$\vdash$				ダイキン工業株式会社滋賀製作所			
	-				ダイキンレクザムエレクトロニクス株式会社			
		合同会社草津市スポーツ振興事業体			大五産業株式会社			
	-	子育て支援グループ はな・はな			竹灯籠絆			
	$\vdash$	ごみ問題を考える草津市民会議			特定非営利活動法人ひかりグループ			
	-	桜ヶ丘町内会			西日本旅客鉃道株式会社草津駅			
	-	滋賀県電器商業組合 草津支部	4	_	日東電工株式会社 滋賀事業所			
	-	社会福祉法人 草津市社会福祉協議会	l		ニプロ株式会社ニプロ・ライフサイエンスサイト			
		地域エネルギー研究会	ŀ		パナソニック株式会社くらしアプライアンス社			
	-	南笠東学区まちづくり協議会	ŀ		放課後等デイサービスソラマメくらぶ			
	$\vdash$	山田学区まちづくり協議会		_	ホテル21			
	-	山田環境五三○会 28団体		_	ホテルボストンプラザ草津 ムラテックKDS株式会社 滋賀工場			
	小計 1	アーバンホテル草津	ł		ムファックトDS株式芸仏 -			
	1	ノーハンホナル早洋 イオンスタイル草津	ł	_	有限会社ユーアール			
			ł		病院云位ユーケール 読売センター草津西			
	-	イオンモール株式会社 イオンモール草津 ウイズダム デザイン	ł	小計				
			計		7.8者			
事業所		5 大阪ガス株式会社 滋賀事業所 6 岡安ゴム株式会社			7 V H			
		オムロン株式会社草津事業所			滋賀目総合企画部CO2ネットゼロ推進課			
	<u> </u>	クロフ (休利五111年)手手未加 	オブザ-	- / \( \) -	滋賀県総合企画部CO2ネットゼロ推進課			
	8	株式会社 西日本技術コンサルタント	\(\frac{1}{2}\)		滋賀県地球温暖化防止活動推進センター			
	9	株式会社 メタルアート			※令和5年3月31日現在			

# 9. 草津市環境年表(令和2年度~令和4年度)

年度	市内のできごと	県内その他のできごと
R 2	保護樹木指定解除(観音堂のクロマツ)(4月) 環境にやさしい週間(6/28~7/4) 草津エコアクションポイント事業開始(8月) 「地球冷やしたい推進フェア(12月) 第3次草津市環境基本計画策定(3月) 第4次草津市地球冷やしたいプロジェクト策定(3月)	「しが CO₂ネットゼロムーブメント」キック オフ宣言(1月) 琵琶湖博物館グランドオープン(10月) 「琵琶湖森林づくり条例」改正(12月)
R 3	環境にやさしい週間 (6/27~7/3) 草津市気候非常事態宣言 (12月) 「地球冷やしたい推進フェア」(12月) 「第20回こども環境会議」開催 (2月~3月) 第3次草津市一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画策 定 (3月)	「琵琶湖保全再生施策に関する計画 (第2期)」策定(3月) 「滋賀県食品ロス削減推進計画」策定(3月) 「滋賀プラスチックごみゼロに向けた実践取 組のための指針」策定(3月) 「第四次滋賀県環境学習推進計画」策定 (3月) 「琵琶湖森林づくり基本計画(第2期)」策定 (3月) 「マザーレイクゴールズ(MLGs)アジェンダ」 策定(7月) 「第五次滋賀県廃棄物処理計画」策定(7月) 「ヨシ群落保全基本計画」策定(12月)
R 4	保護樹木指定解除 (旧東海道筋のエノキ、志那神社参道のクロマツ (6本→5本)) (11月) 環境にやさしい週間 (6/26~7/2) 「エコフォーラム」開催 (9月) 「エコライフフェア」開催 (9月) 「地球冷やしたい推進フェア」開催 (12月) 「第21回こども環境会議」開催 (1月~3月)	「第8期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画」策定(3月) 「滋賀県 CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」改正(3月) 「滋賀県 CO2ネットゼロ社会づくり推進計画」策定(3月) 第72回全国植樹祭しが2022開催(6月)琵琶湖システムが世界農業遺産に認定(7月)

【出典: R 4 年度版「滋賀の環境」】



# 草津市

# くさつの環境

令和6年3月発行 編集発行 草津市環境経済部環境政策課

草津市草津三丁目13番30号

メールアドレス:kankyo@city.kusatsu.lg.jp

ホームページ:https://www.city.kusatsu.shiga.jp/

**西** (代表)077-563-1234 (FAX)077-561-2479